

5-5. 業績

5-5-1. IWC/SC等への提出論文、査読制度掲載論文、科学討論会口頭発表

日本鯨類研究所がこれまでに実施してきた各種調査の科学的貢献を（1）国際捕鯨委員会科学委員会（IWC/SC）及びその他国際機関の科学会議に提出された論文、（2）査読制度を持つ科学雑誌に掲載された論文、（3）科学討論会における口頭発表に分類し、その年別・調査種別件数を以下の表に示した。空欄は調査開始前、「—」は計数不能であることを示す。これらの業績の詳細は、当研究所ホームページの「科学的貢献（http://www.icrwhale.org/scContribution_jp.html）」を参照のこと。

田口美緒子（調査研究部資源分類研究室）

IWC/SC等への提出論文、査読制度掲載論文、科学討論会口頭発表件数

年	IWC/SC等への提出論文			査読制度掲載論文			科学討論会口頭発表		
	JARPA/JARPAII	JARPN/JARPNII	その他の調査	JARPA/JARPAII	JARPN/JARPNII	その他の調査	JARPA/JARPAII	JARPN/JARPNII	その他の調査
	NEWREP-A	NEWREP-NP		NEWREP-A	NEWREP-NP		NEWREP-A	NEWREP-NP	
1988	0		0	0		0	2		—
1989	3		1	2		0	6		—
1990	6		1	8		0	5		—
1991	4		0	9		0	5		—
1992	4		0	2		0	6		—
1993	4		0	7		1	7		—
1994	9	1	0	3	0	0	7	0	—
1995	9	5	0	3	0	1	11	2	—
1996	6	7	0	7	3	0	7	5	—
1997	27	5	0	3	6	4	4	2	—
1998	5	3	0	7	4	2	2	3	—
1999	12	3	0	4	2	4	6	3	—
2000	12	40	0	5	2	3	10	10	—
2001	6	6	2	3	1	2	15	11	—
2002	7	12	5	6	5	1	15	12	—
2003	9	7	5	5	4	1	22	22	—
2004	2	11	12	8	5	5	14	12	—
2005	8	13	9	6	6	5	21	12	—
2006	44	6	6	9	4	6	12	16	—
2007	11	6	12	7	11	2	6	10	—
2008	5	3	8	4	4	0	8	9	—
2009	5	55	4	2	8	1	8	7	—
2010	3	26	12	14	7	3	1	24	—
2011	4	6	7	1	20	2	3	7	—
2012	3	9	5	1	4	0	3	4	—
2013	6	5	5	6	5	4	0	2	—
2014	43	4	6	3	5	3	6	2	—
2015	3	5	8	2	1	3	1	6	—
2016	7	50	3	2	5	0	2	4	—
2017	7	15	2	3	2	2	0	3	2
計	274	303	113	142	114	55	215	188	2

5-5-2. 書籍・雑誌に発表された文書

1988年

- 池田郁夫. 1988. 鯨と日本人. からだの科学143: 110.
- 笠松不二男. 1988. 減少した鯨はどうなっているか. 採集と飼育49: 523-526.
- 加藤秀弘. 1988. クジラの性成熟年齢と生態系. 採集と飼育49: 527-530.
- 長崎福三. 1988. 日本の漁り (1) えびす信仰. 水産世界3月号: 92-94.
- 長崎福三. 1988. 日本の漁り (2) 江南漁撈文化. 水産世界4月号: 116-118.
- 長崎福三. 1988. 日本の漁り (3) 海人の陸化. 水産世界5月号: 106-107.
- 長崎福三. 1988. 日本の漁り (4) 漁撈民の移動. 水産世界6月号: 96-97.
- 長崎福三. 1988. 日本の漁り (5) 漁業の東下り. 水産世界7月号: 82-83.
- 長崎福三. 1988. 日本の漁り (6) 家船漁民. 水産世界8月号: 86-87.
- 長崎福三. 1988. 日本の漁り (7) 農村と漁村. 水産世界9月号: 86-87.
- 長崎福三. 1988. 日本の漁り (8) 漁村部落の生いたち. 水産世界10月号: 96-98.
- 長崎福三. 1988. 日本の漁り (9) 日本人と海. 水産世界11月号: 96-99.
- 長崎福三. 1988. 日本の漁り (10) 魚の行商. 水産世界12月号: 86-89.
- 内藤靖彦, 加藤秀弘, 他 (訳). 1988. クジラはなぜ跳躍するか. 日経サイエンス社, 東京. 73pp.

1989年

- 長崎福三. 1989. 日本の漁り (11) 江戸時代の流通. 水産世界1月号: 84-87.
- 長崎福三. 1989. 日本の漁り (12) 魚食の変遷. 水産世界2月号: 94-97.
- 長崎福三. 1989. 日本の漁り (13) 江戸時代の魚食. 水産世界3月号: 92-94.
- 長崎福三. 1989. 日本の漁り (14) 最近の魚食傾向. 水産世界4月号: 112-115.
- 長崎福三. 1989. 日本の漁り (15) 最近の魚食傾向. 水産世界5月号: 96-98.
- 長崎福三. 1989. 日本の漁りエピソード最近の魚食傾向. 水産世界6月号: 89-90.
- 吉岡基, 銭谷亮子. 1989. 日本沿岸における鯨類のストランディング. 採集と飼育51: 164-167.

1991年

- 笠松不二男, 宮下富夫, 大隅清治. 1991. 鯨とイルカのフィールドガイド. 東大出版会, 東京. 148pp.
- 長崎福三. 1991. 魚付保安林—森林と漁業—. 水産振興278: 16pp.
- 長崎福三. 1991. 日本人と魚. はる書房, 東京. 262pp.
- 長崎福三. 1991. 資源管理型漁業—選択の漁業—. 水産振興280: 31pp.
- 大隅清治. 1991. 調査捕鯨—日本が南極海で実施している鯨類の捕獲調査. 水産振興288: 27pp.
- 大隅清治. 1991. 国際捕鯨委員会科学委員会の活動と鯨類資源調査研究の変遷. 1-21. 桜本和美, 加藤秀弘, 田中昌一編 鯨類資源の研究と管理. 恒星社厚生閣, 東京. 273pp.
- 大隅清治. 1991. クジラは滅びゆくのか. 90-94. 関 文威, 小池勲夫編 海に何が起きているか. 岩波書店, 東京. 212pp.
- 大隅清治. 1991. クジラは海に放し飼いされたウシである. 西日本鯨研究会報5: 2-5.
- 大隅清治. 1991. クジラの生態. 122-141. 中村庸夫著 鯨ウォッチング&タッチング. 講談社, 東京. 143pp.
- 大隅清治 (訳). 1991. マッコウクジラ, コマッコウ, オガワコマッコウ. 92-99. 粕谷俊雄監訳 クジラ・イルカ大図鑑. 平凡社, 東京. 205pp.
- Shirahihara, K. and Tanaka, S. 1991. Consideration of irreversible responses of two competitive populations to exploitation. 209-214. In: Kawasaki, T., Tanaka, S., Toba, Y. and Taniguchi, A. (eds.) *Long-term variability of pelagic fish populations and their*

資料

environment. Pergamon Press, Oxford. 402pp.

田中昌一. 1991. 国際捕鯨委員会 (IWC) 第42回年次会議. 水産海洋研究55(1): 75-77.

田中昌一. 1991. 水産資源の特徴と管理. 73-101. 平山信夫編 資源管理型漁業—その手法と考え方— 東京水産大学 第16回公開講座. 成山堂書店, 東京. 240pp.

田中昌一. 1991. 浮魚資源の管理. サンマ研究討論会報告39: 211-219.

銭谷亮子. 1991. Q&A クジラ学最新トピックス—年齢はどのように調べるのか?. アニマ222: 43-44.

1992年

三崎滋子. 1992. インタビュー記事感傷的反捕鯨運動はもはや説得力なしパドライク・マクギネス (ザ・オーストラリアン紙 論説委員). 勇魚7: 8-9.

大隅清治. 1992. 鯨肉. 20-21. 菅原龍幸, 井上四郎編 新版原色食品図鑑. 建帛社, 東京. 308pp.

大隅清治. 1992. 鯨類調査・研究における致死的手法と非致死的手法. 国際海洋生物研究報告3: 9-14.

大隅清治. 1992. 4 クジラ・ジュゴンほか. 98-128. 山田恒史編 動物たちの地球 第9巻 (哺乳類II). 朝日新聞社, 東京. 10冊 (合本1冊).

大隅清治. 1992. 生物資源としてのクジラ. 遺伝46(5): 4-5.

大隅清治. 1992. 海からの幸, クジラ. 44-60. 竹沢尚一郎, ピーターL.マクネア, 大隅清治, 小林繁樹, NHK取材班, スチュアート ヘンリ著 海と川の狩人たち—人間は何を食べてきたか. 日本放送出版協会, 東京. 236pp.

Ohsumi, S. 1992. A whale of a problem. Asahi Evening News, Sunday Edition. 12074: 1.

1993年

三崎滋子. 1993. 鯨と捕鯨について日本人はどう考えているのだろうか?. 海員6月号: 26-30.

三崎滋子. 1993. 「世界と日本」シリーズ連載「くじらのはなし」. パースタイムズ1-4月号.

日本鯨類研究所. 1993. 捕鯨をとりまくこの1年1993年 (後期). 日本鯨類研究所, 東京. 213pp.

大隅清治. 1993. 鯨類の資源管理学の視点から. 哺乳類科学32(2): 185-190.

大隅清治. 1993. 厳正な管理下で再開を. 毎日新聞1993年5月9日朝刊.

大隅清治. 1993. 国際捕鯨委員会の現状と今後 (上). 水産の研究12(5): 41-45.

大隅清治. 1993. 国際捕鯨委員会の現状と今後 (下). 水産の研究12(6): 33-37.

大隅清治. 1993. クジラ・イルカ. 112-113. 中村庸夫著 マーメイド・ドリーム海に帰った動物たち. TOTO出版, 東京. 120pp.

大隅清治. 1993. クジラの愛の求めかた. イマーゴ4(13): 134-139.

大隅清治. 1993. クジらのはなし. 技報堂出版, 東京. 187pp.

大隅清治. 1993. クジラの利用と保護. 7-27. 隆島史夫, 松田 皎編 地球にやさしい海の利用—地球環境と水産業. 恒星社厚生閣, 東京. 150pp.

大隅清治. 1993. 鯨と人間の関わり合い—過去・現在・未来. イマーゴ4(8): 68-79.

大隅清治. 1993. 日本にも確固たる文化があるのだ エキセントリックな捕鯨禁止の押しつけに疑問あり. ル・クール8: 23.

大隅清治. 1993. 壮観!! 日本列島クジラ・ウォッチング. ダイヤモンド・フィールド3: 1-2.

山村和夫. 1993. IWC京都会議に向けて. 楽水762: 3-4.

全国漁業協同組合連合会, 日本鯨類研究所. 1994. 座礁した鯨類の救出法. セイブザマリンマンマール. 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.

1994年

藍 武二. 1994. 大村秀雄先生へのレクイエムに寄せて. 1-4. 鯨博士大村秀雄さんを偲ぶ会編 鯨博士大村秀雄さんを

- 偲ぶ. 200pp.
- 石川 創. 1994. 日本沿岸におけるミンククジラの漂着及び混獲記録 (1960-1992). 日本海セトロジー研究4: 7-16.
- 石川 創. 1994. 日本沿岸におけるミンククジラのストランディングレコード. 日本セトロジー研究 日本海の鯨たち 4: 7-16.
- 石川 創 (編集). 1994. 日本沿岸のストランディングレコード (1901-1993). 鯨研叢書6: 94pp.
- 小島敏男. 1994. 日本の鯨類捕獲調査. 41-56. 日本鯨類研究編 捕鯨問題と日本の鯨類調査. 日本鯨類研究所, 東京. 56pp.
- Kojima, T. 1994. Japanese research whaling. 37-56. In: Inst. Cet. Res. (ed.) *Whaling issues and Japan's whale research*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 56pp.
- 三崎滋子. 1994. あなたにとって鯨とは?. 季刊ダジアン13: 17.
- 三崎滋子. 1994. ゲームの名は捕鯨問題. 21-36. 日本鯨類研究所編 捕鯨と世論. 日本鯨類研究所, 東京. 42pp.
- 三崎滋子. 1994. 鯨と捕鯨について日本人はどう考えているのだろうか?. 21-40. 日本鯨類研究編 捕鯨問題と日本の鯨類調査. 日本鯨類研究所, 東京. 56pp.
- Misaki, S. 1994. Japanese world-view on whales and whaling. 21-36. In: Inst. Cet. Res. (ed.) *Whaling issues and Japan's whale research*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 56pp.
- Misaki, S. 1994. Whaling controversy is the name of the game. 21-39. In: Inst. Cet. Res. (ed.) *Public perception of whaling*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 51pp.
- 長崎福三. 1994. Food culture—east and west. 73-76. 日本鯨類研究所編 地域文化と野性動物 (Wildlife and Local culture). 日本鯨類研究所, 東京. 139pp.
- 長崎福三. 1994. 漁業と環境論. 37-42. 日本鯨類研究所編 捕鯨と世論. 日本鯨類研究所, 東京. 42pp.
- 長崎福三. 1994. 肉食文化と魚食文化. 農山漁村文化協会, 東京. 216pp.
- 長崎福三. 1994. 大村さんの酒. 103-104. 鯨博士大村秀雄さんを偲ぶ会編 鯨博士大村秀雄さんを偲ぶ. 200pp.
- 長崎福三. 1994. 岡本信男のぶっつけ対談10年ごろに著作できた幸せ. 水産週報1328: 10-14.
- 長崎福三. 1994. 最近の捕鯨論議について. 3-20. 日本鯨類研究編 捕鯨問題と日本の鯨類調査. 日本鯨類研究所, 東京. 56pp.
- 長崎福三. 1994. 食文化—東と西. 4-7. 日本鯨類研究所編 地域文化と野性動物. 日本鯨類研究所, 東京. 139pp.
- 長崎福三. 1994. 世論調査にみる捕鯨対反捕鯨. 5-17. 日本鯨類研究所編 捕鯨と世論. 日本鯨類研究所, 東京. 42pp.
- Nagasaki, F. 1994. Fisheries and environmentalism. 45-51. In: Inst. Cet. Res. (ed.) *Public perception of whaling*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 51pp.
- Nagasaki, F. 1994. On the whaling controversy. 5-20. In: Inst. Cet. Res. (ed.) *Whaling issues and Japan's whale research*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 56pp.
- Nagasaki, F. 1994. Pro-and anti- whaling attitudes as revealed in public opinion polls. 5-20. In: Inst. Cet. Res. (ed.) *Public perception of whaling*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 51pp.
- 日本鯨類研究所. 1994. 地域文化と野性動物. 日本鯨類研究所, 東京. 139pp.
- 日本鯨類研究所. 1994. 鯨研通信384: 18pp.
- 日本鯨類研究所. 1994. 捕鯨問題と日本の鯨類調査. 日本鯨類研究所, 東京. 56pp.
- 日本鯨類研究所. 1994. 捕鯨と世論. 日本鯨類研究所, 東京. 42pp.
- 日本鯨類研究所. 1994. 捕鯨をとりまくこの1年1994年 (前期). 日本鯨類研究所, 東京. 174pp.
- 日本鯨類研究所. 1994. 南氷洋鯨サンクチュアリー. 日本鯨類研究所, 東京. 15pp.
- Institute of Cetacean Research. 1994. *Antarctic whale sanctuary*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 15pp.
- Institute of Cetacean Research. 1994. *Public perception of whaling*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 51pp.
- Institute of Cetacean Research. 1994. *Whaling issues and Japan's whale research*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 56pp.
- 日本鯨類研究所, 海の幸に感謝する会. 1994. 日本における鯨肉流通管理について. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.

資料

- 日本鯨類研究所, 海の幸に感謝する会. 1994. 大切な海洋資源だからこそ有効的活用と厳密な管理を私たちは主張します. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- Institute of Cetacean Research. and The Beneficiaries of the Riches of the Sea. 1994. *Because our marine resources are extremely valuable, we must find the most effective ways to manage them.* Inst. Cet. Res., Tokyo. 4pp.
- Inst. Invest. Cet. and Beneficiarios de las Riquezas del Mar. 1994. *Como nuestros recursos marinos son extremadamente valiosos, temenos que encontrar la forma más efectiva de administrarlos.* Inst. Invest. Cet., Tokyo. 4pp.
- 大木阪京魚. 1994. 近代のヨナは実在したか. 鯨研通信383: 7-11.
- 大隅清治. 1994. ホエールウォッチングについて考える. 兵庫教育46(9): 48-51.
- 大隅清治. 1994. ホッキョククジラ. 584-591. 水産庁編 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料. 水産庁, 東京. 722pp.
- 大隅清治. 1994. クジラの知能と社会生活. ラボの世界180: 2-4.
- 大隅清治. 1994. クジラの付着生物. 第二うみうし通信5: 2-7.
- 大隅清治. 1994. クジラの耳垢. 致知6月号: 77-78.
- 大隅清治. 1994. 巨鯨ウォッチング. Beans 9: 1-2.
- 大隅清治. 1994. 鳴音でクジラの行動を探る. 鯨研通信384: 9-14.
- 大隅清治. 1994. 南極海で日本が実施している鯨類の捕獲調査. 極地58: 11-13.
- 大隅清治. 1994. 南極海でアカボウクジラ科鯨類を捕獲調査する必要性. 鯨研通信383: 1-7.
- 大隅清治. 1994. 南極海のシロナガスクジラ資源はなぜ回復しないのか. 勇魚10: 5-7.
- 大隅清治. 1994. 日本におけるクジラ文化. GEO 1(3): 42-43.
- 大隅清治. 1994. シロナガスクジラ. 592-600. 水産庁編 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料. 水産庁, 東京. 722pp.
- 大隅清治. 1994. スモーキングマシーン. 24-29. 鯨博士大村秀雄さんを偲ぶ会編 鯨博士大村秀雄さんを偲ぶ. 200pp.
- 大隅清治. 1994. 海の哺乳類. 教材ニュース1665: 1-4.
- 大隅清治, 堀 由紀子. 1994. 対談・クジラと人類の共生. 季刊ダジアン13: 20-22.
- 大隅清治, 中村庸夫. 1994. 対談・お茶の時間 動物6 クジラ. クロワッサン. 94-97.
- 大隅清治, 他. 1994. クジラ海を泳ぐ頭脳. 立風書房, 東京. 223pp.
- 大隅清治 (監修). 1994. 特集クジラ海にかえったほにゅう類. 2-13. 小四チャレンジ臨時増刊号. 福武書店, 東京.
- 大隅清治 (監修), 数内正幸 (作). 1994. 海にすむ動物たち 日本の哺乳類II. 岩崎書店, 東京. 48pp.
- 大隅清治 (日本語版監修). 1994. 鯨一海のさまざまな哺乳類たちの世界を探る. 同朋舎出版, 東京. 63pp.
- Ohsumi, S. 1994. 'Sanctuary' is not a solution. The Japan Time Weekly 34(44): 6-7.
- パステネ, L. A., 後藤睦夫. 1994. ミンククジラの資源管理への集団遺伝学の応用. 鯨研通信384: 1-8.
- 海の幸に感謝する会. 1994. News「海の幸」. 2月号.
- 海の幸に感謝する会. 1994. News「海の幸」. 3月号.
- 海の幸に感謝する会. 1994. News「海の幸」. 4月号.
- 海の幸に感謝する会. 1994. News「海の幸」. 5月号.
- Riches of the Sea. 1994. *Whale meat management in Japan.* Riches of the Sea, Tokyo. 4pp.
- Las Riquezas del Mar. 1994. *Administracion de la carne de ballena en Japon.* Las Riquezas del Mar, Tokyo. 4pp.
- 山村和夫. 1994. 酒と長老. 173-176. 鯨博士大村秀雄さんを偲ぶ会編 鯨博士大村秀雄さんを偲ぶ. 200pp.
- 山村和夫. 1994. ハイテクで探るシロナガスクジラ資源回復の道. 楽水766.
- 全国漁業協同組合連合会, 日本鯨類研究所. 1994. 座礁するクジラとイルカ (ポスター). セイブザマリンマンマール No. 2. 日本鯨類研究所, 東京.

1995年

- 藤瀬良弘. 1995. 北太平洋におけるミンククジラ捕獲調査. 鯨研通信385: 1-8.
- 石川 創. 1995. ストランディングレコードから見た日本沿岸の鯨類の生態 (I). 鯨研通信387: 1-7.
- 石川 創. 1995. ストランディングレコードから見た日本沿岸の鯨類の生態 (II). 鯨研通信388: 6-11.
- Ishikawa, H. and Amasaki, H. 1995. Development and physiological degradation of tooth buds and development of rudiment of baleen plate in southern minke whale, *Balaenoptera acutorostrata*. *The journal of veterinary medical science* 57(4): 665-670.
- 三崎滋子. 1995. 鯨を食べてなぜ悪い?—鯨問題は文化問題—. あうろーら1: 150-152.
- 長崎福三. 1995. マイワシはいつ戻っていく. 中央公論110(15): 142-143.
- 長崎福三. 1995. モロトリアムと日本の南氷洋における捕獲調査—概観. 3-9. 捕鯨と科学. 日本鯨類研究所, 東京. 31pp.
- 長崎福三. 1995. 日本人にとって鯨は魚. 96-97. 大西睦子著 徳家秘伝鯨料理の本. 講談社, 東京. 105pp.
- 長崎福三. 1995. 肉食と魚食の分化相違とお米. 心齋橋お米塾31: 9pp.
- 長崎福三. 1995. 集中連載鯨が食いたい!“商業捕鯨再開”でも「鯨肉時代」はもどらない. ビジネス・インテリジェンス9(4): 74-77.
- 長崎福三. 1995. 食に想う. 月刊 農業・食糧406・407: 41-45.
- Nagasaki, F. 1995. The moratorium and Japanese research on whales in the Antarctic—an overview. 5-12. *In: Inst. Cet. Res. (ed.) Research on Whales*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 38pp.
- 日本鯨類研究所. 1995. 鯨研通信385. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.
- 日本鯨類研究所. 1995. 鯨研通信386. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.
- 日本鯨類研究所. 1995. 鯨研通信387. 日本鯨類研究所, 東京. 16pp.
- 日本鯨類研究所. 1995. 鯨研通信388. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本鯨類研究所. 1995. 鯨類絵はがき集1: シロナガスクジラ, ニタリクジラ, ミンククジラ, セミクジラ, マッコウクジラ, ツチクジラ, コビレゴンドウ, イシイルカ. 日本鯨類研究所.
- 日本鯨類研究所. 1995. 捕鯨と科学. 日本鯨類研究所, 東京. 31pp.
- 日本鯨類研究所. 1995. 捕鯨をとりまくこの1年1995年(前期). 日本鯨類研究所, 東京. 200pp.
- 日本鯨類研究所. 1995. 日本鯨類研究所年報 平成6年度. 日本鯨類研究所, 東京. 71pp.
- 日本鯨類研究所. 1995. 野生生物(特に鯨類)の持続的利用と国際レジーム. 第5回捕鯨問題国際シンポジウム太地ラウンドテーブル検討会報告書. 日本鯨類研究所, 東京. 77pp.
- Institute of Cetacean Research. 1995. *Research on whales*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 38pp.
- Institute of Cetacean Research. 1995. *Sustainable use of wildlife and international regime—with special reference to cetaceans. The fifth international whaling symposium report*. Inst. Cet. Res, Tokyo. 77pp.
- 日本鯨類研究所, 海の幸に感謝する会. 1995. '95IWCへのアピール. 日本鯨類研究所, 東京.
- Institute of Cetacean Research. and Riches of the Sea. 1995. *Appeal to the IWC-1995*. Inst. Cet. Res., Tokyo.
- 西脇茂利. 1995. 鯨族回遊. FUKUOKA STYLE 12: 54-55.
- 西脇茂利. 1995. 南極海における鯨類捕獲調査活動の実際. 鯨研通信388: 1-6.
- 大隅清治. 1995. 独見独語21世紀を見据えて漁業存続を. 水産週報1379: 3.
- 大隅清治. 1995. 外国で鯨を食べる. 56-57. 大西睦子著 徳家秘伝鯨料理の本. 講談社, 東京. 105pp.
- 大隅清治. 1995. 鯨類資源調査における致死的方法の適用の必要性. 11-19. 捕鯨と科学. 日本鯨類研究所, 東京. 31pp.
- 大隅清治. 1995. コククジラ. Toba Super Aquarium 14: 14-15.
- 大隅清治. 1995. コククジラ. 513-520. 日本水産資源保護協会編 日本の希少な野生生物に関する基礎資料 (II). 日本水産資源保護協会, 東京. 751pp.
- 大隅清治. 1995. コククジラは1万5千キロの長い旅をくり返す. 教材ニュース(付録)1713: 1-4.
- 大隅清治. 1995. クジラにとって肥満とは何か. 鯨研通信387: 7-13.
- 大隅清治. 1995. ノルウェイの小型捕鯨. 鯨研通信385: 8-15.

資料

- 大隅清治. 1995. 47回IWC年次会議科学小委員会の概要と加盟国の鯨類資源研究の動向. 鯨研通信386: 6-11.
- Ohsumi, S. 1995. The necessity of employing lethal methods in the study of whale resources. 13-22. *In: Ist. Cet. Res. (ed.) Research on Whales*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 38pp.
- 山村和夫. 1995. コラム: 北太平洋における捕獲調査. 20-22. 捕鯨と科学. 日本鯨類研究所, 東京. 31pp.
- Yamamura, K. 1995. Column: Whale research in the North Pacific. 24-27. *In: Ist. Cet. Res. (ed.) Research on Whales*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 38pp.
- 銭谷亮子. 1995. 南半球産ミンククジラの耳垢栓と年齢査定. 鯨研通信386: 1-6.
- 全国漁業協同組合連合会, 日本鯨類研究所. 1995. 日本沿岸で座礁, 混獲された鯨類TOP10 (ポスター). セイブザマリマンマールNo. 3., 東京.

1996年

- 藤瀬良弘. 1996. ミンククジラ. 44-45. 日高敏隆監修 日本動物大百科 (2) 哺乳類II. 平凡社, 東京. 155pp.
- 藤瀬良弘. 1996. 1995年に実施した第2回北西北太平洋ミンククジラ捕獲調査の航海報告. 鯨研通信390: 1-14.
- 後藤睦夫. 1996. 遺伝学からみた鯨類の系統関係. 鯨研通信389: 1-8.
- 石川 創. 1996. 第2章II鯨類編. 127-143. 野生動物救護ハンドブック編集委員会編 野生動物救護ハンドブック—日本産野生動物の取り扱い—. 文永堂出版, 東京. 326pp.
- 石川 創. 1996. 第3章I哺乳類 イルカ類. 195-200. 野生動物救護ハンドブック編集委員会編 野生動物救護ハンドブック—日本産野生動物の取り扱い—. 文永堂出版, 東京. 326pp.
- 石川 創. 1996. 鯨類捕獲調査とはなにか (上). セトケンニューズレター8: 4-5.
- 三崎滋子. 1996. 動物権と捕鯨問題. 鯨研通信389: 8-15.
- 三崎滋子. 1996. 鯨は再生産可能な自然食資源 Responsible management of renewable resources: Case for whaling: Whaling for the Twenty-first century 捕鯨と21世紀13-26, 41-52.
- 長崎福三. 1996. 文明の中の食文化—肉の文化と穀物の文化—. あうろーら42-50.
- 長崎福三. 1996. かえりなんいざ② 種苗放流で魚を増やすには. 水産週報.
- 長崎福三. 1996. かえりなんいざ⑦ 米と魚. 水産週報8-10.
- 長崎福三. 1996. かえりなんいざ⑧ にぎりずしの社会学. 水産週報13-15.
- 長崎福三. 1996. かえりなんいざ⑨ 漁業は儲かる仕事か. 水産週報5-7.
- 長崎福三. 1996. 熊沢弘雄の“明日に挑む”をトップに聞く 日本鯨類研究所顧問 長崎福三. 水産週報.
- 長崎福三. 1996. 魚と米の食文化. 舵社, 東京. 200pp.
- 日本鯨類研究所. 1996. 鯨研通信389. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本鯨類研究所. 1996. 鯨研通信390. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本鯨類研究所. 1996. 鯨研通信391. 日本鯨類研究所, 東京. 32pp.
- 日本鯨類研究所. 1996. 鯨研通信392. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所. 1996. 日本近海にいる鯨類 Cetaceans around Japan. 日本鯨類研究所, 東京. 36pp.
- 日本鯨類研究所. 1996. 水産資源管理談話会報17. 日本鯨類研究所, 東京. 42pp.
- 日本鯨類研究所. 1996. Whaling for the twenty-first century 捕鯨と21世紀. 日本鯨類研究所, 東京. 53pp.
- Institute of Cetacean Research. 1996. The sixth international whaling symposium (第6回捕鯨問題国際シンポジウム) The international legal workshop report. Inst. Cet. Res., Tokyo. 84pp.
- 日本鯨類研究所, 日本小型捕鯨協会. 1996. 日本の沿岸小型捕鯨—伝統と慣習—. 日本鯨類研究所, 東京. 8pp.
- Institute of Cetacean Research. and Japan Small-type Whaling Association. 1996. *Japanese Small-Type Coastal Whaling (JSTCW) —Traditional and Practice—*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 8pp.
- 日本鯨類研究所, 海の幸に感謝する会. 1996. '96IWCへのメッセージ保鯨しながら, 捕鯨はできる. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.

- Institute of Cetacean Research. and Riches of the Sea. 1996. *Appeal to the IWC 1996 Conservation makes development of whaling industry*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 4pp.
- 西脇茂利. 1996. 1995/96年度南極海鯨類捕獲調査 (IARPA) の航海報告 (I). 鯨研通信 391: 6-16.
- 西脇茂利. 1996. 1995/96年度南極海鯨類捕獲調査 (IARPA) の航海報告 (II). 鯨研通信 392: 7-16.
- 西脇茂利 (監修). 1996. ふしぎ・科学 クジラがサカナでない理由.
- 大隅清治. 1996. 第48回IWC/SC会議に参加して感じたこと. 鯨研通信 391: 16-20.
- 大隅清治. 1996. 二人のIWC/SC委員の死を悼む. 鯨研通信 392: 16-20.
- 大隅清治. 1996. 鯨類資源の合理的利用を目指して. 勇魚 14: 1.
- 大隅清治. 1996. 鯨類捕獲調査の意義. 水産ジャーナリストの会会報 44: 37pp.
- 大隅清治. 1996. いま鯨資源調査はなぜ必要か—二十一世紀は食糧不足・鯨が救う. 水産タイムス 1996年5月20日.
- 大隅清治. 1996. インタビュー遊学散歩 クジラは海の幸を呼び寄せるエビスさま. *Dental Diamond* 21 (275) : 170-175.
- 大隅清治. 1996. 巻頭随想 近代捕鯨 100周年に当たって. 水産界 7.
- 大隅清治. 1996. 基本姿勢を貫き毅然と対応. 水産世界 45: 36-39.
- 大隅清治. 1996. コククジラ. 34-35. 日高敏隆監修 日本動物大百科 (2) 哺乳類II. 平凡社, 東京. 155pp.
- 大隅清治. 1996. クジラの本. *SINRA* 36: 164.
- 大隅清治. 1996. クジラ類の種類と生態. 1-24. 北原武編 クジラに学ぶ水産資源を巡る国際情勢 東京水産大学第22回公開講座. 成山堂書店, 東京. 233pp.
- 大隅清治. 1996. ナガスクジラ. 38-35. 日高敏隆監修 日本動物大百科 (2) 哺乳類II. 平凡社, 東京. 155pp.
- 大隅清治. 1996. ナガスクジラ. 306-311. 日本水産資源保護協会編 日本の希少な野生生物に関する基礎資料 (III). 日本水産資源保護協会, 東京. 582pp.
- 大隅清治. 1996. シロナガスクジラ. 36-37. 日高敏隆監修 日本動物大百科 (2) 哺乳類II. 平凡社, 東京. 155pp.
- 関口圭子. 1996. アフリカ最南端に鯨を求めて. *科学朝日* 56(2): 39-43.
- Sekiguchi, K., Klages, N. T. W. and Best, P. B. 1996. The diet of strap-toothed whales (*Mesoplodon layardii*). *J. Zool.* 239: 453-463.
- 島 一雄. 1996. 九年間・逆転ホームランを願って全力投球. 水産世界 45: 25-30.
- 田中昌一. 1996. 鯨資源の改訂管理方式 (I). 鯨研通信 391: 1-6.
- 田中昌一. 1996. 鯨資源の改訂管理方式 (II). 鯨研通信 392: 1-7.
- 田中昌一. 1996. 非核インタビュー核実験に声を上げた海の男 核実験廃絶へさらに. 非核の政府を求める会ニュース 7・8月合併号.
- 田中昌一. 1996. 関連産業を考慮に入れた場合の漁業における利潤の問題. 水産資源管理談話会報 17: 15-25.
- 田中昌一. 1996. 公開資源の合理的利用への提言. 208-224. 北原武編 クジラに学ぶ 水産資源を巡る国際情勢 東京水産大学第22回公開講座. 成山堂書店, 東京. 233pp.
- 山村和夫. 1996. 捕鯨の歴史. 25-44. 北原武編 クジラに学ぶ 水産資源を巡る国際情勢 東京水産大学第22回公開講座. 成山堂書店, 東京. 233pp.

1997年

- 藤瀬良弘. 1997. 日鯨研との関わり. 日本鯨類研究所十年誌: 335-337.
- 藤瀬良弘. 1997. 座談会北太平洋ミンククジラ調査事業. 日本鯨類研究所十年誌: 127-148.
- 藤瀬良弘. 1997. 座談会南氷洋ミンククジラ調査事業. 日本鯨類研究所十年誌: 103-126.
- 藤瀬良弘. 1997. 1996年北西北太平洋ミンククジラ捕獲調査とこれまでの調査結果について. 鯨研通信 395: 1-20.
- Fisheries Agency. and Institute of Cetacean Research. 1997. *What is the International Whaling Commission?* Inst. Cet. Res., Tokyo. 8pp.
- グッドマン, D. 1997. 十カ年の後に. 日本鯨類研究所十年誌: 223-226.

- Goodman, D. 1997. Book review—The International Politics of Whaling. *Marine Policy* 21(6): 547–549.
- 後藤睦夫. 1997. 座談会北太平洋ミンククジラ調査事業. 日本鯨類研究所十年誌: 127–148.
- 飯野靖夫. 1997. 国際捕鯨委員会 (IWC) と国際法—南大洋サンクチュアリー—の決定を中心に—. 鯨研通信 393: 11–16.
- 石川 創. 1997. 鯨類捕獲調査とはなにか (下). セトケンニューズレター 9: 4–5.
- 石川 創. 1997. ストランディングを見つけたら…漂着, 迷入, 混獲の場合. 勇魚 26: 42–46.
- 川崎真弘, 松岡耕二, 西脇茂利. 1997. 日本鯨類研究所で開発されたバイオプシーシステムとその応用. 勇魚 25: 31–38.
- 松岡耕二. 1997. Japan/IWC 南半球産シロナガスクジラ調査航海の概要. 鯨研通信 393: 1–10.
- 三崎滋子. 1997. 日鯨研と私. 日本鯨類研究所十年誌: 359–360.
- 三崎滋子. 1997. 座談会捕鯨に関する人文分野の研究活動. 日本鯨類研究所十年誌: 149–173.
- 長崎福三. 1997. かえりなんいざ⑩ 食糧危機と魚. 水産週報 4–6.
- 長崎福三. 1997. 駕籠かき. 日本鯨類研究所十年誌: 288–290.
- 長崎福三. 1997. 座談会 捕鯨に関する人文分野の研究活動. 日本鯨類研究所十年誌: 149–173.
- 長崎福三. 1997. 座談会 日鯨研の設立と捕鯨問題をめぐる国際情勢 (その二). 日本鯨類研究所十年誌: 79–101.
- 日本鯨類研究所. 1997. 第7回捕鯨問題国際シンポジウム 地域捕鯨作業会議第1巻報告書. 日本鯨類研究所, 東京. 58pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. 鯨研通信 393. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. 鯨研通信 394. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. 鯨研通信 395. 日本鯨類研究所, 東京. 30pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. 鯨研通信 396. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. 捕鯨をとりまくこの1年1996年 (後期). 日本鯨類研究所, 東京. 190pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. 捕鯨をとりまくこの1年1997年 (前期). 日本鯨類研究所, 東京. 187pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. 鯨の新たな資源管理法の実行が, 古い捕鯨文化の継承につながる. 日本鯨類研究所, 東京. 54pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. クジラ資源の効果的な調査は如何にして実現できるか?. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. 日本鯨類研究所十年誌. 日本鯨類研究所, 東京. 503pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. 水産資源管理談話会報 18. 日本鯨類研究所, 東京. 63pp.
- 日本鯨類研究所. 1997. 財団法人日本鯨類研究所年報 平成8年度. 日本鯨類研究所, 東京. 77pp.
- Institute of Cetacean Research. 1997. *How should we effectively conduct research on whale resources?* Inst. Cet. Res., Tokyo. 4pp.
- Institute of Cetacean Research. 1997. *The seventh international whaling symposium the workshop on community based whaling volume II*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 68pp.
- 西脇茂利. 1997. バイオプシー・サンプリングシステムの開発と衛星標識装置の鯨体への装着の試み. 鯨研通信 394: 10–17.
- 西脇茂利. 1997. 鯨類研究に携わって. 日本鯨類研究所十年誌: 303–305.
- 西脇茂利. 1997. イルカな生活. ミスティ 8: 135–141.
- 西脇茂利. 1997. 特集2: 勇魚会シンポジウム「ザ・クジラ」—洋上における鯨種判定について. 勇魚 27: 55–56.
- 西脇茂利. 1997. 座談会南氷洋ミンククジラ調査事業. 日本鯨類研究所十年誌: 103–126.
- 大隅清治. 1997. 新しい捕鯨を創造するために調査研究を推進. おさかな通信 Gyo! 2: 13.
- 大隅清治. 1997. 新たな捕鯨の創造を目指して. 197–205. 大洋漁業南氷洋捕鯨船団の記録を残す会編 捕鯨に生きた. 成山堂書店, 東京. 234pp.
- 大隅清治. 1997. 跳躍—クジラはどうしてジャンプするのか?. 16–29. 中村庸夫編 Flippers. 光琳社出版, 京都. 193pp.
- 大隅清治. 1997. 鯨類研究所理事長大隅清治氏に聞く 次の10年に向かいステップ踏み出す新しい捕鯨の創造を. 日刊水産経済新聞 1997年11月17日.
- 大隅清治. 1997. インタビュー—総合研究所めざし再出発. 水産タイムス 1997年11月6日.
- 大隅清治. 1997. 十年目を迎えた“鯨類捕獲調査”—人間が減少させた鯨の生態系は人間の力で修復すべきである—. 漁

協信用事業推進情報50: 6-8.

- 大隅清治. 1997. クジラは昔陸を歩いていた. PHP 研究所, 東京. 320pp.
- 大隅清治. 1997. クジラは海でどう進化したか. 北海道新聞1997年2月3日.
- 大隅清治. 1997. クジラの飲み水. 32-41. 現代の国語1. 三省堂, 東京.
- 大隅清治. 1997. クジラの名刺と年賀状. 鯨研通信395: 20-23.
- 大隅清治. 1997. クジラと肥満. 月刊健康468: 50-51.
- 大隅清治. 1997. クジラと人との新たな共存のカタチを目指して(対談). News Letterさかなかな15: 1-3.
- 大隅清治. 1997. くじらといるか(なぜなぜクイズ絵本5). チャイルド本社, 東京. 30pp.
- 大隅清治. 1997. 日本鯨類研究所の創立10周年を迎えて. 鯨研通信396: 1-5.
- 大隅清治. 1997. 大隅清治日本鯨類研究所理事長に聞く 社会科学部門を強化 水産資源全体の研究も. みなと新聞1997年11月6日.
- 大隅清治. 1997. 創世紀から発展期へ. 水産世界46(12): 18-20.
- 大隅清治. 1997. 頼りにされる研究所を!. 日本鯨類研究所十年誌: 202-204.
- 大隅清治. 1997. 特集・随想1—科学教材としてのクジラ. 月刊国語教育17(9): 14-17.
- 大隅清治. 1997. 座談会 日鯨研の設立と捕鯨問題をめぐる国際情勢(その一). 日本鯨類研究所十年誌: 53-78.
- 大隅清治. 1997. 10度目の南極調査終え感慨ひとしお. 水産タイムス1997年5月19日.
- パステネ, L. A. 1997. JARPAで採集した皮膚バイオプシー標本に基づくザトウクジラとシロナガスクジラに関する遺伝学的研究. 鯨研通信394: 1-10.
- 島 一雄. 1997. 捕鯨問題を通じてみた日本の国際的責任. 日本鯨類研究所十年誌: 245-248.
- 島 一雄. 1997. インタビュー 言いたい聞きたい捕鯨の判断科学データで. 読売新聞1997年10月16日.
- 島 一雄. 1997. 海洋生物全体の取り組み. 水産世界46(12): 23.
- 島 一雄. 1997. 日本政府代表島一雄氏に聞くIWC会議, どう臨む「アイルランド提案は彼らの誠意の表れだ」. 日刊水産経済新聞1997年10月20日.
- 島 一雄. 1997. つりと漁業のふれあいトーク21 主催者あいさつ 限られた海の有効利用図れ. 日刊水産経済新聞1997年11月24日.
- 島 一雄. 1997. 座談会 商業捕鯨ではデータ不十分より統計的な調査だと主張. 日刊水産経済新聞1997年11月17日.
- 島 一雄. 1997. 座談会 日鯨研の設立と捕鯨問題をめぐる国際情勢(その一). 日本鯨類研究所十年誌: 53-78.
- 島 一雄. 1997. 座談会 日鯨研の設立と捕鯨問題をめぐる国際情勢(その二). 日本鯨類研究所十年誌: 79-101.
- 島 一雄. 1997. (財)日本鯨類研究所 共同船舶設立10周年祝辞 世界から脚光の日が. 水産タイムス1997年11月10日.
- 田中昌一. 1997. 南氷洋ミンククジラ捕獲調査にかかわって. 日本鯨類研究所十年誌: 264-266.
- 田中昌一. 1997. 座談会南氷洋ミンククジラ調査事業. 日本鯨類研究所十年誌: 103-126.
- 海の幸に感謝する会, 日本鯨類研究所. 1997. 21世紀の食料危機に備えて今我々は何をすべきか?. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- Riches of the Sea. and Institute of Cetacean Research. 1997. *What can we do for the coming food crisis in 21st century?* Inst. Cet. Res., Tokyo. 4pp.
- 山村和夫. 1997. 座談会 南氷洋ミンククジラ調査事業. 日本鯨類研究所十年誌: 103-126.
- 山村和夫. 1997. 日鯨研創立前夜“池田郁夫先生の苦闘”. 日本鯨類研究所十年誌: 381-384.
- 銭谷亮子. 1997. 座談会 北太平洋ミンククジラ調査事業. 日本鯨類研究所十年誌: 127-148.
- 全国漁業協同組合連合会, 日本鯨類研究所. 1997. 座礁した鯨類に対する対処法(平成8年度セイブザマリンマンマール研修会資料). 日本鯨類研究所, 東京. 17pp.

1998年

- 阿部秀明. 1998. マイクロサテライトの鯨類資源管理への応用. 鯨研通信398: 1-11.

資料

- 藤瀬良弘. 1998. ミンククジラの生態研究を通じた南極海環境研究の展望. 月刊海洋30(9): 577-583.
- 藤瀬良弘. 1998. 野生生物のダイオキシン類汚染状況調査マニュアル. 自然環境研究センター, 東京.
- Goodman, D. 1998. Folks had a whale of a time at the celebration. The Washington Times 1998/11/22.
- Goodman, D. 1998. Guest forum—world whaling body weight changes. The Japan Times 1998/5/2.
- Goodman, D. 1998. Letters—the whale truth. *BBC Wildlife*.
- 飯野靖夫. 1998. 改訂管理制度における監視・取締制度をめぐる議論の現状と問題点. 鯨研通信399: 16-22.
- 石川 創. 1998. 1997年度北西北太平洋鯨類捕獲調査航海記. 鯨研通信399: 6-15.
- 松岡耕二. 1998. JARPA往復航海における南半球中低緯度鯨類目視調査の概要. 鯨研通信397: 1-12.
- 長崎福三. 1998. 資源管理システムの見直しを. 明日に挑む: 132-137.
- 長崎福三. 1998. 食生活の中の魚. 国際海洋シンポジウム「海は人類を救えるか」('97年度版): 73-82.
- 日本鯨類研究所. 1998. 第49回国際捕鯨委員会会議資料(仮訳). 日本鯨類研究所, 東京. 74pp.
- 日本鯨類研究所. 1998. 第6回国際捕鯨シンポジウム国際法学者作業会議報告書. 日本鯨類研究所, 東京. 81pp.
- 日本鯨類研究所. 1998. 鯨研通信397. 日本鯨類研究所, 東京. 30pp.
- 日本鯨類研究所. 1998. 鯨研通信398. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所. 1998. 鯨研通信399. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所. 1998. 鯨研通信400. 日本鯨類研究所, 東京. 34pp.
- 日本鯨類研究所. 1998. 捕鯨における日本の立場と反捕鯨キャンペーン. 日本鯨類研究所, 東京. 54pp.
- 日本鯨類研究所. 1998. 捕鯨をとりまくこの1年1997年(後期). 日本鯨類研究所, 東京. 195pp.
- 日本鯨類研究所. 1998. 捕鯨をとりまくこの1年1998年(前期). 日本鯨類研究所, 東京. 196pp.
- 日本鯨類研究所. 1998. 南氷洋鯨類捕獲調査で得られた成果について. 日本鯨類研究所, 東京. 6pp.
- 日本鯨類研究所. 1998. 水産資源管理談話会報19. 日本鯨類研究所, 東京. 40pp.
- Institute of Cetacean Research. 1998. *Management of Cetaceans—What is the International Whaling Commission?* Inst. Cet. Res., Tokyo. 8pp.
- Institute of Cetacean Research. 1998. *What has been achieved by the Antarctic whale research program?* Inst. Cet. Res., Tokyo. 6pp.
- 西脇茂利. 1998. ツチクジラの日本海における分布と回遊. セトケンニューズレター 11.
- 西脇茂利. 1998. 1996/87年及び1997/98年度鯨類捕獲調査(JARPA)概要. 鯨研通信399: 1-6.
- 大曲佳世. 1998. 現代の野生動物資源利用—北カナダの事例から—. 鯨研通信398: 11-17.
- 大隅清治. 1998. アイルランド妥協案めぐり, 先鋭化した捕鯨, 反捕鯨の対立—混迷のうちに終わった第50回IWC年次会議. フォト45(13): 44-46.
- 大隅清治. 1998. 第50回IWC総会を迎えるに当たって—捕獲調査に一層の支援を. 水産タイムス1998年4月27日.
- 大隅清治. 1998. 「鯨研通信」50年400号の出版活動を振り返って. 鯨研通信400: 1-5.
- 大隅清治. 1998. 人と鯨が食糧争奪戦 世界漁獲高の6倍を捕食. 週刊世界と日本.
- 大隅清治. 1998. 捕鯨再開のシンボル. みなと新聞1998年10月14日.
- 大隅清治. 1998. 捕鯨の否定は文化の否定である. 日刊水産経済新聞1998年11月12日.
- 大隅清治. 1998. 標本採集船の代船建造が必要. 明日に挑む: 344-350.
- 大隅清治. 1998. 生物資源としてのクジラ. 明日の食品産業289: 32-37.
- 大隅清治. 1998. 新捕鯨構想を早期に提案. 水産週報1448: 17.
- 大隅清治. 1998. 海の虎—シャチ. 海オキシーテックニュースレター17: 13-14.
- 大隅清治. 1998. 勇気ある決断に敬意. 水産タイムス1998年10月12日.
- 大隅清治. 1998. 勇新丸の活躍に大きな期待. 水産世界47(11): 63.
- 大隅清治(監修・解説). 1998. ヴィジュアル・クジラ百科. 58-61. 海 知られざる世界 第3巻. NHK出版, 東京. 135pp.

- 大隅清治 (指導). 1998. いるか. しぜん—キンダーブック第27集第5編. フレーベル館, 東京. 29pp.
- 島 一雄. 1998. 鯨類の合理的な利用が重要課題. 日刊水産経済新聞1998年11月12日.
- 島 一雄. 1998. 捕鯨問題の持つ意味の重要性. 海1: 3.
- 島 一雄. 1998. 地道な調査活動こそ捕鯨再開の道. 明日に挑む: 222-228.
- 島 一雄. 1998. 島一雄IWC日本政府代表に聞く 健全な方向へリード. みなと新聞1998年10月14日.
- 島 一雄. 1998. 「食文化は外圧に屈せず」戦後の英国国民は鯨食拒絶 (島IWC日本代表の講演要旨). 水産タイムス1998年4月27日.
- 島 一雄. 1998. 竣工は画期的壮挙. 水産タイムス1998年10月12日.
- 島 一雄. 1998. 年の初めにあたって. 日本水産資源保護協会月報401: 2-3.
- 島 一雄. 1998. 勇新丸の竣工を祝う. 水産世界47(11): 63.
- 田中昌一. 1998. 水産資源学総論 (増補改訂版). 恒星社厚生閣, 東京. 406pp.
- 田中昌一. 1998. RMPについて. 水産資源管理談話会報19: 3-16.
- 田村 力. 1998. 鯨類研究で学位論文ができるまで. 勇魚29: 2-7.
- 田村 力. 1998. 北西太平洋におけるミンククジラの食性について. 鯨研通信400: 5-12.
- 山村和夫. 1998. 商業捕鯨からの教訓. 29-35. 北原 武編 水産資源・漁業の管理技術. 恒星社厚生閣, 東京. 127pp.
- 山村和夫. 1998. 水産研究のフロントから 財団法人日本鯨類研究所. 日本水産学会誌64(6): 1063.
- 銭谷亮子. 1998. ミンククジラの鯨体部位の名称. 鯨研通信397: 13-25.

1999年

- 藤瀬良弘. 1999. JARPA調査において採用されているランダムサンプリング法と今後の課題. 鯨研通信402: 1-10.
- 藤瀬良弘, 他. 1999. 内分泌攪乱化学物質による野生生物影響実態調査マニュアル. 財団法人自然環境研究センター, 東京. 252pp.
- Fisheries Agency. and Institute of Cetacean Research. 1999. *Management of cetacean resources What is the IWC?* Inst. Cet. Res., Tokyo. 8pp.
- Agencia de Pesca. and Instituto de Investigación de Cetáceos. 1999. *Manejo del recurso cetáceos ¿Qué es la IWC?* Inst. Cet. Res., Tokyo. 8pp.
- Agence des Pêches. and Institut de Recherche des Cétacés. 1999. *Gestion des ressources en cétacés qu'est-ce que c'est que l'IWC?* Inst. Cet. Res., Tokyo. 8pp.
- 袴田高志. 1999. ヒッター・フィッタープログラムについて. 鯨研通信401: 1-8.
- 石川 創. 1999. 子ども質問箱. 日本の学童はいく 1999年1月号. 全国学童保育連絡協議会, 東京.
- 石川 創. 1999. 特別読物ノルウェー捕鯨事情 (1) 水産週報1500: 4-7.
- 石川 創. 1999. 特別読物ノルウェー捕鯨事情 (2) 水産週報1501: 14-15.
- 石川 創. 1999. 特別読物ノルウェー捕鯨事情 (3) 水産週報1502: 23-26.
- 石川 創. 1999. 特別読物ノルウェー捕鯨事情 (4) 水産週報1503: 20-22.
- 石川 創. 1999. 特別読物ノルウェー捕鯨事情 (5) 水産週報1504: 4-6.
- 村上光由. 1999. 新たな問題に挑戦していく. 水産週報1495: 3.
- 村上光由. 1999. 野生動物の利用と水産業. 全水卸259: 22-27.
- 日本鯨類研究所. 1999. 第50回国際捕鯨委員会会議資料 (仮訳) 議長報告書. 日本鯨類研究所, 東京. 91pp.
- 日本鯨類研究所. 1999. 鯨研通信401. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本鯨類研究所. 1999. 鯨研通信402. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所. 1999. 鯨研通信403. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 1999. 鯨研通信404. 日本鯨類研究所, 東京. 26pp.
- 日本鯨類研究所. 1999. 捕鯨及び反捕鯨運動. 日本鯨類研究所, 東京.

資料

- 日本鯨類研究所. 1999. 捕鯨をとりまくこの1年1998年(後期). 日本鯨類研究所, 東京. 196pp.
- 日本鯨類研究所. 1999. 捕鯨をとりまくこの1年1999年(前期). 日本鯨類研究所, 東京. 193pp.
- 日本鯨類研究所. 1999. 北西太平洋ミンククジラ捕獲調査(JARP)の研究成果について. 日本鯨類研究所, 東京. 8pp.
- 日本鯨類研究所. 1999. 財団法人日本鯨類研究所年報平成10年度. 日本鯨類研究所, 東京. 75pp.
- 日本鯨類研究所. 1999. 76万頭南氷洋では76万頭のミンク鯨が生息 適切な管理下で合理的に利用すればその数が減ることはありません(新聞広告). 朝日新聞, 読売新聞, 産経新聞, 東京新聞, 毎日新聞, 日本経済新聞1999年5月23-25日.
- Institute of Cetacean Research. 1999. *Northwestern Pacific minke whale research program*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 4pp.
- Institute of Cetacean Research. 1999. *The tenth International Whaling Symposium report of the round-table conference on conservation and management of marine living resources and international trade policy*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 87pp.
- Institute of Cetacean Research. 1999. *What has been achieved by the Japanese whale research program under special permit in the western north Pacific (JARP)*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 8pp.
- 日本鯨類研究所 資源管理研究センター. 1999. 水産資源管理談話会報20. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所, 海の幸に感謝する会. 1999. これからのクジラと人との関係はどうあるべきでしょうか?. 日本鯨類研究所, 東京. 8pp.
- Institute of Cetacean Research. and Riches of the Sea. 1999. *Whale compete with fishermen for limited resources*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 4pp.
- 大隅清治. 1999. 第51回IWC総会特集振り子は必ず戻る. 水産タイムス1999年5月10日.
- 大隅清治. 1999. インタビュー 近い将来捕鯨再開の予感 CITES結果に注目 (財)日本鯨類研究所理事長大隅清治. みなと新聞1999年11月16日.
- 大隅清治. 1999. インタビュー 北太平洋ミンククジラ 捕獲量算出に努力 ロシアと共同調査へJARPはまとめに. 日刊水産経済新聞1999年5月21日.
- 大隅清治. 1999. インタビュー 日本鯨類研究所理事長 大隅清治氏に聞く IWC近く変革へ 調査の下地が大変重要. 日刊水産経済新聞1999年11月22日.
- 大隅清治. 1999. 異論反論—読者から8月号「巻頭随想」にもの申す. 水産界1377: 16.
- 大隅清治. 1999. 鯨物語(連載). 朝日新聞1999年6月9日-8月30日.
- 大隅清治. 1999. 新捕鯨構想実現へ. 水産タイムス1999年8月23日.
- 大隅清治. 1999. 総会挨拶. 鯨友会会報33: 9-11.
- 大隅清治. 1999. 提言北太平洋の新調査準備. みなと新聞1999年5月20日.
- 大隅清治. 1999. 「税金泥棒」と「悪徳弁護士」. 遠洋水研OB会便り3: 6-7.
- 大隅清治(監修). 1999. クジラの不思議をさぐってみよう. ピポパル4(3): 4-10.
- Ohsumi, S. 1999. Whale meat sold legally. Japan Times 1999/2/14.
- 島 一雄. 1999. 新しい年を迎えて. 日本水産資源保護協会月報414: 2-3.
- 島 一雄. 1999. 第51回IWC総会特集年次総会を迎えて魚食国のリーダーとして. 水産タイムス1999年5月10日.
- 島 一雄. 1999. 漁業代表団強盗に遭う. 明日の食品産業294: 19-22.
- 島 一雄. 1999. 捕鯨座談会 グローバルな視点が必要 しんどうが粘り強く主張. 日刊水産経済新聞1999年5月21日.
- 島 一雄. 1999. 提言 南氷洋は世界の食糧庫. みなと新聞. 1999年5月20日.
- 島 一雄. 1999. 運動の輪を広げよう. 水産タイムス1999年8月23日.
- 田中昌一. 1999. 南氷洋における鯨の保護区. 鯨研通信403: 1-5.
- 田中昌一. 1999. 提言 水産資源学研究は今何をすべきか. 月刊海洋号外17: 210-215.
- 田村 力, 大隅清治. 1999. 世界の海洋における鯨類の食物年間消費量. 鯨研通信402: 10-22.
- 田村 力, 大隅清治. 1999. 世界の海洋における鯨類の食物年間消費量. 日本鯨類研究所, 東京. 12pp.
- Tamura, T. and Ohsumi, S. 1999. Estimation of total food consumption by cetaceans in the world's ocean. Inst. Cet. Res, Tokyo.

16pp.

- Tamura, T. and Ohsumi, S. 1999. Estimacion sobre el consumo total de alimento por los cetáceos en los océanos del mundo. Inst. Cet. Res, Tokyo. 16pp.
- Tamura, T. and Ohsumi, S. 1999. Estimation sur la consommation alimentaire totale par les cétacés dans les océans du monde. Inst. Cet. Res, Tokyo. 16pp.
- Riches of the Sea. and Institute of Cetacean Research. 1999. Baleines en concurrence avec les pecheurs pour les ressources limitees. Inst. Cet. Res., Tokyo. 4pp.
- Riches of the Sea. and Instituto de Investigación de Cetáceos. 1999. Ballenas y Pescadores compiten por recursos limitados. Inst. Cet. Res., Tokyo. 4pp.
- Riches of the Sea. and Institute of Cetacean Research. 1999. Que faire face a la crise alimentaire du 21eme siècle? Inst. Cet. Res., Tokyo. 3pp.
- Riches of the Sea. and Institute of Cetacean Research. 1999. Qué podemos hacer frente a la crisis alimentaria en el siglo. Inst. Cet. Res., Tokyo. 3pp.
- 山村和夫. 1999. 産業界の動向 国際条約と鯨資源. 産業教育 591: 42-45.
- 全国漁業協同組合連合会, 財団法人日本鯨類研究所, 社団法人日本定置網漁業協会. 1999. 日本の沿岸で見られるイルカやクジラの見分け方. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.

2000年

- 藤瀬良弘. 2000. クジラの食性変化 藤瀬良弘調査団長 (インタビュー). 佐賀新聞. 2000年9月22日.
- グッドマン, D. 2000. 第2回IWMCシンポジウムに参加して. GGTニューズレター 36:2-3.
- グッドマン, D., 飯野靖夫 (訳). 2000. 反捕鯨主義のまやかしとその罪 (反捕鯨運動かへの反論). 鯨研通信 404: 12-15.
- Goodman, D. 2000. Blubber banned. *The Economist* 2000/9/30.
- Goodman, D. 2000. Correspondence. *Marine Pollution Bulletin* 40(1): 89-90.
- Goodman, D. 2000. Greenpeace's problem with research a whale of a tale. *The Washington Times* 2000/1/22.
- Goodman, D. 2000. If only Greenpeace told the truth about whaling. *The Japan Times* 2000/3/16.
- Goodman, D. 2000. Japanese whaling serves scientific purposes. *The Washington Times* 2000/9/19.
- Goodman, D. 2000. No threat to minke whales. *The West Australian* 2000/1/25.
- Goodman, D. 2000. Save the wails. Greenpeace. *The West Australian* 2000/1/28.
- Goodman, D. 2000. U.S. whaling sanctions smack of hypocrisy. *Japan Times* 2000/9/17.
- Goodman, D. 2000. Whale managed. *BBC wildlife* 18(10): 94-95.
- 石川 創. 2000. 人道的捕殺とは何か—捕鯨と動物福祉—. 鯨研通信 408: 7-17.
- 加藤秀弘, 銭谷亮子, 今原幸光, 入江正巳. 2000. ニタリクジラ和歌山標本骨格計測値. 245-249. 加藤秀弘編 ニタリクジラの自然誌. 平凡社, 東京. 308pp.
- 松岡耕二. 2000. 鯨類捕獲調査における海洋観測. 鯨研通信 406: 1-10.
- 森本 稔. 2000. わが国の主張支える. 水産タイムス 2000年11月27日.
- 森本 稔. 2000. RMS早期完成へ全力投球. みなと新聞 2000年11月27日.
- Morishita, J. and Goodman, D. 2000. Competition between fisheries and marine mammals—Feeding marine mammals at the expense of food for humans. 421-422. *In: The Third World Fisheries Congress (ed.) Abstracts Book The Third World Fisheries Congress.*
- 村上光由. 2000. 捕鯨問題を考える. 全水卸 11: 16-21.
- 村上光由. 2000. 図説水産概要. 成山堂書店, 東京. 176pp.
- 村瀬弘人. 2000. 計量魚探を用いた餌生物現存量調査の鯨類調査への導入について. 鯨研通信 405: 9-19.
- 日本鯨類研究所. 2000. 地球の生態系と捕鯨問題の最新事情クジラが増えすぎると、地球はどうなる？ 対談小松正之×

資料

- 長田渚左（雑誌広告）. 週刊文春2000年7月27日.
- 日本鯨類研究所. 2000. CITES COP 11 鯨のダウンリスティング提案. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. CITESの決定はIWCに関連させるべきではありません. 日本鯨類研究所, 東京. 6pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. 古い商業捕鯨から新たな持続捕鯨へ. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. 鯨研通信405. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. 鯨研通信406. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. 鯨研通信407. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. 鯨研通信408. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. グリーンピースに反論する日本の捕獲調査は合法的！グリーンピースの活動は、暴力的破壊行為！（意見広告）. 西日本新聞2000年2月19日.
- 日本鯨類研究所. 2000. カンガルーとクジラ. 日本鯨類研究所, 東京. 2pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. 鯨の資源量は豊富です 事実はこちらにあります. 日本鯨類研究所, 東京. 6pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. クジラ資源の効果的な調査は如何にして実現できるか？（改訂版）. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. ミンククジラは豊富です（新聞広告）. 朝日新聞2000年7月4日.
- 日本鯨類研究所. 2000. ミンククジラは豊富です（新聞広告）. 毎日新聞2000年7月3日.
- 日本鯨類研究所. 2000. ミンククジラは豊富です（新聞広告）. みなと新聞2000年11月27日.
- 日本鯨類研究所. 2000. ミンククジラは豊富です（新聞広告）. 日本経済新聞2000年7月3日.
- 日本鯨類研究所. 2000. ミンククジラは豊富です（新聞広告）. 西日本新聞2000年7月4日.
- 日本鯨類研究所. 2000. ミンククジラは豊富です（新聞広告）. 産経新聞2000年7月3日.
- 日本鯨類研究所. 2000. ミンククジラは豊富です（新聞広告）. 水産タイムス2000年11月27日.
- 日本鯨類研究所. 2000. ミンククジラは豊富です（新聞広告）. 東京新聞2000年7月3日.
- 日本鯨類研究所. 2000. ミンククジラは豊富です（新聞広告）. 読売新聞2000年7月3日.
- 日本鯨類研究所. 2000. 何か忘れていませんか？. 鯨類と人間の食糧. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. 日本が実施しているミンククジラの捕獲調査（改訂版）. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- 日本鯨類研究所. 2000. 「とってでもいい」シンポジウム紙上採録 世界のクジラは本当に減っているの？（新聞広告）. 朝日新聞2000年7月20日
- 日本鯨類研究所. 2000. 76万頭ミンククジラは豊富です（新聞広告）. みなと新聞2000年5月15日.
- 日本鯨類研究所. 2000. 76万頭ミンククジラは豊富です（雑誌広告）. 週刊朝日2000年7月14日.
- 日本鯨類研究所. 2000. 76万頭ミンククジラは豊富です（雑誌広告）. 週刊文春2000年4月20日.
- 日本鯨類研究所. 2000. 76万頭ミンククジラは豊富です（雑誌広告）. 週刊文春2000年7月6日.
- 日本鯨類研究所. 2000. 76万頭ミンククジラは豊富です（雑誌広告）. 週刊新潮2000年4月20日.
- 日本鯨類研究所. 2000. 76万頭ミンククジラは豊富です（雑誌広告）. 週刊新潮2000年7月6日.
- Institute of Cetacean Research. 2000. *A dysfunctional body that needs to be fixed*. Inst. Cet. Res, Tokyo.
- Institute of Cetacean Research. 2000. *CITES decisions should not be linked to the IWC*. Inst. Cet. Res, Tokyo. 6pp.
- Institute of Cetacean Research. 2000. *CITES COP 11 Japan's whale downlisting proposals*. Inst. Cet. Res, Tokyo. 4pp.
- Institute of Cetacean Research. 2000. *Did't we forget something?* Inst. Cet. Res, Tokyo.
- Institute of Cetacean Research. 2000. *From old commercial whaling to new sustainable whaling*. Inst. Cet. Res, Tokyo. 4pp.
- Institute of Cetacean Research. 2000. *Kangaroos and whales*. Inst. Cet. Res, Tokyo. 2pp.
- Institute of Cetacean Research. 2000. *Management of whale meat distribution in the Japanese market (Revised edition)*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 4pp.
- Institute of Cetacean Research. 2000. *Whales are abundant Here are the facts!* Inst. Cet. Res, Tokyo. 6pp.
- Institut de Resherche des Cétacés. 2000. *CITES COP 11 Propositions Japonaises de déclassements des espèces de baleine*. Institut de Resherche des Cétacés, Tokyo. 4pp.

- Institut de Resherche des Cétacés. 2000. *De l'ancienne chasse baleinière commerciale à la nouvelle chasse durable*. Institut de Resherche des Cétacés, Tokyo. 4pp.
- Institut de Resherche des Cétacés. 2000. *Kangourous et baleines*. Institut de Resherche des Cétacés, Tokyo. 2pp.
- Institut de Resherche des Cétacés. 2000. *Les baleines sont abondantes Voici les faits!* Institut de Resherche des Cétacés, Tokyo. 6pp.
- Institut de Resherche des Cétacés. 2000. *Les décisions de la CITES ne doivent pas être liées à la cbi*. Institut de Resherche des Cétacés, Tokyo. 6pp.
- Institut de Resherche des Cétacés. 2000. *N'avons-nous pas oublié quelque chose? Les cétacés et les nour-ritures pour l'humanité*. Institut de Resherche des Cétacés, Tokyo. 4pp.
- Institut de Resherche des Cétacés. 2000. *De la anticuada caza comercial a la nueva ballenería sustentable*. Institut de Resherche des Cétacés, Tokyo. 4pp.
- Instituto de Investigación de Cetáceos. 2000. *Canguros y ballenas*. Instituto de Investigación de Cetáceos, Tokyo. 2pp.
- Instituto de Investigación de Cetáceos. 2000. *CITES COP 11 Propuestas de Japon sobre transferencia de ballenas*. Instituto de Investigación de Cetáceos, Tokyo. 4pp.
- Instituto de Investigación de Cetáceos. 2000. *Hay ballenas en abundancia ¡Esta es la realidad!* Instituto de Investigación de Cetáceos, Tokyo. 6pp.
- Instituto de Investigación de Cetáceos. 2000. *¿No olvidamos algo? Los cetaceos y el alimento para la humanidad*. Instituto de Investigación de Cetáceos, Tokyo. 4pp.
- Instituto de Investigación de Cetáceos. 2000. *Las decisiones de CITES no deberían vincularse a la cbi*. Instituto de Investigación de Cetáceos, Tokyo. 6pp.
- 日本鯨類研究所 資源管理研究センター. 2000. 水産資源管理談話会報21. 日本鯨類研究所, 東京. 30pp.
- 日本鯨類研究所 資源管理研究センター. 2000. 水産資源管理談話会報22. 日本鯨類研究所, 東京. 31pp.
- 日本鯨類研究所 資源管理研究センター. 2000. 水産資源管理談話会報23. 日本鯨類研究所, 東京. 35pp.
- 日本鯨類研究所, 日本捕鯨協会. 2000. とってもいい. 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所, 海の幸に感謝する会. 2000. 大切なことを忘れていませんか? 未永く海洋生物資源を利用していくために. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- Institute of Cetacean Research. and Riches of the Sea. 2000. *Didn't we forget something? How to use marine living resources wisely*. Inst. Cet. Res, Tokyo. 4pp.
- 西脇茂利. 2000. 何処か違う日本海のカマイルカ. セトケンニューズレター15: 4.
- 西脇茂利. 2000. 1998/99年度南極海鯨類捕獲調査(JARPA)概要. 鯨研通信405: 1-9.
- 大隅清治. 2000. 新しい捕鯨像の世界への発信を. 漁村66(1): 1-15.
- 大隅清治. 2000. 新たな捕鯨の創造へ向けて. 23. 水産・食料研究会事務局編 21世紀の水産・食料への夢と期待. 水産・食料研究会, 東京. 79pp.
- 大隅清治. 2000. 調査成果踏まえ捕鯨再開を. みなと新聞2000年11月27日.
- 大隅清治. 2000. 鯨食文化とその尊重. 海3: 2.
- 大隅清治. 2000. 鯨類の生態に関するご進講の榮に浴して. 69-70. 天皇陛下御即位十年奉祝委員会編 御即位十年記念 御即位十年をことほぎて.
- 大隅清治. 2000. 捕鯨問題の実態. 翼62: 123-128.
- 大隅清治. 2000. インタビュー 鯨は人類共有の財産. みなと新聞2000年5月15日.
- 大隅清治. 2000. インタビュー (財)日本鯨類研究所 大隅清治理事長 鯨類の効果的な保存と合理的利用を考える. SEIKAI.
- 大隅清治. 2000. IWC総会に当たって 難関を越えて展望開く. 水産タイムス2000年5月29日.
- 大隅清治. 2000. 講演IWCが抱える諸問題 条約を実践する国を不当に批判する矛盾. 水産タイムス2000年11月27日.

資料

- 大隅清治. 2000. これからの捕鯨. 漁船346: 118-125.
- 大隅清治. 2000. 鯨の利用に関する2つの期待. 48-49. 21世紀の海洋開発と海産研30年の歩み. 海洋産業研究会, 東京. 216pp.
- 大隅清治. 2000. ミレニアム新時代を開く「捕鯨問題」座談会. 日刊水産経済新聞2000年1月6日.
- 大隅清治. 2000. 日本人と鯨の関わり合い. 潮流20.
- 大隅清治. 2000. 日本海セトロジー研究会顧問就任に際して 研究会の更なる発展を期待する. セトケンニューズレター17.
- 大隅清治. 2000. 論壇 調査捕鯨は科学的にも正当だ. 朝日新聞2000年11月8日.
- 大隅清治. 2000. 新春クジラ座談会 森本IWC日本代表を囲んで. 水産タイムス2000年1月1日.
- 大隅清治. 2000. 特集ワイド 調査捕鯨で判明したクジラの大食漢ぶり. 毎日新聞2000年11月17日.
- 大隅清治. 2000. 21世紀の鯨の夢. 鯨研通信408: 1-7.
- 大隅清治 (著), 張麗 (訳). 2000. 鯨豚博物学. 大樹文化, 台湾. 270pp.
- Ohsumi, S. 2000. Q&A Minke whales are abundant. The Japanese Times 2000/6/30.
- Ohsumi, S. 2000. Working together against worldwide anti-whaling forces. Mainichi Daily News 2000/2/22.
- 大谷誠司. 2000. いち編集委員のお願い. 勇魚32.
- 岡田淳子, グッドマン, D, 岩崎まさみ. 2000. トーテムポールとサケの人びと. 北方民族博物館だより39: 5-6.
- 田中昌一. 2000. 南氷洋における鯨の保護区. 鯨研通信403: 1-5.
- 山村和夫. 2000. ご挨拶. 鯨友会会報35: 11-13.
- 銭谷亮子. 2000. 春から初夏にかけて7E及び8海区におけるミンククジラの分析(1998年北西北太平洋ミンククジラ捕獲調査概要). 鯨研通信404: 1-12.

2001年

- 坂東武治. 2001. 安定同位体比を用いた北西北太平洋ミンククジラの生態研究. 鯨研通信411: 9-16.
- Goodman, D. 2001. Fish stocks may resolve whaling debate. The Japan Times 2001/8/30.
- Goodman, D. 2001. Grenada to vote for Japanese aid? Grenada today 2001/6/16.
- Goodman, D. 2001. NZ should leave the IWC. The Dominion 2001/8/15.
- Goodman, D. 2001. Whale of an argument. Marlborough Express 2001/8/14.
- Goodman, D. 2001. Whale programme. The Press 2001/8/15.
- Goodman, D. 2001. Whales already safe. The Independent 2001/5/19.
- Goodman, D. 2001. Whaling. Otago Daily Times 2001/5/25.
- 藤瀬良弘. 2001. (第8章) 日本が行っている調査とその結果. 161-203. 小松正之編 くじら紛争の事実. 地球社, 東京. 326pp.
- 飯野靖夫. 2001. (第12章) 捕鯨と国際法(第1, 2, 3節) 反捕鯨派の主張を検証する クジラを捕る上での権利と義務 IWCが直面する法的問題. 250-258. 小松正之編 くじら紛争の事実. 地球社, 東京. 326pp.
- 茂越敏弘. 2001. 南極海産ミンククジラの精子と精巣機能. 鯨研通信410: 9-16.
- 森本 稔. 2001. 第44回国連総会「漁網漁業決議」の思い出. 376-385. 北太平洋漁業回想録編集委員会編 北太平洋漁業回想録. 北太平洋漁業回想録編集委員会, 東京. 455pp.
- 森本 稔. 2001. 鯨類捕獲調査船団の石巻入港記念 鯨類問題に関する講演会「国際捕鯨情勢とIWCの現状捕鯨再開へ理解と協力を」. 日刊水産経済新聞2001年5月1日.
- 森本 稔. 2001. 捕鯨インタビュー 科学と国際法で世論味方に「下関視野に一歩でも前進」. みなと新聞2001年5月1日.
- 森本 稔. 2001. 一丸となって会議の成功を. 水産世界50(9): 22.
- 森本 稔. 2001. 一般公開記念講演会から 捕鯨情勢とIWCの現状 (IWC日本政府代表森本稔氏). 水産タイムス2001年5月7日.

- 森本 稔. 2001. インタビューIWC下関会議成功へ 海外での広報活動継続. みなと新聞2001年11月19日.
- 村上光由. 2001. 200海里元年の思い出. 231-233. 北太平洋漁業回想録編集委員会編 北太平洋漁業回想録. 北太平洋漁業回想録編集委員会, 東京. 455pp.
- 日本鯨類研究所. 2001. 捕鯨をとりまくこの1年2000年(後期). 日本鯨類研究所, 東京. 199pp.
- 日本鯨類研究所. 2001. 捕鯨をとりまくこの1年2001年(前期). 日本鯨類研究所, 東京. 201pp.
- 日本鯨類研究所. 2001. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). みなと新聞2001年11月19日.
- 日本鯨類研究所. 2001. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). 日刊水産経済新聞2001年11月14日.
- 日本鯨類研究所. 2001. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). 静岡新聞2001年10月28日.
- 日本鯨類研究所. 2001. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). 水産タイムス2001年11月12日.
- 日本鯨類研究所. 2001. 増えるクジラ 減るサカナ(雑誌広告). 島へ1(2): 45.
- 日本鯨類研究所. 2001. 増えるクジラ 減るサカナ クジラは大切な食糧資源です(新聞広告). 日刊水産経済新聞2001年7月18日.
- 日本鯨類研究所. 2001. 増えるクジラ 減るサカナ クジラは大切な食糧資源です(新聞広告). 宇部時報2001年7月13日.
- 日本鯨類研究所. 2001. 増えるクジラ 減るサカナ クジラは大切な食糧資源です(新聞広告). 山口新聞2001年7月13日.
- 日本鯨類研究所. 2001. 増えるクジラ 減るサカナ クジラは大切な食糧資源です(新聞広告). 読売新聞, 毎日新聞, 産経新聞, 日本経済新聞2001年7月23日.
- 日本鯨類研究所. 2001. 鯨研通信409. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2001. 鯨研通信410. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2001. 鯨研通信411. 日本鯨類研究所, 東京. 28pp.
- 日本鯨類研究所. 2001. 鯨研通信412. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2001. 「鯨類と魚類資源についての真実」に対する批判. 日本鯨類研究所, 東京. 8pp.
- 日本鯨類研究所. 2001. 日本が実施している南極海におけるミンククジラの捕獲調査. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- 日本鯨類研究所. 2001. ミンククジラだけで世界に1,000,000頭もいます 多くのクジラは絶滅の危機とは無縁です(新聞広告). みなと新聞2001年5月1日.
- 日本鯨類研究所. 2001. ミンククジラだけで世界に1,000,000頭もいます 多くのクジラは絶滅の危機とは無縁です(新聞広告). 水産タイムス2001年5月7日.
- 日本鯨類研究所. 2001. 定置網に混獲されたひげ鯨等の取り扱いの手引き. 海産哺乳類混獲等管理促進事業管理指導検討委員会(全国漁業協同組合連合会, 日本鯨類研究所, 日本定置網業協会), 8pp.
- 日本鯨類研究所. 2001. 76万頭ミンククジラは豊富です(新聞広告). 水産タイムス2001年1月1日.
- 日本鯨類研究所. 2001. 76万頭ミンククジラは豊富です(新聞広告). 日刊水産経済新聞2001年4月20日.
- Institute of Cetacean Research. 2001. *Critique—The facts about whales and fish stocks*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 7pp.
- Institut de Resherche des Cétacés. 2001. *Critique—La verité sur les baleines et les stocks de poissons*. Institut de Resherche des Cétacés, Tokyo. 7pp.
- Instituto de Investigación de Cetáceos. 2001. *Crítica—La realidad sobre las ballenas y las poblaciones de peces*. Instituto de Investigación de Cetáceos, Tokyo. 8pp.
- 日本鯨類研究所資源管理研究センター. 2001. 水産資源管理談話会報24. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本鯨類研究所資源管理研究センター. 2001. 水産資源管理談話会報25. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.
- 大曲佳世. 2001. (第5章) 捕鯨とクジラ文化—生活に息づく捕鯨—(第3,4節) 日本の捕鯨と食文化 世界の捕鯨と鯨食文化. 116-127. 小松正之編 くじら紛争の事実. 地球社, 東京. 326pp.
- 大曲佳世. 2001. 食物アレルギーと鯨肉. 鯨研通信410: 1-8.
- 大隅清治. 2001. (第1章) クジラの種類とその生活. 29-39. 小松正之編 くじら紛争の事実. 地球社, 東京. 326pp.

資料

- 大隅清治. 2001. (第7章) クジラはどのくらいいるか—責任ある捕鯨を続けるために—. 150–160. 小松正之編 くじら紛争の事実. 地球社, 東京. 326pp.
- 大隅清治. 2001. 第53回IWC特集「IWC年次総会を前に正常化への着実な一歩を」. 水産タイムス2001年5月7日.
- 大隅清治. 2001. 捕鯨インタビュー 科学と国際法で世論味方に「粛々と調査し知見を蓄積」. みなと新聞2001年5月1日.
- 大隅清治. 2001. 鯨類を含めた持続可能な漁業を目指すべきです. サライ13(6): 15.
- 大隅清治. 2001. 挑め! 2001年課題多いが短期間で解決を. みなと新聞2001年1月29日.
- 大隅清治. 2001. 研究からのINPFCへの関与. 88–93. 北太平洋漁業回想録編集委員会編 北太平洋漁業回想録. 北太平洋漁業回想録編集委員会, 東京. 455pp.
- 大隅清治. 2001. クジラは大海原をどのように利用しているか—人工衛星を利用したクジラの生態・行動解析—. *Earthian* 192: 8–13.
- 大隅清治. 2001. クジラは大海原をどのように利用しているか—人工衛星を利用したクジラの生態・行動解析—. *Nature Interface* 6: 22–23.
- 大隅清治. 2001. クジラのサンマ捕食調査に期待する 宮城県さんま出漁船の調査・協力に感謝. 水産世界50(9): 34–35.
- 大隅清治. 2001. 鯨の過去帳. 島へ1(1): 70.
- 大隅清治. 2001. 新春捕鯨座談会2001年「捕鯨再開元年」へ「36の質問にも答えたJARNII」. 日刊水産経済新聞2001年1月1日.
- 大隅清治. 2001. 新春くじら座談会IWCロンドン・下関総会へ連続勝利を 大隅「熱意ある女性や若者の姿も」. 水産タイムス2001年1月1日.
- 大隅清治. 2001. シロナガスクジラの骨格標本の展示を祝って. 1. 下関海洋科学アカデミー編 シロナガスクジラ全身骨格—日本・ノルウェー共同プロジェクトの歩み—.
- 大隅清治. 2001. 出港にあたって 捕鯨の早期再開を目指して. 水産タイムス2001年11月12日.
- 大隅清治. 2001. 特別寄稿 なぜ日本は捕鯨再開を主張するのか!?. 政界23(8): 104–106.
- 大隅清治. 2001. 私の流儀 ストップ・ザ・鯨離れ 信念を持って誤解を解きながら「粛々と調査捕鯨を続けている」 夕刊フジ2001年12月29日.
- 大隅清治. 2001. よりよい調査 宣伝活動に努力 資源の有効利用へ貢献. 日刊水産経済新聞2001年1月29日.
- 大隅清治 (指導). 2001. うみのチャンピオン くじらのなかま. キンダーブック56(4): 2–11.
- Ohsumi, S. 2001. Working toward common objective. *Mainichi Daily News* 2001/2/22.
- 大谷誠司. 2001. 潜る深さを予想するネズミイルカ. 勇魚35: 12–16.
- パステネ, L. A. 2001. JARPAの南極海産大型鯨類の生物学的情報入手への貢献. 鯨研通信411: 1–9.
- 田村 力. 2001. フォーラム「日本近海からどれだけ魚介類は供給できるか」. 季刊日本人とさかな4: 8–22.
- 田村 力. 2001. 南極海のオキアミを巡る争い—ヒゲクジラ類を中心として. 水産資源管理談話会報25: 10–18.
- 田中昌一. 2001. (第9章) 鯨資源の管理法 (第1, 2節) 鯨資源の乱獲から改訂管理方式へ 南氷洋におけるクジラの保護区. 204–222. 小松正之編 くじら紛争の事実. 地球社, 東京. 326pp.
- 田中昌一. 2001. はじめに, 目的と構成. 1–2. 平成12年度資源評価体制確立推進事業報告書 資源解析手法教科書 (本編). 日本水産資源保護協会, 東京.
- 田中昌一. 2001. 水産資源学を語る. 恒星社厚生閣, 東京. 156pp.
- 田中昌一. 2001. 21世紀の水産資源管理. 平成12年度遠洋漁業関係試験研究推進会議 まぐろ資源部会報告書. 202–205. 遠洋水産研究所.
- 吉田英可. 2001. カリブ海における鯨類目視調査の概要報告. 鯨研通信409:1–7.

2002年

- Goodman, D. 2002. A new look at 'Save the whales'. The New York Times 2002/8/22.
- Goodman, D. 2002. Mercury in whales. *New Scientist* 175(2351): 25.
- Goodman, D. 2002. Whale research. NZ Herald 2002/9/2.
- 後藤睦夫. 2002. 水産分野におけるDNA鑑定技術の現状—特に鯨類を例として—. (社)農林水産先端技術産業振興センター [STAFF] 講演会「農林水産分野におけるDNA鑑定技術の現状と課題」講演要旨集.
- 袴田高志. 2002. 不偏な生物学的特性値の推定のための標本採集方法及び資源量推定値の検討. 鯨研通信412: 1-8.
- 袴田高志 (訳). 2002. R. Alpizar-Jara and K. H. Pollock (著). 2002. 標識再発見法 (mark-resighting) による調査のためのライントランセクト法と捕獲再捕法の結合. 62-81. 日本鯨類研究所鯨研叢書9. 日本鯨類研究所, 東京. 169pp.
- 飯野靖夫. 2002. 日本の鯨類捕獲調査の合法性. 鯨研通信412: 10-18.
- 石川 創. 2002. 鯨の捕獲は非人道的行為か?. *ズー・アンド・ワイルドライフ* ニュース15: 24-27.
- 石川 創. 2002. 日本鯨類研究所の南極海鯨類捕獲調査 南の海のそのまた向こうへ. 船員ほけん581: 6-7.
- 石川 創. 2002. Whales and dolphins stranded in Japan. *Newton* (2003年1月号付録).
- 上田真久. 2002. 遺伝的多様性の保全と鯨類の資源管理. 鯨研通信413: 9-16.
- 森本 稔. 2002. ひとクローズアップIWC下関会議人事を尽くし天命待つ. みなと新聞2002年3月26日.
- 森本 稔. 2002. 海洋生態系の保存・維持はクジラの適正利用にほかならぬ. 日刊水産経済新聞2002年4月19日.
- 森本 稔. 2002. 下関会議のキーマンに聞くIWCコミッショナー森本 稔氏“新しい捕鯨”創造へ状況次第で形成逆転も. みなと新聞2002年4月25日.
- 森本 稔. 2002. IWC下関会議改訂管理制度完成を最重視. 山口新聞2002年4月27日.
- 森本 稔. 2002. IWC下関森本稔・日本政府代表に聞くRMS完成を目指す 直ちに捕鯨再開は難しい. 中国新聞2002年4月28日.
- 森本 稔. 2002. IWC下関会議の意義森本稔・政府代表に聞く「鯨食文化の理解を」産経新聞2002年5月9日.
- 松岡耕二. 2002. クジラの数を数える. 207-218. 村山 司, 森 恭一, 中原史生著イルカ・クジラ学. 東海大学出版会, 神奈川. 265pp.
- 村上光由. 2002. 第54回IWC年次会合に向けて4月末~5月下関で開催. 水産界1407: 8-15.
- 日本鯨類研究所. 2002. 第53回国際捕鯨委員会会議資料(仮訳) 議長報告書. 日本鯨類研究所, 東京. 117pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 鯨研叢書8漁獲努力量とCPUE—捕鯨をめぐる—. 日本鯨類研究所, 東京. 56pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 鯨研叢書9海産哺乳類の調査と評価 Marine mammal survey and assessment methods. 日本鯨類研究所, 東京. 169pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 鯨研通信416. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. これだけですべてが分かる記者のためのクジラ・データ集. 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所. 2002. 捕鯨をとりまくこの1年2001年(後期). 日本鯨類研究所, 東京. 188pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 捕鯨をとりまくこの1年2002年(前期). 日本鯨類研究所, 東京. 198pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). みなと新聞2002年11月22日.
- 日本鯨類研究所. 2002. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). 日刊水産経済新聞2002年12月12日.
- 日本鯨類研究所. 2002. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). 水産タイムス2002年1月1日.
- 日本鯨類研究所. 2002. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). 水産タイムス2002年11月18日.
- 日本鯨類研究所. 2002. 増えるクジラ 減るサカナ(雑誌広告). 水産世界.
- 日本鯨類研究所. 2002. 鯨研通信413. 日本鯨類研究所, 東京. 26pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 鯨研通信414. 日本鯨類研究所, 東京. 26pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 鯨研通信415. 日本鯨類研究所, 東京. 38pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 日本鯨類研究所年報平成13年度. 日本鯨類研究所, 東京. 90pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 新捕鯨協定と国際法. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.

資料

- 日本鯨類研究所. 2002. 水産資源管理談話会報26. 日本鯨類研究所, 東京. 25pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 水産資源管理談話会報27. 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. 水産資源管理談話会報28. 日本鯨類研究所, 東京. 29pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. Whaling controversy and the rational utilization of marine resources 捕鯨問題と海洋生物資源の合理的利用. 日本鯨類研究所, 東京. 68pp.
- 日本鯨類研究所. 2002. WHAT'S CITES? (日本語版). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所. 2002. WHAT'S CITES CITES COP12 (英語版・仏語版・西語版). 日本鯨類研究所, 東京.
- Institute of Cetacean Research. 2002. Let the figures do the talking (Newspaper advertisement). The Japan Times 2002/5/10.
- Institute of Cetacean Research. 2002. *What would you do if Japanese people told New Zealanders, "No more Sunday lamb roast?"*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 2pp.
- 大隅清治. 2002. 調査の対象、種類を拡充し、早期に生態系の把握が重要. 日刊水産経済新聞2002年4月19日.
- 大隅清治. 2002. チュコトの捕鯨. 鯨研通信416: 1-8.
- 大隅清治. 2002. 第二勇新丸の洋々たる前途を祝す. 水産世界51(11): 55.
- 大隅清治. 2002. 鯨類を含む海洋資源の持続的利用を. 水産週報1569: 4-7.
- 大隅清治. 2002. GHQの指示で捕鯨再開「三人委員会」とのお合同会議に参加 科学ではなく票決で ゴールのないハードル競争「捕鯨問題」と日本外交第6回インタビュー内容. 163-187. 政策研究院政策研究大学院大学, 東京.
- 大隅清治. 2002. ひとクローズアップIWC下関会議 鯨に魅せられて50年. みなと新聞2002年3月29日.
- 大隅清治. 2002. 捕鯨関連でお世話になった藤波徳雄さん. 137-139. 藤波徳雄氏追悼記念刊行世話人会編藤波徳雄さんを偲ぶ.
- 大隅清治. 2002. IWC下関会議の焦点. 月刊政界Politico 24(6): 72.
- 大隅清治. 2002. 刊行にあたり 鯨類資源研究の最前線 鯨類資源の持続的利用は可能か. 5-6. 生物研究社, 東京.
- 大隅清治. 2002. これからのクジラとの付き合い方. アクアマリンふくしま企画展鯨あらかわーよみがえる鯨文化—: 17-19.
- 大隅清治. 2002. 鯨の座礁について考える. Ship & Ocean Newsletter 53: 6-7.
- 大隅清治. 2002. 極洋丸北洋捕鯨船団によるセミクジラの特別捕獲調査に参加して. 110-114. 真野季弘著くじらの海とともに一極洋のくじらとり達の物語—. チューエツ長崎工場, 長崎. 329pp.
- 大隅清治. 2002. 日鯨研の活動とIWC下関会議への期待. 海員: 24-27.
- 大隅清治. 2002. 大隅清治日鯨研理事長が勲四等瑞宝章に輝く(大隅理事長インタビュー) 50余年 一貫して鯨類を研究. 日刊水産経済新聞2002年12月12日.
- 大隅清治. 2002. 出港にあたって 合理的利用と管理に貢献(財)日本鯨類研究所理事長 大隅清治氏. 水産タイムス 2002年11月18日.
- 大隅清治. 2002. 論説日本の文化としての鯨食を考える. 季刊日本人とさかな2002冬: 19-27.
- 大隅清治. 2002. 論点商業捕鯨再開へ条件整う. 読売新聞2002年5月9日.
- 大隅清治. 2002. 下関会議のキーマンに聞く(財)日本鯨類研究所理事長 大隅清治氏 “新しい捕鯨” 創造へ鯨の捕食は人類全体の問題. みなと新聞2002年4月25日.
- 大隅清治. 2002. (新春くじら座談会) 鯨類の持続的利用へ(森本稔氏 米澤邦男氏 大隅清治氏 中島圭一氏 高山武弘氏 三崎滋子氏). 水産タイムス2002年1月1日.
- 大隅清治. 2002. 田中先生が鯨類資源研究に果たした役割. 日刊水産経済新聞2002年7月17日.
- Ohsumi, S. 2002. Congratulations to the people of Saint Lucia on their Independence Day. Japan Times 2002/2/22.
- 大隅清治, 池田祐司. 2002. (2002年新春特別対談) 増えるクジラ 減るマグロ. 水産世界51(1): 52-29.
- 大隅清治, 吉村作治. 2002. (対談) 鯨食健美⑥クジラ対談 “鯨食健美”. 57-72. IWC下関会議推進協議会.
- 大隅清治, C.W. ニコル, 岩本久則. 2002. (座談会) 焦点! 捕鯨是か非か 見えぬ合意への道筋. 朝日新聞2002年5月20日.

- 大谷誠司. 2002. ネズミイルカの潜水の謎に挑む—潜水生理. 57-70. 村山 司, 森 恭一, 中原史生著イルカ・クジラ学. 東海大学出版会, 神奈川. 265pp.
- 田中昌一. 2002. 漁獲努力量とCPUE—捕鯨をめぐる. 日本鯨類研究所 鯨研叢書8. 日本鯨類研究所, 東京. 56pp.
- 田中昌一. 2002. 南極海ミンククジラの資源調査. 57-86. 神保雅一編 データサンプリング. 共立出版, 東京. 228pp.
- 田中昌一. 2002. 21世紀の水産資源管理を考える. 海洋水産エンジニアリング2(14): 9-16.
- 田中昌一. 2002. 50余年の研究生活を顧みて. 鯨研通信414: 1-10.
- 安永玄太, 藤瀬良弘. 2002. 鯨類研究における環境毒性学という分野—水銀研究を例に一. 鯨研通信413: 1-8.

2003年

- 後藤睦夫. 2003. 海生哺乳類. 175-188. 小池裕子, 松井正文編 保全遺伝学. 東京大学出版会, 東京. 320pp.
- グッドマン, D. 2003. 行き過ぎたIWC. 鯨研通信 419: 1-7.
- Goodman, D. 2003. Japan's Proper Whaling Research. *BioScience* 53(5): 448.
- Iino, Y. and Goodman, D. 2003. Japan's Position in the International Whaling Commission. 3-32. *In*: W.C. Burns and A. Gillespie (eds.) *The future of cetaceans in a changing world*. Martinus Nijhoff. 300pp.
- 石川 創. 2003. 第2テーマ「鯨の世界をのぞく」(2)「いま鯨の世界で起きていること」講師(財)日本鯨類研究所調査部採集調査室室長 石川創氏. 120-143. 平成14年度海事講演会 海・船セミナー2002講演録.
- 石川 創. 2003. 鯨の捕獲調査は非人道的行為か?. 鯨研通信420: 1-6.
- 石川 創. 2003. 日本における鯨類の管理と保護. 特集野生動物モニタリングと環境保護. 畜産新報56(4): 285-294.
- 木和田広司. 2003. JARPNIIにおける鯨類の餌生物調査. 鯨研通信418: 1-10.
- 小西健二. 2003. アニサキスの生態学的研究—スケトウダラを例にして—. 鯨研通信419: 7-14.
- 小西健二. 2003. 鰭脚類の寄生虫—陸上から水中へ—. 勇魚38: 8-12.
- 村上光由. 2003. ご挨拶. 鯨友会会報39: 14-18.
- 長門市, 日本鯨類研究所. 2003. 第1回日本伝統捕鯨地域サミット開催の記録. 長門市, 山口. 168pp.
- Nagato city, Institute of Cetacean Research. 2003. *Report and Proceedings The 1st Summit of Japanese Traditional Whaling Communities Nagato*. Nagato city, Yamaguchi. 150pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 第2回日本伝統捕鯨地域サミット生月プログラム. 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 第2回日本伝統捕鯨地域サミット前夜祭. 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所. 2003. 第54回国際捕鯨委員会会議資料(仮訳)議長報告書. 日本鯨類研究所, 東京. 105pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 鯨研叢書10. 日本鯨類研究所, 東京. 61pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 鯨研通信417. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 鯨研通信418. 日本鯨類研究所, 東京. 30pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 鯨研通信419. 日本鯨類研究所, 東京. 32pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 鯨研通信420. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 捕鯨とその批判者達(米澤邦男訳). 日本鯨類研究所, 東京. 17pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 捕鯨をとりまくこの1年2002年(後期). 日本鯨類研究所, 東京. 203pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 捕鯨をとりまくこの1年2003年(前期). 日本鯨類研究所, 東京. 202pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). みなと新聞2003年4月30日.
- 日本鯨類研究所. 2003. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). 日刊水産経済新聞2003年4月18日.
- 日本鯨類研究所. 2003. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). 水産タイムス2003年1月1日.
- 日本鯨類研究所. 2003. 増えるクジラ 減るサカナ(新聞広告). 水産タイムス2003年4月28日.
- 日本鯨類研究所. 2003. 日本が実施している南極海におけるミンククジラの捕獲調査. 日本鯨類研究所, 東京. 4pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 水産資源管理談話会報1-26(CD-R版). 日本鯨類研究所, 東京. 29pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 水産資源管理談話会報29. 日本鯨類研究所, 東京. 29pp.

資料

- 日本鯨類研究所. 2003. 水産資源管理談話会報30. 日本鯨類研究所, 東京. 35pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 水産資源管理談話会報31. 日本鯨類研究所, 東京. 38pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 水産資源管理談話会報32. 日本鯨類研究所, 東京. 26pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. 財団法人日本鯨類研究所要覧. 日本鯨類研究所, 東京. 8pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. Edo Tokyo Bay whale map 江戸東京湾くじらマップ. 日本鯨類研究所, 東京. 34pp.
- 日本鯨類研究所. 2003. Japanese Whaling (いまに生きる日本捕鯨の伝統とその源流). 日本鯨類研究所, 東京. 49pp.
- Institute of Cetacean Research. 2003. *Cetacean and multi-species fisheries management Japan's Whale Research Program in the Western North Pacific (JARPN II)*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 202pp.
- Institute of Cetacean Research. 2003. *The Institute of Cetacean Research Prospectus*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 8pp.
- Institute of Cetacean Research. 2003. *Whales and the Japanese*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 170pp.
- 日本鯨類研究所 (監修). 2003. もっと知りたい! クジラブック 朝日小学生新聞 総合学習副読本. 朝日小学生新聞, 東京. 22pp.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2003. 調査捕鯨のクジラ肉は安全です. 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2003. 鯨歴鯨錦絵カレンダー. 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2003. 捕鯨の伝統と文化を見直す 鯨と日本人. 日本鯨類研究所, 東京. 5pp.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2003. クジラも, クジラのお肉も, だいすき WHALES. 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2003. まもって, 食べる. Let's Cook!! 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 西脇茂利. 2003. 第2テーマ「鯨の世界をのぞく」(2)「鯨のことをもっと知ってみませんか」講師(財)日本鯨類研究所 調査部長 西脇茂利氏. 68-91. 平成14年度海事講演会海・船セミナー2002講演録.
- 大木阪京魚. 2003. クジラ研究の「トキワ荘」時代. 鯨研通信420: 6-16.
- 大曲佳世. 2003. 世界に於ける鯨類利用の現状 懇話会ニュース 日本水産学会水産利用懇話会 捕鯨を巡る最近の話題. 日本水産学会誌69(2): 249-251.
- 大隅清治. 2003. 沿岸域でのクジラ・イルカ類の生態調査法(第6編第4章). 743-747. 竹内 均監修 地球環境調査計測事典 第3巻沿岸域編. フジ・テクノシステム, 東京. 1297pp.
- 大隅清治. 2003. ご挨拶. 鯨友会会報41: 19-20.
- 大隅清治. 2003. 発刊に寄せて 伝統捕鯨への誇り 新しい捕鯨の構築. 5. 長門市, 日本鯨類研究所編第1回日本伝統捕鯨地域サミット開催の記録. 長門市, 山口. 168pp.
- 大隅清治. 2003. 基調講演 日本型捕鯨再開を. シンポジウム何が日本を開国させたか?—横浜とペリーとクジラの関係を探る— 横浜開港150周年プレ・イベント. 神奈川新聞2003年8月28日.
- 大隅清治. 2003. これからの捕鯨. 神田週報39(29): 1.
- 大隅清治. 2003. クジラ問題 インタビュークジラ学の基礎 日本鯨類研究所理事長 大隅清治氏クジラは再生産力がある“生物資源”である 人間にプラスになる高い価値の食料. 日刊水産経済新聞2003年4月18日.
- 大隅清治. 2003. 年頭会見 新たな南氷洋調査計画目指す. 日刊水産経済新聞2003年1月28日.
- 大隅清治. 2003. 日本鯨類研究所・大隅清治理事長に聞く JARPAいよいよ大詰め 広報活動にも力を注ぐ. みなと新聞2003年11月25日.
- 大隅清治. 2003. 農林抄 今後のIWC対応私見. 週刊農林1858.
- 大隅清治. 2003. (新春くじら座談会) 国民の熱い支援をバックに捕鯨再開をめざせ(浜田靖一氏, 高山武弘氏, 大隅清治氏, 白石ユリ子氏, 中島圭一氏, 小川 洋氏). 水産タイムス2003年1月1日.
- 大隅清治. 2003. 出港にあたって 捕獲調査は締約国の権利. 水産タイムス2003年11月17日.
- 大隅清治. 2003. その時私は…〈11〉我が思い出のスナッフ(財)日本鯨類研究所理事長 大隅清治氏 北洋捕鯨初参加. 水産タイムス2003年3月10日.
- 大隅清治. 2003. 水産団体トップ会見 第2期南氷洋調査に全力 大隅日鯨研理事長会見. 水産界25-26.
- 大隅清治. 2003. 水産主要団体トップ「2003年の抱負」次期南氷洋調査計画に取り組む 日本鯨類研究所 大隅清治理

事長. NEWS海の幸.

大隅清治. 2003. 随想 日本における鯨類学の過去、現在そして未来. かはく国立科学博物館ニュース: 3.

大谷誠司. 2003. ネズミイルカの潜水行動と代謝生理. 鯨研通信417: 1-8.

清家紀子. 2003. 及川文庫の開設にあたって思うこと. 鯨研通信419: 15-19.

2004年

藤瀬良弘. 2004. クジラと私—クジラを追って南へ北へ—. 勇魚40: 54-65.

藤瀬良弘. 2004. 総合討論. 勇魚40: 82-91.

ガブリエル ゴメス ディアス. 2004. 食料安全保障と鯨. 鯨研通信424: 1-8.

ゴメスガブリエル, 久場朋子. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (I) 情報・文化部 (3章). 鯨研通信422: 12-13.

Goodman, D. 2004. Whaling culture. *New Scientist* 180(2417): 32.

袴田高志. 2004. 日本鯨類研究所の各部の紹介 (II) 研究部 (3章-1). 鯨研通信423: 9-10.

畑中 寛. 2004. ヒューマン・スケッチ「捕鯨再開と国際貢献」日本鯨類研究所理事長 畑中 寛. 水産週報1634.

畑中 寛. 2004. (インタビュー捕鯨グループが新体制に) 持続的捕鯨が地球・人類の未来を開く 日本鯨類研究所畑中寛理事長. 水産タイムス2004年2月23日.

畑中 寛. 2004. “鯨研究”に全力投球 まずJARPAII調査計画策定を. みなと新聞2004年2月18日.

畑中 寛. 2004. 未来へつながる鯨食文化 日本鯨類研究所畑中寛理事長に聞くJARPAいよいよ最終期ザトウ鯨の増加を追う. みなと新聞2004年11月24日.

畑中 寛. 2004. 日本鯨類研究所理事長 畑中寛氏に聞く早期に生態系モデルを 南氷洋でザトウ鯨多数発見. みなと新聞2004年4月30日.

畑中 寛. 2004. 理事長就任に当たって. 鯨研通信421: 1-3.

畑中 寛. 2004. (新トップ対談 今後の捕鯨 今後の研究) 研究者と深い信頼関係を確立 畑中理事長. 日刊水産経済新聞2004年2月24日.

畑中 寛. 2004. 出港にあたって 18年間の調査成果IWCでレビュー. 水産タイムス2004年11月22日.

飯野靖夫. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (I) 情報・文化部 (1章, 2章, 3章). 鯨研通信422: 9-11, 13-14.

池嶋 巧. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (III) 総務部 (1章, 2章, 3章). 鯨研通信424: 8-9.

上田真久. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (II) 研究部 (3章-3). 鯨研通信243: 11-12.

小西健志. 2004. 陸から海へ帰ったダニとシラミ. 長澤和也編 フィールドの寄生虫学. 東海大学出版会, 神奈川. 354pp.

小西健志. 2004. 和田一雄編海のけもの達の物語. 成山堂書店, 東京. 172pp.

本村秀昭. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (III) 総務部 (3章). 鯨研通信424: 9-12.

村瀬弘人. 2004. クロミンククジラを見つけるのは難しいことですか?. 鯨研通信422: 1-8.

日本鯨類研究所. 2004. 鯨研叢書11 イワシクジラとニタリクジラ. 日本鯨類研究所, 東京. 168pp.

日本鯨類研究所. 2004. 鯨研通信421. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.

日本鯨類研究所. 2004. 鯨研通信422. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.

日本鯨類研究所. 2004. 鯨研通信423. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.

日本鯨類研究所. 2004. 鯨研通信424. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.

日本鯨類研究所. 2004. 捕鯨問題の事実 (第1版). 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.

日本鯨類研究所. 2004. 捕鯨問題の事実 (第2版). 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.

日本鯨類研究所. 2004. 捕鯨問題の事実 (第3版). 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.

日本鯨類研究所. 2004. 捕鯨問題の事実 (第4版). 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.

日本鯨類研究所. 2004. 捕鯨問題の事実 (韓国語版). 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.

日本鯨類研究所. 2004. 捕鯨をとりまくこの1年2003年 (後期). 日本鯨類研究所, 東京. 192pp.

日本鯨類研究所. 2004. 捕鯨をとりまくこの1年2004年 (前期). 日本鯨類研究所, 東京. 179pp.

資料

- 日本鯨類研究所. 2004. 混獲鯨のDNA登録とは? (ポスター). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所. 2004. クジラの調査はなぜやるの? (第1版). 日本鯨類研究所, 東京. 10pp.
- 日本鯨類研究所. 2004. クジラの調査はなぜやるの? (第2版). 日本鯨類研究所, 東京. 10pp.
- 日本鯨類研究所. 2004. クジラの調査はなぜやるの? (第3版). 日本鯨類研究所, 東京. 10pp.
- 日本鯨類研究所. 2004. クジラの調査はなぜやるの? (第4版). 日本鯨類研究所, 東京. 10pp.
- 日本鯨類研究所. 2004. 何が日本を開国させたか?—横浜とペリーとクジラの関係を探る—. 日本鯨類研究所, 東京. 90pp.
- 日本鯨類研究所. 2004. 日本鯨類研究所年報 平成15年度. 日本鯨類研究所, 東京. 85pp.
- 日本鯨類研究所. 2004. 海と共に生きる—函館・海と捕鯨の歴史—. 日本鯨類研究所, 東京. 6pp.
- 日本鯨類研究所 (監修). 2004. クジラQ&Aブック総合学習副読本 (第1版). 朝日小学生新聞, 東京. 26pp.
- 日本鯨類研究所 (監修). 2004. もっと知りたいクジラブック (第1版). 朝日中学生ウィークリー, 東京. 26pp.
- 日本鯨類研究所 (監修). 2004. もっと知りたいクジラブック (第2版). 朝日中学生ウィークリー, 東京. 26pp.
- 日本鯨類研究所 (監修). 2004. もっと知りたい!クジラブック 総合学習副読本 (第3版). 朝日小学生新聞, 東京. 22pp.
- Institute of Cetacean Research. 2004. *CITES COP 13 Marine Species Survival Handbook*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 22pp.
- Institute of Cetacean Research. 2004. *Japan's Whale Research Program under Special Permit in the Antarctic (JARPA)* (第1版). Inst. Cet. Res., Tokyo. 55pp.
- Institute of Cetacean Research. 2004. *Whales and Whaling* (第1版). Inst. Cet. Res., Tokyo. 14pp.
- Institute of Cetacean Research. 2004. *Why Whale Research?* (第1版). Inst. Cet. Res., Tokyo. 10pp.
- Institute of Cetacean Research. and Fisheries Research Agency. 2004. *Japan's Whale Research Program under Special Permit in the Antarctic (JARPA)* (第2版). Inst. Cet. Res., Tokyo. 55pp.
- Institut de Recherche des Cétacés. 2004. *La Recherche Sur Les Baleines, pour quoi faire?* (第1版). Institut de Recherche des Cétacés, Tokyo. 10pp.
- Institut de Recherche des Cétacés. 2004. *Les Baleines et la Chasse Baleinière* (第1版). Institut de Recherche des Cétacés, Tokyo. 14pp.
- Instituto de Investigación de Cetáceos. 2004. *POR QUÈ HACER INVESTIGACIÓN DE BALLENAS?* (第1版). Instituto de Investigación de Cetáceos, Tokyo. 10pp.
- Instituto de Investigación de Cetáceos. 2004. *Ballenas y Ballenería* (第1版). Instituto de Investigación de Cetáceos, Tokyo. 14pp.
- 日本鯨類研究所資源管理研究センター. 2004. 水産資源管理談話会報33. 日本鯨類研究所, 東京. 69pp.
- 日本鯨類研究所資源管理研究センター. 2004. 水産資源管理談話会報34. 日本鯨類研究所, 東京. 77pp.
- 日本鯨類研究所, 生月町. 2004. 第2回日本伝統捕鯨地域サミット 開催の記録. 生月町, 長崎. 137pp.
- Institute of Cetacean Research. and Ikitsuki Town Office. 2004. *Report and Proceedings The 2nd Summit of Japanese Traditional Whaling Communities*. Ikitsuki Town Office, Nagasaki. 151pp.
- 日本鯨類研究所, 室戸市. 2004. 第3回日本伝統捕鯨地域サミット 室戸 前夜祭INFORMATION. 室戸市, 高知.
- 日本鯨類研究所, 室戸市. 2004. 第3回日本伝統捕鯨地域サミット 室戸 プログラム. 室戸市, 高知.
- 日本鯨類研究所, 日本捕鯨協会. 2004. 日本捕鯨図暦 (大・小). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所, 日本捕鯨協会. 2004. 日本捕鯨図暦2005 (B2版・スクエア版・卓上型). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所, 日本捕鯨協会. 2004. 勇魚取繪詞 伝統捕鯨絵図解説. 日本鯨類研究所, 東京. 41pp.
- 日本鯨類研究所, 水産庁 (監修). 2004. 南極海鯨類捕獲調査 (第1版). 日本鯨類研究所, 東京. 66pp.
- 日本鯨類研究所, 水産総合研究センター遠洋水産研究所, 水産庁 (監修). 2004. 第2期北西太平洋鯨類捕獲調査 JARPNII 本格調査. 日本鯨類研究所, 東京. 42pp.
- 日本鯨類研究所, 水産総合研究センター遠洋水産研究所, 水産庁 (監修). 2004. 第2期北西太平洋鯨類捕獲調査 JARPNII 本格調査 (第2版). 日本鯨類研究所, 東京. 42pp.

- 日本鯨類研究所, 水産総合研究センター遠洋水産研究所, 水産庁 (監修). 2004. 第2期北西太平洋鯨類捕獲調査 JARPNII 本格調査 (第3版). 日本鯨類研究所, 東京. 42pp.
- Institute of Cetacean Research. and National Research Institute of Far Seas Fisheries. 2004. *JARPNII The Second Phase of Japan's Whale Research Program in the Western North Pacific* (第1版). Inst. Cet. Res., Tokyo. 48pp.
- Institute of Cetacean Research. and National Research Institute of Far Seas Fisheries. 2004. *JARPNII The Second Phase of Japan's Whale Research Program in the Western North Pacific* (第2版). Inst. Cet. Res., Tokyo. 48pp.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2004. 鯨と日本人 捕鯨は日本の文化 (第1版). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2004. おいしい鯨 クジラは日本の食文化 (第1版). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2004. まもって, 食べる. Let's Cook!! (第2版). 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2004. 海が壊れる 増えるクジラ 減るサカナ (第1版). 日本鯨類研究所, 東京.
- Japan Whaling Association. and Institute of Cetacean Research. 2004. *Sea Unbalance*. Inst. Cet. Res., Tokyo.
- 大曲佳世. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (I) 情報・文化部 (3章). 鯨研通信422: 14-15.
- 大隅清治. 2004. クジラ研究の「トキワ荘」時代. 勇魚40: 74-81.
- 大隅清治. 2004. クジラの新種. 日本人とさかな14: 40-42.
- 大隅清治. 2004. 暮らしの情報 網走の活き粋き7珍「ツチクジラ」. 広報あばしり: 16.
- 大隅清治. 2004. 年頭会見 商業捕鯨再開に向け飛躍の年 例年以上にイベント多彩. 日刊水産経済新聞2004年1月27日.
- 大隅清治. 2004. (座談会) 鯨捕りと漂流民. 有鄰445: 1-3.
- 大隅清治. 2004. (座談会) IWC過半数まであと一歩 捕鯨飛躍の年に 新春くじら座談会. 水産タイムス2004年1月1日.
- 大隅清治 (監修). 2004. クジラおもしろクイズ. チャイルドブックかんがえる20(5): 1-10.
- パステネ, L. A. 2004. 鯨類資源管理における系群構造の定義に対するIWC科学委員会の二重基準. 鯨研通信421: 4-10.
- パステネ, L. A., 後藤睦夫. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (II) 研究部 (1章, 2章, 4章). 鯨研通信423: 5-9.
- 清家紀子. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (I) 情報・文化部 (3章). 鯨研通信422: 11-12.
- 武井裕子. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (III) 総務部 (3章). 鯨研通信424: 12-13.
- 田村 力. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (II) 研究部 (3章-4). 鯨研通信423: 12.
- 安永玄太, 藤瀬良弘. 2004. ヒゲクジラの栄養学—栄養成分から見る捕獲調査副産物の特徴について—. 鯨研通信423: 1-5.
- 銭谷亮子. 2004. 日本鯨類研究所の各部紹介 (II) 研究部 (3章-2). 鯨研通信423: 10-11.
- 2005年
- 畑中 寛. 2005. 第2期南極海鯨類捕獲調査計画とIWC科学委員会における議論について. GGTニュースレター. 自然資源保全協会.
- 畑中 寛. 2005. 出港にあたって 鯨類資源の持続的利用へ重要度増す調査事業. 水産タイムス2005年11月14日.
- 石川 創. 2005. 鯨類のストランディングと日本における対応. Ship & Ocean News letter 129: 6-7.
- 石川 創. 2005. いるかだ, ジャンプ! キンダーブック360(4): 2-11.
- 石川 創. 2005. ストランディングデータベースの現状と将来. 国立科学博物館ニュース429: 12-13.
- 石川 創. 2005. 東京湾のククジラ—絶滅危機のアジア系統群. 伊勢新聞2005年5月22日.
- 石川 創. 2005. TSA特別講座12鯨のストランディング (座礁・漂着・移入). Toba Super Aquarium 48: 14-15.
- 上田真久. 2005. ニタリクジラの遺伝学. 鯨研通信425: 1-7.
- 松岡耕二. 2005. 南大洋鯨類生態調査 (IWC/SOWER) の現状と将来—クロミンククジラアセスメント航海の27年—. 鯨研通信426: 1-13.
- 村瀬弘人, 松岡耕二, 島田裕之. 2005. 南極海におけるヒゲクジラ類鳴音調査・研究の動向. 勇魚42: 16-23.
- 日本鯨類研究所. 2005. 鯨研叢書12標識調査による鯨資源の評価. 日本鯨類研究所, 東京. 69pp.
- 日本鯨類研究所. 2005. 鯨研通信425. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.

- 日本鯨類研究所. 2005. 鯨研通信426. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2005. 鯨研通信427. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2005. 鯨研通信428. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.
- 日本鯨類研究所. 2005. 捕鯨問題の事実(第5版). 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.
- 日本鯨類研究所. 2005. 捕鯨をとりまくこの1年2004年(後期). 日本鯨類研究所, 東京. 190pp.
- 日本鯨類研究所. 2005. 捕鯨をとりまくこの1年2005年(前期). 日本鯨類研究所, 東京. 208pp.
- 日本鯨類研究所. 2005. 南氷洋捕鯨に学ぶこと—南氷洋捕鯨開始100周年記念シンポジウム開催の記録—. 日本鯨類研究所, 東京. 103pp.
- 日本鯨類研究所. 2005. 南氷洋捕鯨100周年記念シンポジウム報告書(英語版) Learning from the Antarctic Whaling Report and Proceedings International Symposium Commemorating Centennial of the Antarctic Whaling. Inst. Cet. Res., Tokyo. 99pp.
- 日本鯨類研究所. 2005. 日本近海にいる鯨類(Cetacean around Japan)(ポスター). 日本鯨類研究所, 東京.
- Institute of Cetacean Research. 2005. The Hidden Truth About Whales. La Verdad Oculta sobre las Ballenas. La Vérité Cachée sur les Baleines. (DVD). (PAL/NTSC) Supervision Fisheries Agency, government of Japan Production and Copyright The Institute of Cetacean Research.
- Institute of Cetacean Research., Fisheries Agency., Government of Japan. 2005. *Japan's Whale Research Program under Special Permit in the Antarctic (JARPA) Second Edition*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 57pp.
- 日本鯨類研究所調査部. 2005. 日本鯨類研究所の各部紹介(IV) 調査部. 鯨研通信425: 8-14.
- 日本鯨類研究所資源管理研究センター. 2005. 水産資源管理談話会報35. 日本鯨類研究所, 東京. 41pp.
- 日本鯨類研究所, 生月町. 2005. 第2回日本伝統捕鯨地域サミット 開催の記録(第2版). 生月町, 長崎. 137pp.
- 日本鯨類研究所, 室戸市. 2005. 第3回日本伝統捕鯨地域サミット 開催の記録. 室戸市, 高知. 98pp.
- 日本鯨類研究所, 室戸市. 2005. 第3回日本伝統捕鯨地域サミット 開催の記録(英語版). 室戸市, 高知. 110pp.
- 日本鯨類研究所, 下関市. 2005. 第4回日本伝統捕鯨地域サミット 下関プログラム. 下関市, 山口. 22pp.
- 日本鯨類研究所, 下関市. 2005. 第4回日本伝統捕鯨地域サミット 前夜祭. 下関市, 山口.
- 西脇茂利. 2005. 南極海鯨類捕獲調査(JARPA)における調査方法とその調査項目について. 鯨研通信427: 1-10.
- 大曲佳世. 2005. 食物アレルギーと鯨肉(鯨研通信第410号より抜き刷り). 鯨研通信.
- Ohmagari, K. 2005. Whaling Conflicts: The International Debate. *Senri Ethnological Studies* 67: 145-178.
- Ohmagari, K. 2005. Whaling Conflicts: The International Debate (Part 1). *The EAST* 41(2): 13-17.
- Ohmagari, K. 2005. Whaling Conflicts: The International Debate (Part 2). *The EAST* 41(3): 10-16.
- 大隅清治. 2005. この人を語る クジラを友に50年. 季刊 日本人とさかな2005夏: 78-80.
- 大隅清治. 2005. 鯨類と漁業の競合問題. 食の科学327: 34-40.
- 大隅清治. 2005. 南氷洋捕鯨の更なる発展を目指して. 海員57(7): 20-24. 全日本海員組合本部.
- 大隅清治. 2005. 日本鯨類研究所の各部紹介(V) 附属施設等. 鯨研通信426: 13-18.
- 大隅清治. 2005. 日本型捕鯨の南氷洋への展開: その歴史と将来. 86-103. 日本鯨類研究所編南氷洋捕鯨100周年記念シンポジウム報告書「南氷洋捕鯨に学ぶこと—南氷洋捕鯨開始100周年記念シンポジウム開催の記録—. 日本鯨類研究所, 東京. 103pp.
- 大隅清治. 2005. シャチ公開1周年記念講演 クジラと人間社会. 名古屋みなと振興財団ニュースレター「さかなかな」46: 5-6.
- Ohsumi, S. 2005. Development of Japanese-style whaling to the Antarctic. It's history and future. 82-99. *In: Inst. Cet. Res. (ed.) Learning from the Antarctic Whaling*. Inst. Cet. Res., Tokyo.
- 田中昌一. 2005. 標識調査による鯨資源の評価. 日本鯨類研究所編 鯨研叢書12. 日本鯨類研究所, 東京.
- 安永玄太, 藤瀬良弘. 2005. ヒゲクジラの栄養学—栄養成分から見る捕獲調査副産物の特徴について—(鯨研通信第423号より抜き刷り). 鯨研通信.
- 銭谷亮子. 2005. 南極海鯨類捕獲調査(JARPA)における生物学的特性値の推定—特にクロミンククジラの性成熟年齢

について一. 鯨研通信 427: 11-17.

銭谷亮子. 2005. ミンククジラの鯨体部位の名称 (鯨研通信第397号より抜き刷り). 鯨研通信.

2006年

坂東武治. 2006. 調査手法の紹介 (II) クジラ類の肉体成熟の判定と解析方法. 鯨研通信 431: 9-14.

藤瀬良弘. 2006. 今, 南極海で何がおきているか. 鯨研通信 429: 5-12.

畑中 寛. 2006. 鯨肉に含まれるバレニンについて. 鯨研通信 429: 1-4.

畑中 寛. 2006. 鯨肉に含まれるバレニンについて (鯨研通信 429号より抜き刷り). 鯨研通信.

畑中 寛. 2006. 発刊によせて. 5. 日本鯨類研究所, 下関市編第4回日本伝統捕鯨地域サミット 開催の記録. 下関市, 山口. 137pp.

Hatanaka H. 2006. Forewords. 5. *In: Inst. Cet. Res. and Shimonoseki city (eds.) Report and Proceedings of the 4th Summit of Japanese Traditional Whaling Communities. Shimonoseki city, Yamaguchi. 150pp.*

畑中 寛. 2006. きょうの論点 日本のクジラ食文化庶民の味の記憶絶やすな. 朝日新聞 2006年7月24.

畑中 寛. 2006. サミットに当たって一暮しに根ざした捕鯨 新たな伝統の創造へ. 水産タイムス 2006年5月8日.

畑中 寛. 2006. 出港にあたって 卑劣な妨害活動に屈せず一致団結して調査成功を. 水産タイムス 2006年11月20日.

畑中 寛, 藤瀬良弘. 2006. 論争を斬る クジラ資源の持続的利用にむけて—日本鯨類研究所による捕鯨調査の概要とその意義. エコソフィア 18: 62-68.

飯野靖夫. 2006. 国際的な南氷洋捕鯨管理の舞台裏 (覚書). 59-64. 日本鯨類研究所, 下関市編 第4回日本伝統捕鯨地域サミット 開催の記録. 下関市, 山口. 137pp.

Iino, Y. 2006. Behind the Scenes of the International framework for Regulating Antarctic Whaling (Memorandum). 63-69. *In: Inst. Cet. Res. and Shimonoseki city (eds.) Report and Proceedings of the 4th Summit of Japanese Traditional Whaling Communities. Shimonoseki city, Yamaguchi. 150pp.*

石川 創. 2006. グリーンピースと動物福祉—「環境保護団体」は南極海で人とクジラに何をしたか—. 鯨研通信 431: 1-8.

石川 創. 2006. グリーンピースと動物福祉—「環境保護団体」は南極海で人とクジラに何をしたか— (鯨研通信 433号より抜き刷り). 鯨研通信.

上田真久, 後藤睦夫. 2006. 日本鯨類研究所が進めている調査手法の紹介 (III). 鯨研通信 432: 8-14.

Komatsu, M. and Takagi, Y. 2006. *Des Baleines et des Hommes*. Inst. Cet. Res., Tokyo. 210pp.

熊谷佐枝子. 2006. 私の大学, 大学院留学. 勇魚 45: 61-66.

茂越敏弘. 2006. 繁殖ホルモンについて. 鯨研通信 430: 9-15.

森 光代. 2006. 南極海における生態系モデル構築にむけて—はじめの一步—. 鯨研通信 432: 1-7.

日本鯨類研究所. 2006. 鯨研叢書 13 改訂管理方式 (RMP) への道. 日本鯨類研究所, 東京. 36pp.

日本鯨類研究所. 2006. 鯨研通信 429. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.

日本鯨類研究所. 2006. 鯨研通信 430. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.

日本鯨類研究所. 2006. 鯨研通信 431. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.

日本鯨類研究所. 2006. 鯨研通信 432. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.

日本鯨類研究所. 2006. 捕鯨問題の事実 (第6版). 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.

日本鯨類研究所. 2006. 捕鯨問題の事実 (第7版). 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.

日本鯨類研究所. 2006. 捕鯨問題の事実 (第8版). 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.

日本鯨類研究所. 2006. 捕鯨をとりまくこの1年 2005年 (後期). 日本鯨類研究所, 東京. 159pp.

日本鯨類研究所. 2006. 捕鯨をとりまくこの1年 2006年 (前期). 日本鯨類研究所, 東京. 159pp.

日本鯨類研究所. 2006. クジラの調査はなぜやるの? (第5版). 日本鯨類研究所, 東京. 10pp.

日本鯨類研究所. 2006. 日本近海にいる鯨類 (Cetacean around Japan) (ポスター) (第2版). 日本鯨類研究所, 東京.

資料

- 日本鯨類研究所. 2006. 日本鯨類研究所年報 平成17年度. 日本鯨類研究所, 東京. 77pp.
- 日本鯨類研究所. 2006. 水産資源管理談話会報37. 日本鯨類研究所, 東京. 33pp.
- 日本鯨類研究所. 2006. 水産資源管理談話会報38. 日本鯨類研究所, 東京. 32pp.
- Institute of Cetacean Research. 2006. *Whales and Whaling* (第2版). Inst. Cet. Res., Tokyo. 14pp.
- Institute of Cetacean Research. 2006. *Why Whale Research?* (第2版). Inst. Cet. Res., Tokyo. 10pp.
- Institut de Recherche des Cétacés. 2006. *Les Baleines et la Chasse Baleinière* (第2版). Institut de Recherche des Cétacés, Tokyo. 14pp.
- 日本鯨類研究所, 下関市. 2006. 第4回日本伝統捕鯨地域サミット 開催の記録. 下関市, 山口. 137pp.
- 日本鯨類研究所, 下関市. 2006. 第4回日本伝統捕鯨地域サミット 開催の記録(英語版)—*Report and Proceedings of the 4th Summit of Japanese Traditional Whaling Communities*—. City of Shimonoseki and the Institute of Cetacean Research, Yamaguchi. 150pp.
- 日本鯨類研究所, 日本捕鯨協会. 2006. 日本近海にいる鯨類(下敷き). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2006. クジラは日本の食文化 おいしい鯨(新聞広告). 水産タイムス2006年9月4日.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2006. 鯨と日本人(四つ折り版)(第1版). 日本鯨類研究所, 東京.
- 大曲佳世. 2006. ロリノ村訪問記. 鯨研通信430: 1-9.
- 大隅清治. 2006. 頻発するクジラと船との衝突. *Ship & Ocean Newsletter* 139: 4-5.
- 大隅清治. 2006. 北海道とクジラ・人間と共存 豊かな海を. 週間ふむふむ, 北海道新聞2006年2月18日.
- 大隅清治. 2006. 釧路の捕鯨の早期再開を期して. 釧路市総務部地域史料室編 釧路捕鯨史. 釧路市, 北海道. 379pp.
- 大隅清治. 2006. 何故日本が南氷洋捕鯨に生き残れたか?. 45-58. 日本鯨類研究所, 下関市編 第4回日本伝統捕鯨地域サミット 開催の記録. 下関市, 山口. 137pp.
- Ohsumi, S. 2006. Why Japan Survives in the Antarctic whaling? 47-62. In: Inst. Cet. Res. and Shimonoseki city (eds.) *Report and Proceedings of the 4th Summit of Japanese Traditional Whaling Communities*. Shimonoseki city, Yamaguchi. 150pp.
- 大隅清治. 2006. 論点 捕鯨支持国の増加 IWC正常化への第一歩. 読売新聞2006年6月28日.
- 大隅清治(監訳). 2006. 哺乳類(大隅清治, 内田詮三訳). シリーズ〈海の動物百科〉1. 朝倉書店, 東京. 77pp.
- 太地町, 日本鯨類研究所. 2006. 第5回日本伝統捕鯨地域サミット チラシ. 太地町, 和歌山.
- 太地町, 日本鯨類研究所. 2006. 第5回日本伝統捕鯨地域サミット ポスター. 太地町, 和歌山.
- 太地町, 日本鯨類研究所. 2006. 第5回日本伝統捕鯨地域サミット プログラム. 太地町, 和歌山. 10pp.
- 太地町, 日本鯨類研究所. 2006. 第5回日本伝統捕鯨地域サミット 前夜祭INFORMATION. 太地町, 和歌山.
- 田中昌一. 2006. 改定管理方式(RMP)への道. 日本鯨類研究所編 鯨研叢書13. 日本鯨類研究所, 東京. 36pp.
- 2007年
- 藤瀬良弘. 2007. 第59回国際捕鯨委員会アンカレッジ会合に参加して. 海洋水産エンジニアリング75: 43-48.
- 後藤睦夫. 2007. 第58回IWC科学委員会報告. 5-8. 日本鯨類研究所編 水産資源管理談話会報40. 日本鯨類研究所, 東京. 37pp.
- 後藤睦夫. 2007. 遺伝的解析に基づくナガスクジラの海洋間の系統関係. 鯨研通信434: 1-8.
- 畑中 寛. 2007. 南極海鯨類捕獲調査船団の下関港からの出港10回目を迎えて. いさな9: 1.
- 飯野靖夫. 2007. 日本伝統捕鯨地域サミットが伝えたもの・残したもの. 鯨研通信433: 1-9.
- 石川 創. 2007. 調査捕鯨妨害するテロ団体. 週刊世界と日本.
- 石川 創. 2007. 動物の移動と定位 鯨はなぜ座礁するのか?. 岳人725: 40-42.
- 石川 創. 2007. 南極海で撒き散らされる暴力と, 嘘と, 環境汚染. 鯨研通信435: 1-8.
- 石川 創. 2007. 南極海で撒き散らされる暴力と, 嘘と, 環境汚染(鯨研通信435号より抜き刷り). 鯨研通信.
- 磯田辰也. 2007. 日本鯨類研究所が進めている調査手法の紹介(IV). 鯨研通信433: 10-16.
- 木和田広司. 2007. 日本鯨類研究所が進めている調査手法の紹介(V)—鯨類捕獲調査情報収集装置—. 鯨研通信434:

9-17.

- 村瀬弘人. 2007. クジラに食べ物の好き嫌いはあるか?—北西太平洋におけるミンククジラとニタリクジラの餌選択性に関する調査・研究—. 鯨研通信436: 1-9.
- 日本鯨類研究所. 2007. 鯨研通信433. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. 鯨研通信434. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. 鯨研通信435. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. 鯨研通信436. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. 捕鯨をとりまくこの1年2006年(後期). 日本鯨類研究所, 東京. 204pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. 捕鯨をとりまくこの1年2007年(前期). 日本鯨類研究所, 東京. 51pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. カンタン!おいしい!クジラ料理レシピ20選. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. クジラの調査はなぜやるの? (第6版). 日本鯨類研究所, 東京. 10pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. 日本近海にいる鯨類 (Cetacean around Japan) (ポスター) (第3版). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所. 2007. 世界の鯨類I (Cetaceans around the world) ヒゲクジラのなかま (Baleen whales/Mysticeti) (ポスター). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所. 2007. 水産資源管理談話会報39. 日本鯨類研究所, 東京. 35pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. 水産資源管理談話会報40. 日本鯨類研究所, 東京. 37pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. 定置網に混獲した鯨の登録 (広告, 裏表紙内側). ていち111.
- Institut de Recherche des Cétacés. 2007. *La Recherche des Baleines, pour quoi faire?* (第2版). Institut de Recherche des Cétacés, Tokyo. 10pp.
- 日本鯨類研究所. 2007. White fin whale in the Antarctic Area (East) (グリーティングカード). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所, 日本捕鯨協会. 2007. はじめての鯨料理 (DVD). 日本鯨類研究所, 東京.
- 日本鯨類研究所, 日本捕鯨協会, 共同船舶株式会社. 2007. 鯨資源の管理と持続的利用を目指して (広告). 2007 (平成19) 年度日本水産学会春季大会講演要旨集.
- 日本捕鯨協会, 日本鯨類研究所. 2007. クジラは日本の食文化 おいしい鯨 くじらも食べていい海の幸クジラは増えています (広告). 水産タイムス2007年7月16日.
- 大曲佳世, 煎本 孝, 山田孝子. 2007. アイデンティティ構築におけるブッシュフード及びブッシュの役割. 123-145. 山田孝子, 煎本 孝編 北の民の人類学. 京都大学学術出版会, 京都. 340pp.
- 大隅清治. 2007. 鯨と人 太古からつづく関係の足跡. 文化遺産の世界24: 2-3.
- 大隅清治. 2007. 腹びれのあるバンドウイルカ. 太地町立くじらの博物館, 和歌山. 14pp.
- 大谷誠司. 2007. 日本鯨類研究所が進めている調査手法の紹介 (VI)—鯨類捕獲調査情報収集装置—. 鯨研通信435: 9-15.
- Ohsumi, S. 2007. Research needed on dolphin meat. Japan Times 2007/8/15.
- Pastene, L. A. 2007. Report of the 57th Meeting of the International Whaling Commission's Scientific Committee. 1-4. 日本鯨類研究所編 水産資源管理談話会報40. 日本鯨類研究所, 東京. 37pp.
- 太地町, 日本鯨類研究所. 2007. 第5回日本伝統捕鯨地域サミット開催の記録. 太地町, 和歌山. 86pp.
- 太地町, 日本鯨類研究所. 2007. 第5回日本伝統捕鯨地域サミット開催の記録 (英語版)—*Report and Proceedings of the 5th Summit of Japanese Traditional Whaling Communities*—. Taiji Town and the Institute of Cetacean Research, Wakayama. 84pp.

2008年

- 藤瀬良弘. 2008. 鯨類捕獲調査事業で得られる冷凍及び生鮮副産物の処理販売の基準について. 鯨研通信436: 10-15.
- 藤瀬良弘. 2008. IWC/JARPA レビュー報告. 鯨研通信438: 1-9.
- 藤瀬良弘. 2008. 海洋生態系を探る 鯨類捕獲調査がめざすもの. 203-228. 加藤秀弘編日本の哺乳類学第3巻水生哺乳

- 類. 東京大学出版会, 東京. 312pp.
- グッドマン, D. 2008. 国際捕鯨委員会 (IWC) の将来: IWC再生への努力と新組織設立の議論から見た第60回IWC年次会合結果概要. 鯨研通信 440: 1-5.
- Goodman, D. 2008. Bogus arguments about whaling. The Japan Times 2008/11/2.
- Goodman, D. 2008. Valuable data from whale research. The Japan Times 2008/1/13.
- 袴田高志. 2008. 資源量推定法と南極海鯨類捕獲調査 (JARPA) への適用. 鯨研通信 439: 12-19.
- 畑中 寛. 2008. 日本の食文化と鯨. いさな 10: 14.
- 飯野靖夫. 2008. 末期症状を呈する反捕鯨活動—IWC, CITES, エコテロリストたち—. GGTニュースレター 77: 1-4.
- 石川 創. 2008. 鯨の保護は地球環境を救うか?—暴走する「環境保護」団体の奇妙な理論—. 鯨研通信 439: 1-11.
- 石川 創. 2008. 鯨の保護は地球環境を救うか?—暴走する「環境保護」団体の奇妙な理論—. (鯨研通信 439号より抜き刷り). 鯨研通信.
- 石川 創. 2008. 苦小牧コククジラ顛末記. セトケンニューズレター 22: 2-3.
- 小西健志. 2008. ヒゲクジラはコスト至上主義?—クジラの体と食性と栄養のつながり—. 鯨研通信 438: 10-17.
- 松岡耕二. 2008. 鯨類資源のモニタリング. 371-392. 村山 司編 鯨類学. 東海大学出版会, 神奈川. 402pp.
- 三谷曜子, 坂東武治. 2008. 北西太平洋におけるミンククジラの摂餌回遊. 153-161. 富永 修, 高井則之編 安定同位体スコープで覗く海洋生物の生態—アサリからクジラまで. 恒星社厚生閣, 東京. 165pp.
- 森本 稔. 2008. 農林抄 南極海鯨類捕獲調査. 週刊農林 2010: 3.
- 森本 稔. 2008. 祝辞 下関くじら食文化を守る会の創立10周年を迎えて. いさな 10: 5.
- 日本鯨類研究所. 2008. 鯨研通信 437. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.
- 日本鯨類研究所. 2008. 鯨研通信 438. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.
- 日本鯨類研究所. 2008. 鯨研通信 439. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2008. 鯨研通信 440. 日本鯨類研究所, 東京. 16pp.
- 日本鯨類研究所. 2008. 捕鯨問題の事実 (第9版). 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.
- 日本鯨類研究所. 2008. 捕鯨をとりまくこの1年2007年 (後期). 日本鯨類研究所, 東京. 234pp.
- 日本鯨類研究所. 2008. 捕鯨をとりまくこの1年2008年 (前期). 日本鯨類研究所, 東京. 184pp.
- 日本鯨類研究所. 2008. クジラの調査はなぜやるの? (第7版). 日本鯨類研究所, 東京. 10pp.
- 日本鯨類研究所. 2008. クジラの学校 日本の食の象徴クジラの食文化をもう一度食卓へ. 日本鯨類研究所, 東京. 37pp.
- Institute of Cetacean Research. 2008. *Whales and Whaling* (第3版). Inst. Cet. Res., Tokyo. 14pp.
- Institute of Cetacean Research. 2008. *Why Whale Research?* (第3版). Inst. Cet. Res., Tokyo. 10pp.
- Instituto de Investigación de Cetáceos. 2008. *Ballenas y Ballenería* (第2版). Instituto de Investigación de Cetáceos, Tokyo. 14pp.
- 日本鯨類研究所 資源管理研究センター. 2008. 水産資源管理談話会報41. 日本鯨類研究所, 東京. 25pp.
- 日本鯨類研究所 資源管理研究センター. 2008. 水産資源管理談話会報42. 日本鯨類研究所, 東京. 56pp.
- 大隅清治. 2008. 鯨類資源調査における致死的調査と非致死的調査 鯨論・鬮論. 鯨ポータルサイト.
- 大隅清治. 2008. ホエールウォッチングと捕鯨は共存できる. *Ship & Ocean Newsletter* 189: 6-7.
- 大隅清治. 2008. くじらひげの文化誌. 勇魚 49: 3-10.
- 大隅清治. 2008. 鯨資料室に期待すること. 下関市立大学鯨資料室だより 1: 1.
- 大隅清治. 2008. クジラを追って半世紀—新捕鯨時代への提言—. 成山堂書店, 東京. 244pp.
- 大隅清治. 2008. まえがき. 序1-5. 太地 亮編 鯨方遭難史—その史実の論考と検証—. 242pp.
- 大隅清治. 2008. マッコウクジラの長時間潜水の機序 (回答). 日本医事新報 4417: 101-102.
- 大隅清治. 2008. 南極海で鯨類の調査をする必要性と新捕鯨構想 鯨論・鬮論. 鯨ポータルサイト.
- 大隅清治. 2008. 迫り来る食糧危機と捕鯨問題. いさな 10: 13.
- 田中昌一. 2008. 鯨資源の動態モデル. 36-56. 日本鯨類研究所 資源管理研究センター編 水産資源管理談話会報 42.

日本鯨類研究所，東京．56pp.

- 和田 淳．2008．2006/07南極海鯨類捕獲調査(JARPAII)に参加して一船内生活を通して見る捕獲調査一．鯨研通信437: 1-11.
- 安永玄太．2008．水産食に関わる日本国内の疫学調査について一水産食品は，本当に健康によいのか一．鯨研通信437: 12-16.

2009年

- 坂東武治．2009．2009年JARPNII沖合域調査の概要一新米団長奮戦記一．鯨研通信444: 1-6.
- 後藤睦夫．2009．2007/08年度第三次JARPAII乗船を終えて．鯨研通信441: 1-8.
- 畑中 寛．2009．鯨の利用のための研究をめぐる．日本農学アカデミー会報12: 16-22.
- 石川 創．2009．調査捕鯨は未来の海の生態系を守るための行為．Ocean Gate 8: 6.
- 石川 創．2009．放置される海の暴力南極海における反捕鯨団体の無法行為．海員61(6): 48-53.
- Ishikawa, H. 2009. Eubalaena japonica. 314-315. In: Ohdachi, S. D., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A. and Saitoh, T. (eds.) *The Wild Mammals of Japan*. 松香堂書店，京都．544pp.
- Ishikawa, H. 2009. Eschrichtius robustus. 316-318. In: Ohdachi, S. D., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A. and Saitoh, T. (eds.) *The Wild Mammals of Japan*. 松香堂書店，京都．544pp.
- Ishikawa, H. 2009. Balaenoptera acutorostrata. 320-322. In: Ohdachi, S. D., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A. and Saitoh, T. (eds.) *The Wild Mammals of Japan*. 松香堂書店，京都．544pp.
- Ishikawa, H. 2009. Balaenoptera borealis. 323-324. In: Ohdachi, S. D., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A. and Saitoh, T. (eds.) *The Wild Mammals of Japan*. 松香堂書店，京都．544pp.
- Ishikawa, H. 2009. Balaenoptera musculus. 328-329. In: Ohdachi, S. D., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A. and Saitoh, T. (eds.) *The Wild Mammals of Japan*. 松香堂書店，京都．544pp.
- Ishikawa, H. 2009. Balaenoptera physalus. 332-333. In: Ohdachi, S. D., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A. and Saitoh, T. (eds.) *The Wild Mammals of Japan*. 松香堂書店，京都．544pp.
- 上田真久．2009．遺伝学的に見たシャチの社会生態．12-15．日本鯨類研究所編 鯨研叢書14．日本鯨類研究所，東京．96pp.
- 上田真久．2009．日本周辺に分布する北太平洋ミンククジラの系群構造．0鯨研通信444: 15-16.
- 熊谷佐枝子．2009．2008/09南大洋鯨類生態系調査(IWC/SOWER)航海を終えて．鯨研通信442: 8-15.
- 松田裕之，森 光代．2009．個体群から群集へ新たな漁業管理の視点．1-26．大串隆之，近藤倫生，椿 宜高編 群集生態学6新たな保全と管理を考える．京都大学学術出版会，京都．228pp.
- 松岡耕二．2009．北西太平洋鯨類捕獲調査で発見されたシャチ．65-69．日本鯨類研究所編 鯨研叢書14．日本鯨類研究所，東京．96pp.
- 松岡耕二．2009．南半球産ザトウクジラ資源の急速な回復．鯨研通信443: 18-21.
- 村瀬弘人．2009．クジラはなぜそこにいるのか？一クジラの分布を予測してみる一．鯨研通信442: 1-8.
- 日本鯨類研究所．2009．鯨研叢書14シャチの現状と繁殖研究にむけて2007 シンポジウムプロシーディングス(加藤秀弘，吉岡 基編)．日本鯨類研究所，東京．96pp.
- 日本鯨類研究所．2009．鯨研通信441．日本鯨類研究所，東京．26pp.
- 日本鯨類研究所．2009．鯨研通信442．日本鯨類研究所，東京．18pp.
- 日本鯨類研究所．2009．鯨研通信443．日本鯨類研究所，東京．26pp.
- 日本鯨類研究所．2009．鯨研通信444．日本鯨類研究所，東京．20pp.
- 日本鯨類研究所．2009．簡単おいしい 鯨のステーキ(レシピカード)．日本鯨類研究所，東京．
- 日本鯨類研究所．2009．簡単おいしい 鯨の竜田揚げ(レシピカード)．日本鯨類研究所，東京．
- 日本鯨類研究所．2009．ワタシもチャレンジ! 美味しいくじら料理．日本鯨類研究所，東京．

資料

- 日本鯨類研究所（監修）. 2009. クジラQ&Aブック総合学習副読本（第2版）. 朝日小学生新聞, 東京. 26pp.
- 日本鯨類研究所（監修）. 2009. もっと知りたいクジラブック（第3版）. 朝日中学生ウィークリー, 東京. 26pp.
- 日本鯨類研究所 資源管理研究センター. 2009. 水産資源管理談話会報43. 日本鯨類研究所, 東京. 26pp.
- 大隅清治. 2009. 恵比寿としてのクジラ. 中央水研同窓会 連絡・情報ニュースH20-2: 4-12.
- 大隅清治. 2009. ホエールウォッチングと捕鯨は共存できる (Ship & Ocean Newsletter No.189掲載). 180-181. 人と海洋の共生をめざして150人のオピニオンIV. 海洋政策研究財団, 東京. 347pp.
- 大隅清治. 2009. 「背美流れ」の背景に関する一考察. 熊野地方史研究会, 熊野誌56: 100-111.
- 大隅清治. 2009. シロナガスクジラの体形雑記「新版 鯨とイルカのフィールドガイド」に寄せて. UP 440: 1-5.
- 大隅清治（監修）. 2009. 笠松不二男, 宮下富夫, 吉岡基著 新版 鯨とイルカのフィールドガイド. 東京大学出版会, 東京. 147pp.
- 大隅清治（翻訳・編集）. 2009. 西洋の捕鯨コレクターによる日本訪問旅行記念冊子. (原書: Klaus Barthelmess and Seiji Ohsumi (eds.) Western Whaling Collectors Visiting Japan 2009). Cologne & Tokyo. 43pp.
- パステネ, L. A. 2009. IWC科学委員会によるJARPNII調査結果(2002-2007)のレビュー(田村 力, 安永玄太, 上田真久, 畑中 寛訳) 鯨研通信443: 1-12.
- Yamada, T. K. and Ishikawa, H. 2009. Balaenoptera brydei/Balaenoptera edeni. 325-327. In: Ohdachi, S. D., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A. and Saitoh, T. (eds.) *The Wild Mammals of Japan*. 松香堂書店, 京都. 544pp.

2010年

- 藤瀬良弘. 2010. 第2期南極海鯨類捕獲調査(JARPAII)における標本数の算出方法について. 鯨研通信447: 1-8.
- Fujise, Y., Hatanaka, H., og Ohsumi, S. 2010. Hva skejdede med vagehvalen i Antarktis? Populaervitenskapelig tidsskrift fra Tromso Museum, *Ottar* 280: 29-35.
- ガブリエル ゴメス ディアス. 2010. プラズマローゲンとは?. 鯨研通信446: 3.
- 後藤睦夫. 2010. ヒゲクジラにおける半球間の遺伝的差異. 鯨研通信446: 13-15.
- 畑中 寛. 2010. 鯨の脳に含まれるプラズマローゲンについて. 鯨研通信446: 1-3.
- 石川 創. 2010. 南極海での環境テロリズムから日本の調査船団を守れ. 月報Captain 396: 41-45.
- 石川 創. 2010. なぜ南極海での暴力が放置されるのか? くり返される鯨類調査への妨害活動. 水産界1503: 28-30.
- 石川 創. 2010. 日本人はなぜ鯨もマグロも食べられないのか. 婦人公論1297: 58-61.
- 石川 創. 2010. 筋を通す. 月刊致知421: 90-91.
- 小西健志. 2010. 南極海のクロミンククジラが痩せてきた 一つの解析結果発表に至るまで. 鯨研通信445: 1-7.
- 松岡耕二. 2010. 南半球産シロナガスクジラの回復. 鯨研通信445: 13-15.
- 松岡耕二. 2010. ミナミセミクジラの回復. 鯨研通信447: 19-20.
- 日本鯨類研究所. 2010. 鯨研通信445. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.
- 日本鯨類研究所. 2010. 鯨研通信446. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.
- 日本鯨類研究所. 2010. 鯨研通信447. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2010. 鯨研通信448. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 西脇茂利. 2010. 総合学習「クジラについて学ぼう」クジラ博士の出張授業をふりかえって(その1). 鯨研通信448: 14-16.
- 大隅清治. 2010. 腹鰭を持つバンドウイルカ—その学術的価値とは. 季刊ビオフィリア6(4): 65-68.
- 大隅清治. 2010. 非致命的調査だけでは 南極海の鯨類調査は成功しないことが証明された. 鯨論・闘論. 鯨ポータルサイト.
- 大隅清治. 2010. 科学が公用語にならないIWC. 水産ジャーナリストの会会報109: 4.
- 大隅清治. 2010. 各論2 海棲哺乳類2.1 鯨目. 405-420. 野生生物保護学会編 野生動物保護の事典. 朝倉書店, 東京. 792pp.

- 大隅清治. 2010. クジラと共に半世紀. 交詢雑誌546: 24-39.
- 大隅清治. 2010. 総論 19 捕鯨業. 87-89. 野生生物保護学会編 野生動物保護の事典. 朝倉書店, 東京. 792pp.
- 大隅清治. 2010. 総論 23 スナメリ. 104-108. 野生生物保護学会編 野生動物保護の事典. 朝倉書店, 東京. 792pp.
- 大隅清治. 2010. 東京とクジラ. 水産振興515: 1-57.
- Pastene, L. A., Fujise, Y. and Hatanaka, H. 2010. JARPNII—flerfaglig forskning i det nordvestlige Stillehavet. Populaervitenskapelig tidsskrift fra Tromsø Museum, *Ottar* 280: 23-28.
- 田村 力. 2010. クロミンククジラの食性と摂餌量について. 鯨研通信448: 1-7.
- 2011年
- グッドマン, D. 2011. 南極での捕鯨ネリセン/ファン・デルフェルデ論文への反論. 鯨研通信449: 1-9.
- 藤瀬良弘. 2011. 東日本大震災による当所鮎川実験場の被害状況について. 鯨研通信450: 1-9.
- 藤瀬良弘. 2011. 全国鯨フォーラム2011唐津. 鯨研通信452: 13-15.
- 袴田高志. 2011. 北太平洋イワシクジラの資源状況について. 鯨研通信450: 13-14.
- 石川 創. 2011. クジラは海の資源か神獣か. NHK出版, 東京. 212pp.
- 上田真久. 2011. 北太平洋イワシクジラの系群構造について. 鯨研通信451: 17-18.
- 上田真久. 2011. 水産海洋学会「鯨類を中心とした北西太平洋の海洋生態系」(平成22年11月21日開催). 鯨研通信449: 13-14.
- 日本鯨類研究所. 2011. 鯨研通信449. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.
- 日本鯨類研究所. 2011. 鯨研通信450. 日本鯨類研究所, 東京. 16pp.
- 日本鯨類研究所. 2011. 鯨研通信451. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本鯨類研究所. 2011. 鯨研通信452. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.
- 西脇茂利. 2011. 総合学習「クジラについて学ぼう」クジラ博士の出張授業をふりかえって(その2). 鯨研通信449: 9-13.
- 西脇茂利. 2011. 総合学習「クジラについて学ぼう」クジラ博士の出張授業をふりかえって(最終回). 鯨研通信450: 10-13.
- 大隅清治. 2011. 調査捕鯨とは. 120. 福岡市博物館 日本とクジラ展実行委員会編 日本とクジラ—福岡市博物館平成二十三年度特別企画展. 日本とクジラ展実行委員会, 福岡. 248pp.
- Pastene, L. A. 2011. 最近観察されたヒゲクジラの異常な回遊. 鯨研通信451: 1-6.
- 田村 力. 2011. 当研究所の試資料を用いた学生の研究業績について. 鯨研通信452: 8-13.
- 柳原紀文, 大隅清治. 2011. 土佐の鯨男 柳原勝紀伝. 水産タイムズ社, 東京. 223pp.
- 2012年
- 坂東武治. 2012. 東日本大震災による(財)日本鯨類研究所鮎川実験場の被災状況とみちのくの海の魅力. 勇魚56: 33-37.
- 藤瀬良弘. 2012. クジラ類. 204-206. 島 一雄ら編 最新水産ハンドブック. 講談社, 東京. 720pp.
- 藤瀬良弘. 2012. 全国鯨フォーラム2012下関—くじらと人の関係を未来志向で考えよう—. 鯨研通信455: 10-11.
- 後藤睦夫. 2012. 国際捕鯨委員会科学委員会の仕組みについて. 鯨研通信454: 26-27.
- 後藤睦夫. 2012. ツノシマクジラの外部形態と分布域の推定およびBryde's whale complexに関する一考察. 鯨研通信455: 1-9.
- 磯田辰也. 2012. 鯨類捕獲調査における骨格採集. 鯨研通信456: 15-18.
- 小西健志. 2012. 鯨類資源管理を目的とした生態系モデルについて. 鯨研通信453: 19-22.
- 茂越敏弘, 及川宏之. 2012. ストランディング小話. 鯨研通信453: 20-21.
- 日本鯨類研究所. 2012. 鯨研通信453. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2012. 鯨研通信454. 日本鯨類研究所, 東京. 30pp.

資料

日本鯨類研究所. 2012. 鯨研通信455. 日本鯨類研究所, 東京. 16pp.

日本鯨類研究所. 2012. 鯨研通信456. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.

大隅清治. 2012. 西脇昌治博士. 勇魚56: 2-17.

大隅清治. 2012. 太地町の「森浦湾くじらの海」構想. 鯨研通信455: 11-13.

2013年

藤瀬良弘, 西脇茂利. 2013. 南極海でクジラを調べる. 240-255. 永延幹男, 村瀬弘人, 藤瀬良弘編 南極海一氷の海の生態系. 東海大学出版会, 神奈川. 368pp.

藤瀬良弘, 田村 力, パステネ, L. A. 2013. 北西太平洋鯨類捕獲調査の現状と成果. 187-205. 桜井泰憲, 大島慶一郎, 大泰司紀之編 オホーツクの生態系とその保全. 北海道大学出版会, 北海道. 500pp.

小西健志. 2013. ヒゲクジラ類の摂餌生態と餌環境について. 勇魚58: 22-27.

松岡耕二. 2013. 国際捕鯨委員会 (IWC) による太平洋鯨類生態系調査 (POWER) の発足とその実施状況について. 鯨研通信460: 1-8.

松岡耕二. 2013. 南極海でクジラの分布を探る. 256-268. 永延幹男, 村瀬弘人, 藤瀬良弘編 南極海一氷の海の生態系. 東海大学出版会, 神奈川. 368pp.

永延幹男, 西脇茂利. 2013. 地球最南端でのフィールド調査. 42-69. 永延幹男, 村瀬弘人, 藤瀬良弘編 南極海一氷の海の生態系. 東海大学出版会, 神奈川. 368pp.

中井和佳. 2013. 船上のクジラ調査—プロポーショナル計測と体重測定—. 鯨研通信459: 10-18.

日本鯨類研究所. 2013. 鯨研通信457. 日本鯨類研究所, 東京. 26pp.

日本鯨類研究所. 2013. 鯨研通信458. 日本鯨類研究所, 東京. 12pp.

日本鯨類研究所. 2013. 鯨研通信459. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.

日本鯨類研究所. 2013. 鯨研通信460. 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.

大隅清治. 2013. 国際捕鯨委員会／科学小委員会の変遷と日本との関係 (I) 戦前の国際捕鯨規制と科学の関与. 鯨研通信458: 1-7.

大隅清治. 2013. 国際捕鯨委員会／科学小委員会の変遷と日本との関係 (II) 戦前の国際捕鯨規制と科学の関与. 鯨研通信459: 1-9.

大隅清治. 2013. 随想クジラ食文化 (1) 古川柳から窺える江戸のクジラ食文化. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み 1: 3.

大隅清治. 2013. 鯨関係の書籍紹介. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み 1: 3.

及川宏之. 2013. 鮎川実験場の東北大地震による被災とその後の整理, 閉鎖について. 鯨研通信457: 23-25.

及川宏之. 2013. DNAによる鯨の種判定はどのように行なうのか?. 鯨研通信458: 8-10.

田村 力. 2013. クジラの胃の中を調べる—クジラの胃内容物からみた摂餌生態. 269-283. 永延幹男, 村瀬弘人, 藤瀬良弘編南極海一氷の海の生態系. 東海大学出版会, 神奈川. 368pp.

田村 力. 2013. オホーツク海における鯨類の食性と生態系モデリング. 169-174. 桜井泰憲, 大島慶一郎, 大泰司紀之編 オホーツクの生態系とその保全. 北海道大学出版会, 北海道. 500pp.

2014年

藤瀬良弘. 2014. 我が国の調査捕鯨について. 水産・食料研究会会報122: 1-20.

畑中 寛. 2014. バレニンに関する研究と商品開発の歩み. 鯨研通信461: 1-5.

畑中 寛. 2014. 「南極海における捕鯨」ICJ判決についての疑問—調査計画立案に関わった1科学者の視点から—. 鯨研通信463: 8-14.

日本鯨類研究所. 2014. 鯨研通信461. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.

日本鯨類研究所. 2014. 鯨研通信462. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.

- 日本鯨類研究所. 2014. 鯨研通信463. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.
- 日本鯨類研究所. 2014. 鯨研通信464. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 大隅清治. 2014. クジラ食文化 (2) 北前船による鯨食文化の伝搬. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み2: 3.
- 大隅清治. 2014. 国際捕鯨委員会/科学小委員会の変遷と日本との関係 (III) 三人委員会. 鯨研通信463: 1-7.
- 大隅清治. 2014. 随筆クジラの繁殖に関連して. 協同セミナー389: 6-7.
- 大隅清治. 2014. クジラ食文化 (3) おぼけ (尾羽毛). クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み3: 2.
- 大隅清治. 2014. クジラ食文化 (4) 明治後期に日本鯨食文化を世界に紹介した外国人. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み5: 4.
- 大隅清治. 2014. クジラ食文化 (5) 鯨の缶詰. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み5: 4.
- パステネ, L. A. 2014. IWC科学委員会によるJARPAII (2005/06-2010/11) 調査結果のレビュー. 鯨研通信464: 1-19.
- Pastene, L. A. 2014. Macaya Hermanos y Compañía—Notas Sobre las Actividades de la Empresa Ballenera de más Larga Historia en Chile. 255-274. In: Quiroz, D. and Toledo, P. (eds.) *Balleneros del Sur-Antropología e Historia de la Industria Ballenera en las Costas Sudamericanas*. Universidad Academia de Humanismo Cristiano. 292pp.
- 柳原真理亜, 大隅清治, 小松正之 (編集). 2014. 未来を見つめた鯨男 柳原紀文—捕鯨から食品会社への大転換. IDP 出版, 東京. 345pp.
- 安永玄太, 藤瀬良弘. 2014. 鯨類における水銀とセレン. 29-37. 日本水産学会監修 魚食と健康—メチル水銀の生物影響 (水産学シリーズ179). 恒星社厚生閣, 東京. 151pp.

2015年

- ガブリエル ゴメス ディアス (訳). 2015. 国際司法裁判所 (ICJ) 「南極海における捕鯨」判決への反対意見 (1)—小和田裁判官の反対意見 (仮訳). 鯨研通信466: 9-21.
- 後藤睦夫. 2015. 日本と韓国のクジラに関する共同研究の歩みI北西太平洋ミンククジラの系群構造解明に関する日韓共同研究. 鯨研通信465: 1-8.
- 村瀬弘人. 2015. キリバス・ツバル周辺海域で実施した鯨類目視調査の顛末記. 鯨研通信466: 1-8.
- 日本鯨類研究所. 2015. 鯨研通信465. 日本鯨類研究所, 東京. 20pp.
- 日本鯨類研究所. 2015. 鯨研通信466. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2015. 鯨研通信467. 日本鯨類研究所, 東京. 26pp.
- 日本鯨類研究所. 2015. 鯨研通信468. 日本鯨類研究所, 東京. 26pp.
- 大曲佳世 (訳). 2015. 国際司法裁判所 (ICJ) 「南極海における捕鯨」判決への反対意見 (2)—ユスフ裁判官の反対意見 (仮訳). 鯨研通信467: 10-22.
- 大曲佳世 (訳). 2015. 国際司法裁判所 (ICJ) 「南極海における捕鯨」判決への反対意見 (3)—ベヌーナ裁判官の反対意見 (仮訳). 鯨研通信468: 16-21.
- 大隅清治. 2015. 望星インタビュー この人の“実感”を聞きたい 大隅清治さん. 望星559: 72-80.
- 大隅清治. 2015. 国際捕鯨委員会/科学小委員会の変遷と日本との関係 (IV) 新管理方式 (NMP) 成立前夜. 鯨研通信465: 9-19.
- 大隅清治. 2015. 国際捕鯨委員会/科学小委員会の変遷と日本との関係 (V) 北太平洋鯨類資源の管理問題 (その1). 鯨研通信467: 1-9.
- 大隅清治. 2015. クジラ食文化 (6) 蕪骨 (かぶらぼね). クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み6: 4.
- 大隅清治. 2015. クジラ食文化 (7) 日本でクジラ食文化が発展した要因. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み7: 4.
- 大隅清治. 2015. クジラ食文化 (8) はぐき. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み8: 4.
- 大隅清治. 2015. クジラ食文化 (9) 体の部分の名称の多さが食文化の発達を表す. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み9: 4.
- 大隅清治. 2015. 日本の海棲哺乳動物学の基礎を築いた偉人たち2 大村秀雄博士. 勇魚63: 2-16.

資料

- 大隅清治. 2015. 推薦の辞 呼子鯨組の活動を讃たえ, 本書を強く推薦する. 1. 呼子鯨組編 呼子とクジラのはなし. 呼子鯨組, 佐賀. 61pp.
- 太地町立くじらの博物館. 2015. 太地町立くじらの博物館所蔵 大隅清治博士寄贈 図書目録. 太地町立くじらの博物館, 和歌山. 182pp.
- Ohsumi, S. 2015. Grundlageder japanischen Walfoorschung. 140–148. In: Hartmut Roder (ed.) *Faszination Wale—Von Menschen und Walen*. Übersee-Museum Bremen, Deutsch. 192pp.
- 2016年
- 村瀬弘人, 北門利英, 服部 薫, 田村 力, 金治 佑. 2016. 海棲哺乳類の保全・管理のための調査・解析手法 連載によせて. 海洋と生物38(2): 191–192.
- 村瀬弘人, 松岡耕二, 服部 薫, 磯野岳臣. 2016. 海棲哺乳類の保全・管理のための調査・解析手法 (1) 目視調査. 海洋と生物38(2): 193–200.
- 日本鯨類研究所. 2016. 鯨研通信469. 日本鯨類研究所, 東京. 36pp.
- 日本鯨類研究所. 2016. 鯨研通信470. 日本鯨類研究所, 東京. 14pp.
- 日本鯨類研究所. 2016. 鯨研通信471. 日本鯨類研究所, 東京. 32pp.
- 日本鯨類研究所. 2016. 鯨研通信472. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 西脇茂利. 2016. 巻頭エッセイ定置網に混獲されるミンククジラが捕鯨再開を担う! クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み13: 1–2.
- 大隅清治. 2016. あの日・あの味166 クジラの「たれ」. 望星4: 68–69.
- 大隅清治. 2016. 国際捕鯨委員会/科学小委員会の変遷と日本との関係 (VI) IDCR/SOWER南半球産ミンククジラ資源評価航海 (その1). 鯨研通信469: 12–21.
- 大隅清治. 2016. 国際捕鯨委員会/科学小委員会の変遷と日本との関係 (VI) IDCR/SOWER南半球産ミンククジラ資源評価航海 (その2). 鯨研通信471: 1–15.
- 大隅清治. 2016. 国際捕鯨委員会/科学小委員会の変遷と日本との関係 (VII) IWC/SCへの日本の対応組織の変遷. 鯨研通信472: 1–5.
- 大隅清治. 2016. クジラ食文化 (10) 全国のクジラを食べられる料理店の数. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み10: 4.
- 大隅清治. 2016. クジラ食文化 (11) さえずり. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み11: 4.
- 大隅清治. 2016. クジラ食文化 (12) 日本のクジラ食文化の発達と継承を考える. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み12: 4.
- 大隅清治. 2016. クジラ食文化 (13) タレ. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み13: 4.
- 大隅清治. 2016. クジラと日本文化の話1特別なごちそう. 望星566: 82–83.
- 大隅清治. 2016. クジラと日本文化の話2四メートルの上と下. 望星567: 84–85.
- 大隅清治. 2016. クジラと日本文化の話3鯨飲馬食. 望星568: 90–91.
- 大隅清治. 2016. クジラと日本文化の話4食料危機とクジラ. 望星569: 92–93.
- 大隅清治. 2016. クジラと日本文化の話5恵比寿としてのクジラ. 望星570: 94–95.
- 大隅清治. 2016. クジラと日本文化の話6長者番付に載った捕鯨組主. 望星571: 94–95.
- 大隅清治. 2016. クジラと日本文化の話7鯨尺. 望星572: 88–89.
- 大隅清治. 2016. 田中昌一博士の死を悼み, 業績を讃える. 鯨研通信470: 6–9.
- パステネ, L. A. 2016. 新南極海鯨類科学調査計画 (NEWREP-A) の概要—An outline of the Research Plan for New Scientific Whale Research Program in the Antarctic Ocean. 鯨研通信469: 1–11.

2017年

- 磯田辰也. 2017. 白いペンギンの話. 鯨研通信475: 12–14.

- 松岡耕二. 2017. 2014/15年度と2015/16年度の南極海第IV区におけるザトウクジラとミナミセミクジラの増加について. 鯨研通信474: 1-9.
- 日本鯨類研究所. 2017. 鯨研通信473. 日本鯨類研究所, 東京. 22pp.
- 日本鯨類研究所. 2017. 鯨研通信474. 日本鯨類研究所, 東京. 24pp.
- 日本鯨類研究所. 2017. 鯨研通信475. 日本鯨類研究所, 東京. 18pp.
- 大隅清治. 2017. クジラ食文化(14) 弥次喜多もクジラを食べた. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み14: 4.
- 大隅清治. 2017. クジラ食文化(15) まめわた(豆蔵). クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み15: 4.
- 大隅清治. 2017. クジラ食文化(16) 百尋と千筋. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み16: 4.
- 大隅清治. 2017. クジラ食文化(17) クジラの肉はなぜ黒い. クジラ食文化を守る会, 季刊鯨組み17: 4.
- 大隅清治. 2017. クジラと日本文化の話8 鯨鯢の腮に懸く. 望星573: 88-89.
- 大隅清治. 2017. クジラと日本文化の話9 北前船が広げたクジラ食文化. 望星574: 88-89.
- 大隅清治. 2017. クジラと日本文化の話10 目くじらと言いがかり. 望星575: 88-89.
- 大隅清治. 2017. クジラと日本文化の話11 「鯨食」は世界に誇る文化. 望星576: 92-93.
- 大隅清治. 2017. クジラと日本文化の話12 鯨唄. 望星577: 92-93.
- 大隅清治. 2017. クジラと日本文化の話13 絵巻物に描かれた古式捕鯨. 望星578: 82-83.
- 大隅清治. 2017. クジラと日本文化の話14 長門の捕鯨文化を「日本遺産」に. 望星579: 84-85.
- 大隅清治. 2017. クジラと日本文化の話15 錦絵にも描かれたクジラ. 望星580: 84-85.
- 大隅清治. 2017. クジラと日本文化の話16 八十八もの部位に名がある. 望星581: 86-88.
- 大隅清治. 2017. クジラと日本文化の話17 捕鯨が許可される条件とは. 望星582: 84-88.
- 大隅清治, 大島幹雄. 2017. 対談鮎川の復興はクジラから. 石巻学3: 24-33.
- 田村 力. 2017. IWC科学委員会によるJARPNII調査レビュー作業部会の概要. 鯨研通信473: 1-13.
- 田村 力, 後藤陽子. 2017. 海棲哺乳類の保全・管理のための調査・研究手法(8) 食性・栄養状態・摂餌量. 海洋と生物39(4): 386-393.

5-5-3. 放送・講演

1994年

- 大隅清治. 1994. 衛星でクジラの生息調査. NHKラジオ第1. 1994/1/18.
- 大隅清治. 1994. クジラの移動を追う. クラブ:ドルフィン, 港勤労福祉会館. 1994/1/26.
- 大隅清治. 1994. 海棲哺乳類と人間とのかかわりの歴史と現状—大型鯨類, 「海棲哺乳類と人間とのかかわり」研究集会. 東京水産大学. 1994/2/12.
- 大隅清治. 1994. クジラと日本人. 椎の実会例会. 御殿山コミュニティーセンター. 1994/7/9.
- 大隅清治. 1994. 資源管理と生物資源. 第29全道漁協経営セミナー. 北海道指導漁業協同組合連合会. 湯の川 花びしホテル. 1994/8/23.
- 大隅清治. 1994. 神秘の巨大生物・クジラ. NHKラジオ第1. 1994/9/5~9.
- 大隅清治. 1994. 鯨類の資源量とその観測について. 地球環境と海洋科学技術の研究会第2委員会・第4回研究会. 日経産業消費研究所. 1994/10/12.
- 大隅清治. 1994. 鯨類の資源量とその観測について. 地球環境と海洋科学技術の研究会第2委員会・第4回研究会. 日経産業消費研究所. 1994/10/12.
- 大隅清治. 1994. クジラは海に放し飼いされたウシである. 九州・山口鯨協議会勉強会. 福岡県水産会館. 1994/11/10.

1995年

- 長崎福三. 1995. 海と魚のシンポジウム「海と人間と魚(鯨)の共存を目指して」. 和田町なのはなまつり. 和田町コ

資料

コミュニティセンター町民ホール. 1995/1/8.

- 長崎福三. 1995. 最近の捕鯨を巡る情勢. 調査捕獲副産物中部地区流通業者に対する説明会. 名古屋中央卸売市場. 1995/2/27.
- 長崎福三. 1995. 肉食と魚会の文化相違とお米. 心齋橋お米塾 Vol. 31. お米ギャラリー心齋橋. 1995/6/15.
- 長崎福三. 1995. 科学調査関係. IWC 会談報告会. 福岡県水産会館. 1995/6/26.
- 長崎福三. 1995. 科学調査関係. IWC 会議報告会. 太地町公民館. 1995/6/28.
- 長崎福三. 1995. 科学調査関係. IWC 会議報告会. 名古屋市中央卸売市場管理棟会議室. 1995/6/29.
- 大隅清治. 1995. バンドウイルカの調査をどのようにしてなすべきか. アイサーチ・Japan 事務所. 1995/1/21.
- 大隅清治. 1995. 日本が実施している鯨類捕獲調査. 捕獲調査副産物東北地区流通業者に対する説明会. 仙台市中央卸売市場管理棟. 1995/2/21.
- 大隅清治. 1995. ニタリクジラの生態. ホエールウォッチング感謝祭'95 春. 高知県大方町. 1995/3/25~26.
- 大隅清治. 1995. 鯨に魅せられて. 鯨類研究40年記念講演会. 日本教育会館. 1995/4/4.
- 大隅清治. 1995. クジラの愛のあり方. 武蔵野市老壮大学院講義. 武蔵野市役所第8会談室. 1995/6/17.
- 大隅清治. 1995. 科学調査関係. IWC 会議報告会. 東京都中央卸売市場東卸会館. 1995/6/22.
- 大隅清治. 1995. 科学調査関係. IWC 会議報告会. 大阪市中央卸売市場管理棟会議室. 1995/6/27.
- 大隅清治. 1995. 捕鯨問題. 総合テーマ「現代の諸問題」講義. 高千穂商科大学. 1995/6/28.
- 大隅清治. 1995. 科学調査関係. IWC 会議報告会. 札幌市中央卸売市場内高橋水産(株)会議室. 1995/7/3.
- 大隅清治. 1995. 科学調査関係. IWC 会議報告会. 仙台市中央卸売市場管理棟会議室. 1995/7/4.
- 大隅清治. 1995. 科学調査関係. IWC 会議報告会. 牡鹿町公民館. 1995/7/5.
- 大隅清治. 1995. クジラ類の種類と生態. 公開講座「クジラに学ぶ—水産資源を巡る国際情勢—」. 東京水産大学資源育成棟100A教室. 1995/8/23.
- 大隅清治. 1995. 鯨類のバイオテレメトリー研究に関連する生態と生理. 第13回岡村セミナー. 東京理科大学セミナーハウス. 1995/10/27~28.
- 山村和夫. 1995. おはようワイド—日新丸・第一京丸一般公開についてのインタビュー—. 東北放送ラジオ. 1995/5/19.
- 山村和夫. 1995. クイズ! みやぎ東西南北. 東北放送. 1995/5/29.
- 山村和夫. 1995. 捕鯨の歴史. 公開講座「クジラに学ぶ—水産資源を巡る国際情勢—」. 東京水産大学資源育成棟100A教室. 1995/8/23.

1996年

- 石川 創・山田 格. 1996. ストランディングを見つけたら…漂着, 迷入, 混獲の場合. 勇魚会シンポジウム. 1996/11/30.
- 三崎滋子. 1996. もっと知りたい日本—カンカンガクガク鯨の問題—. TV東京. 1996/5/11.
- 守矢 哲. 1996. 第9次荷極海鯨類捕獲調査報告. 流通関係者・捕鯨情勢説明会. 東京都中央卸売市場東京都講堂. 1996/5/14.
- 守矢 哲. 1996. 第9次南極海鯨類捕獲調査報告. 流通関係者・捕鯨情勢説明会. 名古屋市中央卸売市場管理棟. 1996/5/17.
- 守矢 哲. 1996. 第9次南極海鯨類捕獲調査報告. 流通関係者・捕鯨情勢説明会. 札幌市中央卸売市場内高橋水産(株)会議室. 1996/5/20.
- 守矢 哲. 1996. 第9次南極海鯨類捕獲調査報告. 流通関係者・捕鯨情勢説明会. ホテル仙台サンプラザ. 1996/5/21.
- 大隅清治. 1996. ヒトとザトウクジラの関係. 名古屋市科学館「くじらシンポジウム」. 名古屋市科学館サイエンスホール. 1996/2/17.
- 大隅清治. 1996. クイズ日本人の質問. NHKテレビ. 1996/2/18.
- 大隅清治. 1996. 鯨類資源調査の必要性. 鯨類調査船一般公開記念講演会. ロマン長崎会館. 1996/4/27.

- 大隅清治. 1996. 最近における捕鯨問題と第48回IWC. 六大都市鯨業者協議会. ホテル国際観光. 1996/5/15.
- 大隅清治. 1996. 第9次南極海鯨類捕獲調査報告. 流通関係者・捕鯨情勢説明会. 福岡県水産会館. 1996/5/23.
- 大隅清治. 1996. 第9次南極海鯨類捕獲調査報告. 流通関係者・捕鯨情勢説明会. 大阪中央卸売市場管理棟. 1996/5/24.
- 大隅清治. 1996. 第48回IWC年次会議報告. 漁業を巡る国際情勢報告会. 名古屋中央卸売市場. 1996/7/23.
- 大隅清治. 1996. 第48回IWC年次会議報告. 漁業を巡る国際情勢報告会. 太地公民館. 1996/7/31.
- 大隅清治. 1996. 鯨類捕獲調査の意義. 水産ジャーナリストの会. 大水会議室. 1996/7.
- 山村和夫. 1996. 懐かしモノ大集合パート2. 中部放送 (CBCテレビ). 1996/7/9.
- 山村和夫. 1996. 捕鯨の歴史と資源管理. 日本大学生物資源学部. 1996/11/27.

1997年

- 石川 創. 1997. 鯨類のストランディング/日本の鯨類捕獲調査. 日本動物植物専門学院東京校. 1997/2/5.
- 石川 創. 1997. イルカの飼育と管理/日本の鯨類捕獲調査. 日本動物植物専門学院東京校. 1997/2/19.
- 三崎滋子. 1997. 日本の地域社会捕鯨. 米下院資源委員会水産小委員会. 1997/3/3.
- 三崎滋子. 1997. 日本の捕鯨は正当な主張. 米政策検討シンクタンク. 1997/3/3.
- 三崎滋子. 1997. 日本人は何故捕鯨にこだわるのか? 歴史と現状. 米ワシントン競合産業研究所. 1997/3/4.
- 三崎滋子. 1997. 皆で共に捕鯨問題を考えよう. 南カリフォルニア州大学法学部. 1997/3/6.
- 三崎滋子. 1997. 日本人は鯨を利用すべきである. 世界も持続的捕鯨の利用に目覚めるべきである. 米ハワイ私立校 (セント・パトリック校, 聖心女子学院). 1997/3/10・12.
- 三崎滋子. 1997. 捕鯨をめぐる国際情勢. 福井県学校栄養士研修会. 1997/8/5.
- 守矢 哲. 1997. Whales and Whaling. 1997. Status of the Research Program. 野生生物資源の持続的利用に関するIWMCシンポジウム. インドネシア・バリ島. 1997/2/5.
- 守矢 哲. 1997. 第49回IWC年次会議報告. 仙台市中央卸売市場大会議室. 1997/11/5.
- 守矢 哲. 1997. 第49回IWC年次会議報告. 牡鹿町公民館. 1997/11/6.
- 守矢 哲. 1997. 第49回IWC年次会議報告. 網走市漁業協同組合会議室. 1997/11/13.
- 守矢 哲. 1997. 第49回IWC年次会議報告. 札幌中央水産会議室. 1997/11/14.
- 守矢 哲. 1997. おもしろセミナー クジラってなに?. 千葉県七次中学校. 1997/11/29.
- 西脇茂利. 1997. 洋上における鯨種判定について. 勇魚会シンポジウム. 1997/8/2.
- 西脇茂利. 1997. さわやか日本 クジラのこと知ってる?. 日本テレビ. 1997/10/26.
- 西脇茂利. 1997. ジパングあさ6 巨大イカは鯨を襲うか?. 日本テレビ. 1997/10/27.
- 西脇茂利. 1997. クジラについて. 東京都中央区立豊海小学校. 1997/12/18.
- 大隅清治. 1997. 鯨類の救出に関連する生物学. 串本漁民研修センター. 1997/2/5.
- 大隅清治. 1997. 東南アジアの鯨類. HAEシンポジウム. 1997/3/9.
- 大隅清治. 1997. クイズ日本人の質問 マッコウクジラの皮膚の機能. NHKテレビ. 1997/3/16.
- 大隅清治. 1997. 不思議な海の哺乳類・クジラ. 座間味ホエールウォッチングフェスタ'97. 1997/3/22.
- 大隅清治. 1997. 鯨類の救出に関する生物学と救出法. 島根県漁連. 1997/3/25.
- 大隅清治. 1997. 科学委員会とNGO. 大阪市リーガロイヤル. 1997/11/6.
- 大隅清治. 1997. 遠洋水産研究所創立30周年記念式典祝辞. 清水市折戸公民館. 1997/11/7.
- 大隅清治. 1997. 第49回IWC年次会合科学委員会の概要他について. 和田町コミュニティーセンター. 1997/11/13.
- 大隅清治. 1997. ふるさと群馬. 群馬テレビ. 1997/12/15.
- 大隅清治. 1997. Cetaceans in the South-east Asia. クラチエ・カンボジア. 1997/12/20.
- 島 一雄. 1997. 第49回IWC年次会議報告. 築地市場内東京都議堂. 1997/11/6.
- 山村和夫. 1997. コーベみなど物語「鯨類調査船見学会」. サンテレビジョン. 1997/5/5.
- 山村和夫. 1997. 第49回IWC年次会議報告. 築地市場内東京都議堂. 1997/11/6.

資料

山村和夫. 1997. 第49回IWC年次会議報告. 太地町公民館. 1997/11/13.

山村和夫. 1997. 第49回IWC年次会議報告. 名古屋市中央卸売市場内会議室. 1997/11/19.

1998年

Goto, M. 1998. Introduction of genetic studies conducted in the Institute of Cetacean Research. National Fisheries Research & Development Institute. Korea. 1998/11/10

守矢 哲. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 仙台市勤労者体育館会議室. 1998/6/3.

守矢 哲. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 牡鹿町公民館. 1998/6/4.

守矢 哲. 1998. 七次台おもしろセミナー くじらってなあに?. 七次台中学校. 1998/11/21.

大隅清治. 1998. 第49回IWC年次会合科学委員会報告. 福岡市中央卸売市場会議室. 1997/11/5.

大隅清治. 1998. ヒトとクジラとの関わり合い. 長崎県漁連会館. 1998/3/19.

大隅清治. 1998. カンボジアにおけるイルカの保護のための調査研究の提案. 横浜市教育文化ホール. 1998/4/19.

大隅清治. 1998. Population research for rational utilization and proper management of cetacean resources. セントルシア水産局. 1998/7/7.

大隅清治. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 築地市場内東京都議堂. 1998/6/1.

大隅清治. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 福岡市鮮魚市場内市場会館第一会議室. 1998/6/2.

大隅清治. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 大阪市リーガロイヤルNCB. 1998/6/3.

大隅清治. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 太地町公民館. 1998/6/3.

大隅清治. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 名古屋市中部水産会議室. 1998/6/4.

大隅清治. 1998. 鯨の利用の現在と将来. 下関くじら食文化を守る会. 東京第1ホテル. 1998/11/5.

島 一雄. 1998. 捕鯨と食綴問題. 下関・シーモールパレス. 1998/4/18.

島 一雄. 1998. 捕鯨問題の行方. NHKラジオ第1. 1998/5/16.

島 一雄. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 築地市場内東京都講堂. 1998/6/1.

島 一雄. 1998. 第50回IWC年次会議報告. リーガロイヤルホテル早稲田. 1998/6/10.

山村和夫. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 千葉県和田町コミュニティーセンター. 1998/6/5.

山村和夫. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 網走漁業協同組合会議室. 1998/6/8.

山村和夫. 1998. 第50回IWC年次会議報告. 札幌市高橋水産会議室. 1998/6/9.

1999年

Goodman, D. 1999. The Failure of the IWC. 共同研究会 生物資源管理の展望—地域とグローバルの視点から. 京都大学東南アジア研究センター. 1999/2/24.

グッドマン, D. 1999. 国際捕鯨委員会—失われたバランスの回復 比較法文化学会国際シンポジウム 野生生物資源の保全・利用の将来像. 三田共用会議所. 1999/3/5.

グッドマン, D. 1999. 基調講演「再び鯨に会う日」文明の対立を越えて. クジラ食文化を次代へ伝える集い. 札幌後楽園ホテル. 1999/9/22.

ゴメス・ディアス, ガブリエル. 1999. 生態系に及ぼす海産哺乳類の役割. 平成10・11年度国際協力事業団集団研修 反閉鎖性水域における生物生産と環境保全. 広島大学生物生産学部. 1999/6/28.

猪瀬侃紀. 1999. 第51回IWC会議報告. 仙台市中央卸売市場管理棟会議室. 1999/6/11.

猪瀬侃紀. 1999. 第51回IWC会議報告. 牡鹿町公民館. 1999/6/11.

石川 創. 1999. 毎日放送MBSナウ 環境シリーズ「天空池水」. 毎日放送. 1999/6/18.

石川 創. 1999. ノルウェー捕鯨事情. ノルウェー出張報告会. 日本鯨類研究所会議室. 1999/8/23.

大隅清治. 1999. 人と鯨のかかわり合い. 佐渡島開発総合センター. 1999/2/3.

大隅清治. 1999. 第51回IWC会議報告. 東卸会館会議室. 1999/6/10.

- 大隅清治. 1999. 第51回IWC会議報告. 太地町公民館. 1999/6/11.
- 大隅清治. 1999. 第51回IWC会議報告. 名古屋中央卸売市場内庁舎会議室. 1999/6/12.
- 大隅清治. 1999. 日本における捕鯨の渡史と鯨類資源の調査研究. VNIRO ロシア. 1999/6/28.
- 大隅清治. 1999. 国際捕鯨委員会とクジラとマグロ. マリンインパクト21第11回フォーラム. 東京. 1999/7/29.
- 大隅清治. 1999. 鯨と漁業との競合. 松戸鯨食文化を守る会. 新松戸公民館. 1999/10/11.
- 大隅清治. 1999. これからの捕鯨. 第4回九州極洋会. 博多全日空ホテル. 1999/10/22.
- 大隅清治. 1999. ハナゴンドウが木場に迷入する. フジテレビスーパーニュース. 1999/11/23.
- Pastene, L. A. 1999. Ballenas, ballenería y los puntos de vista de Japón frente al problema ballenero. チリ大使館. 東京. 1999/2/19.
- Pastene, L. A. 1999. Management and conservation of large whales in the context of the International Whaling Commission (IWC). Chilean "Month of the Sea". Talcahuano. Chile. 1999/5/25.
- 田村 力. 1999. クローズアップ現代 クジラで魚資源が危機? 保護か捕鯨か. NHK. 1999/6/14.
- 田村 力. 1999. おはようこちら水産情報局 鯨と漁業①②. ラジオたんぱ (NSB). 1999/12/6~7.
- 山村和夫. 1999. 第51回IWC会議報告. 福岡市中央卸売市場会館会議室. 1999/6/9.
- 山村和夫. 1999. 第51回IWC会議報告. 大阪市中央卸売市場業務管理棟大ホール. 1999/6/10.
- 山村和夫. 1999. 第51回IWC会議報告. 網走市漁業協同組合会議室. 1999/6/18.
- 山村和夫. 1999. 第51回IWC会議報告. 札幌市高橋水産(株)会議室. 1999/6/19.
- 山村和夫. 1999. 第51回IWC会議報告. 和田町コミュニティーセンター. 1999/6/22.
- 山村和夫. 1999. クジラの話. ホテル・マリナーズコート東京. 1999/7/3.
- 山村和夫. 1999. クジラの話. 熊本ニュースカイホテル. 1999/9/9.
- 山村和夫. 1999. 反捕鯨運動の盛衰. 鯨友会定期総会. 日立因島労働会館. 1999/10/16.
- 山村和夫. 1999. 鯨を獲る物語. 東京水産大学海鷹祭. 1999/11/21.
- 2000年
- 藤瀬良弘. 2000. 捕鯨の将来, そしてクジラは今どうしているのか. 神戸女学院大学. 2000/5/17.
- 藤瀬良弘. 2000. 鯨類の保護管理について. 特別講演会. 愛媛大学農学部. 2000/9/22.
- 藤瀬良弘. 2000. 2000年JARPNII調査結果について. 荒川強啓のデイ・キャッチ. TBSラジオ. 2000/9/25.
- 藤瀬良弘. 2000. ミンククジラの食性と近年のサンマの捕食について. ニュースアイー春風亭栄枝の狂歌でガツン. テレビ東京. 2000/10/4.
- グッドマン, ダン. 2000. IWC規制下でのマーカの捕鯨活動. 北方民族博物館. 2000/7/29.
- 後藤睦夫. 2000. 鯨肉不正流通ルートを追う. NHKニュースおはよう日本. NHK総合. 2000/12/27.
- 猪瀬侃紀. 2000. CITES第11回締約国会議報告会及び第52回IWC事前説明会. 太地町公民館. 2000/5/31.
- 猪瀬侃紀. 2000. CITES第11回締約国会議報告会及び第52回IWC事前説明会. 名古屋市中央卸売市場市場内庁舎会議室. 2000/6/1.
- 猪瀬侃紀. 2000. 第52回IWC報告会. 仙台市勤労者体育館会議室. 2000/8/28.
- 猪瀬侃紀. 2000. 第52回IWC報告会. 牡鹿町公民館. 2000/8/29.
- 松岡耕二. 2000. マッコウクジラの過去の漂着例 (スーパーニュース). フジテレビ. 2000/4/7.
- 松岡耕二. 2000. 海洋版GISを用いた南極周極流南側境界周辺の大規模鯨類分布. 農林水産省農林技術会議平成10~11年度官民交流共同プロジェクト「海洋版GIS (地理情報システム) 開発」成果報告会. 遠洋水産研究所. 2000/4/17.
- 松岡耕二. 2000. 海洋版GISを用いた南極周極流南側境界周辺の大規模鯨類分布. 農林水産省農林技術会議平成10~11年度官民交流共同プロジェクト「海洋版GIS (地理情報システム) 開発」成果報告会. 中央水産研究所. 2000/4/18.
- 村上光由. 2000. CITES第11回締約国会議報告会及び第52回IWC事前説明会. 和田町コミュニティーセンター. 2000/5/23.
- 村上光由. 2000. CITES第11回締約国会議報告会及び第52回IWC事前説明会. 札幌中央水産会議室. 2000/5/30.

資料

- 村上光由. 2000. CITES第11回締約国会議報告会及び第52回IWC事前説明会. 網走市役所. 2000/5/31.
- 村上光由. 2000. 第52回IWC報告会. 名古屋市中央卸売市場市場内庁舎会議室. 2000/8/29.
- 村上光由. 2000. 第52回IWC報告会. 太地町公民館. 2000/9/19.
- 村瀬弘人. 2000. GISを用いた南極海におけるヒゲクジラ類とオキアミ類分布関係の予備解析結果と今後の課題. 農林水産省農林技術会議平成10～11年度官民交流共同プロジェクト「海洋版GIS(地理情報システム)開発」成果報告会. 遠洋水産研究所. 2000/4/17.
- 村瀬弘人. 2000. GISを用いた南極海におけるヒゲクジラ類とオキアミ類分布関係の予備解析結果と今後の課題. 農林水産省農林技術会議平成10～11年度官民交流共同プロジェクト「海洋版GIS(地理情報システム)開発」成果報告会. 中央水産研究所. 2000/4/18.
- 西脇茂利. 2000. クジラ救出劇 その後を追う(ウオッ!チャ). フジテレビ. 2000/4/15.
- 大隅清治. 2000. クジラの進化—むかし, クジラは陸にいた. 港区立港郷土資料館. 2000/2/12.
- 大隅清治. 2000. これからの捕鯨について. 漁船協会第285回月例懇談会. 2000/2/18.
- 大隅清治. 2000. クジラの生態—クジラの毎日と毎年. 港区立港郷土資料館. 2000/2/26.
- 大隅清治. 2000. CITESと鯨資源. 築地市場内東京都講堂. 2000/2/22.
- 大隅清治. 2000. CITESと鯨資源. 和田町コミュニティーセンター. 2000/3/2.
- 大隅清治. 2000. CITESと鯨資源. 仙台市勤労者体育館会議室. 2000/3/9.
- 大隅清治. 2000. クジラと人との関わり—クジラを大切にしてきた日本人. 港区郷土資料館. 2000/3/11.
- 大隅清治. 2000. 人と鯨のかかわり合い. 氷見漁協研修室. 2000/3/16.
- 大隅清治. 2000. 鯨の跳躍(めざましテレビ). フジテレビ. 2000/3/22.
- 大隅清治. 2000. クジラを巡る最近の話題について考える. アルバトロスクラブ11周年会合. 2000/5/13.
- 大隅清治. 2000. CITES第11回締約国会議報告会及び第52回IWC事前説明会. 東京都築地市場内東京都議堂. 2000/5/22.
- 大隅清治. 2000. CITES第11回締約国会議報告会及び第52回IWC事前説明会. 大阪市中央卸売市場大ホール. 2000/5/29.
- 大隅清治. 2000. CITES第11回締約国会議報告会及び第52回IWC事前説明会. 福岡市中央卸売市場会館会議室. 2000/5/30.
- 大隅清治. 2000. 日本人とクジラ—近世捕鯨の歴史—. 品川歴史館. 2000/7/22.
- 大隅清治. 2000. 第52回IWC報告会 第2期北西太平洋鯨類捕獲調査事業について. 和田町コミュニティーセンター. 2000/8/4.
- 大隅清治. 2000. 第52回IWC報告会 第2期北西太平洋鯨類捕獲調査事業について. 東京都築地市場内東京都議堂. 2000/8/22.
- 大隅清治. 2000. 第52回IWC報告会 第2期北西太平洋鯨類捕獲調査事業について. 網走市漁業協同総合会議室. 2000/8/31.
- 大隅清治. 2000. 第52回IWC報告会 第2期北西太平洋鯨類捕獲調査事業について. 札幌市漁業協同組合会議室. 2000/9/1.
- 大隅清治. 2000. クジラのコミュニケーション. 2000. その音声と聴力. 耳鼻科医師会. 明治製菓. 2000/9/9.
- 大隅清治. 2000. 最近の捕鯨問題. 共同船舶鯨友会. 日立造船会館. 2000/10/20.
- 大隅清治. 2000. 日本人と鯨. 東京日本橋西ロータリークラブ例会. パレスホテル. 2000/11/15.
- 大隅清治. 2000. IWCを巡る諸問題. 下関鯨食文化を守る会. シーモールパレス. 2000/11/16.
- 大隅清治. 2000. JARPNIIについて. 室戸クジラネットワーク協会. 室戸公民館. 2000/11/18.
- 高木岑生. 2000. 映像作家から見た 世界鯨事情と日本の努力. 館山ロータリークラブ. 2000/12/13.
- 田村 力. 2000. 名古屋大騒ぎ シャチ救出大作戦(ニュースステーション). テレビ朝日. 2000/2/23.
- 田村 力. 2000. 早く海へ!クジラ救出は…(ニュースプラス1). 日本テレビ. 2000/4/7.
- 田村 力. 2000. 南極海のオキアミを巡る争い—ヒゲクジラ類を中心として—. 第33回水産資源管理談話会. 2000/4/24.

- 田中昌一. 2000. 水産海洋研究の50年. シンポジウム水産海洋研究の歴史的回顧. 東京大学海洋研究所. 2000/3/9.
- 田中昌一. 2000. 南極海ミンククジラの資源議査. シンポジウム データサンプリング. 慶應義塾大学理工学部矢上キャンパス. 2000/6/17.
- 田中昌一. 2000. 水産資源の管理, 捕鯨を例として. 北海道大学学術講演会. 捕鯨と資源管理. 2000/10/18.
- 山村和夫. 2000. CITES第11回締約国会議報告会及び第52回IWC事前説明会. 仙台市中央卸売市場会議室. 2000/5/31.
- 山村和夫. 2000. CITES第11回締約国会議報告会及び第52回IWC事前説明会. 牡鹿町公民館. 2000/6/2.
- 山村和夫. 2000. 第52回IWC報告会. 福岡市中央卸売市場会館会議室. 2000/8/24.
- 山村和夫. 2000. 第52回IWC報告会. 大阪市中央卸売市場大ホール. 2000/8/25.
- 山村和夫. 2000. 捕鯨史から学ぶこと. 北海道大学学術講演会. 捕鯨と資源管理. 2000/10/18.

2001年

- 坂東武治. 2001. (インタビュー) ふるさと発 中国地方・食の生産現場はいま 大海原にクジラを追う～山口・捕鯨の現状と課題. NHK山口. 2001/11/2.
- 坂東武治, 茂越敏弘. 2001. (インタビュー) ハイビジョンスペシャル 調査捕鯨北西太平洋の90日間. NHK-Hi. 2001/11/3.
- 藤瀬良弘. 2001. 鯨類の保存管理について. 特別講演会. 愛媛大学農学部. 2001/8/3.
- 後藤睦夫, Pastene, L. A., Kim, Z. G., Sohn, H. 2001. 日韓学術協定に基づく遺伝学共同研究の概要. Korea-Japan Symposium on Cetacean Research. 国立水産振興院. 釜山. 2001/2/14.
- 後藤睦夫. 2001. 水産分野におけるDNA鑑定技術の現状—特に鯨類を例として—STAFF講演会. 「農林水産分野におけるDNA鑑定技術の現状と課題」. 三会堂ビル. 2001/10/11.
- 飯野靖夫. 2001. 政策対談 明日への娘け橋 第53回国際捕鯨委員会年次会合に向けて. 朝日ニュースターTV. 2001/6/6
- 猪瀬侃紀. 2001. 第53回IWC事前説明会. 捕鯨を守る会北海道支部. 曲メ高橋水産(株)会議室. 2001/6/20.
- 猪瀬侃紀. 2001. 第53回IWC事前説明会. 網走市役所. 網走市漁業協同組合会議室. 2001/6/21.
- 猪瀬侃紀. 2001. 第53回IWC報告会. 捕鯨を守る会東北支部. 仙台市中央卸売市場管理棟会議室. 2001/8/27.
- 猪瀬侃紀. 2001. 第53回IWC報告会. 牡鹿町役場. 牡鹿町公民館. 2001/8/28.
- 石川 創. 2001. 浜にうちあがったクジラの対応について. 日本教育会館一ツ橋ホール. 2001/5/13.
- 森本 稔. 2001. 国際捕鯨情勢とIWCの現状. 「日新丸」船団石巻一般公開記念講演会. 石巻グランドホテル. 2001/4/20.
- 森本 稔. 2001. 農政情報カフェ 北西太平洋鯨類捕獲調査. グリーンチャンネルアグリネット. 2001/5/28.
- 森本 稔. 2001. 政策対談 明日への架け橋 第53回国際捕鯨委員会年次会合に向けて. 朝日ニュースターTV. 2001/6/6.
- 森本 稔. 2001. 第53回IWC前説明会. 捕鯨を守る会東海・北陸支部. 大東魚類(株)会議室. 2001/6/19.
- 森本 稔. 2001. 第53回IWC報告会. 海の幸に感謝する会. 虎ノ門パストラル. 2001/8/17.
- 森本 稔. 2001. 第53回IWC報告会. 捕鯨を守る会関東甲信越支部. 東卸会館会議室. 2001/8/20.
- 森本 稔. 2001. 第53回IWC報告会. 捕鯨を守る会北海道支部. 札幌中央水産(株)会議室. 2001/8/21.
- 森本 稔. 2001. 第53回IWC報告会. 網走市役所. 縦走市漁業協同組合会議室. 2001/8/22.
- 森本 稔. 2001. 第53回IWC報告会. 太地町役場. 太地町公民館. 2001/8/28.
- 村上光由. 2001. 第53回IWC事前説明会. 九州・山口鯨協議会. 福岡市中央卸売市場会館会議室. 2001/6/14.
- 村上光由. 2001. 第53回IWC事前説明会. 捕鯨を守る会関西支部. 大阪府中央卸売市場業務管理棟大ホール. 2001/6/15.
- 村上光由. 2001. 第53回IWC事前説明会. 和田町役場. 和田町コミュニティーセンター. 2001/6/18.
- 村上光由. 2001. 第53回IWC報告会. 和田町役場. 和田町地域福祉センター. 2001/8/21.

資料

- 村上光由. 2001. 第53回IWC報告会. 捕鯨を守る会東海・北陸支部. 大東魚類(株)会議室. 2001/8/29.
- 西脇茂利. 2001. ネイチャースクール わくわくWADA公開講座 ツチヲジラと和田町との関わり. 和田町役場. 2001/8/1.
- 大隅清治. 2001. 日本における鯨類資源の利用の歴史と現状. Korea-Japan Symposium on Cetacean Research. 国立水産振興院. 釜山. 2001/2/14.
- 大隅清治. 2001. 定置漁業と捕鯨問題. 定置漁業協会. 伊東市観光会館. 2001/3/15.
- 大隅清治. 2001. これからの捕鯨はどうあるべきか. 埼玉社会問題研究会. 浦和共済会館. 2001/4/6.
- 大隅清治. 2001. 走れ! 中央情報局 豊海町を紹介するコーナー (インタビュー). RADIO CITY・中央エフエム. 2001/5/8.
- 大隅清治. 2001. くじら問題の現状と将来展望について. 海洋産業研究会特別講演会. 経団連会館. 2001/5/31.
- 大隅清治. 2001. 第53回IWC事前説明会. 捕鯨を守る会関東甲信越支部. 築地市場内東京都講堂. 2001/6/12.
- 大隅清治. 2001. 第53回IWC事前説明会. 捕鯨を守る会東海・北陸支部. 大東魚類(株)会議室. 2001/6/19.
- 大隅清治. 2001. 話題にアタック 鯨が食べたい. フジテレビ. 2001/7/8.
- 大隅清治. 2001. 第53回IWC報告会 「JARPNIIの経過報告」. 捕鯨を守る会関東甲信越支部. 東卸会館会議室. 2001/8/20.
- 大隅清治. 2001. 定置漁業と捕鯨問題. 海獣類混獲管理促進研修会. 岩手県水産技術センター. 2001/8/22.
- 大隅清治. 2001. 定置漁業と捕鯨問題. 海獣類混獲管理促進研修会. グリーンピア田老. 2001/8/23.
- 大隅清治. 2001. 第53回IWC報告会 「科学小委員会報告」. 太地町役場. 太地町公民館. 2001/8/28.
- 大隅清治. 2001. (インタビュー) 鯨特集 鯨肉の供給について. テレビ朝日. 2001/8/30.
- 大隅清治. 2001. とくダネ! 何だ? こりゃ探偵団 31年前につくられたレコード クジラの歌. フジTV. 2001/9/5.
- 大隅清治. 2001. クジラは大海原をどのように利用しているか. 地球環境財団主催シンポジウム 野生と技術のコミュニケーション. 日本教育会館大ホール. 2001/10/20.
- 大隅清治. 2001. 調査捕鯨について. 香取市校長会研修会. 佐原市公民館. 2001/11/20.
- Ohsumi, S., Pastene, L. A. 2001. TALK ON WHALE AND JAPANESE VIEW ON WHALING. ICR Meeting Room. 2001/11/21.
- 大隅清治. 2001. 生物資源としての鯨類. 山形大学整形外科研究会. 山形国際ホテル. 2001/12/8.
- 大隅清治. 2001. クジラとヒトの共存を目指して. 教員研究センター. 2001/12/13.
- 田村 力. 2001. 三井ゆりの旅の科学 カキ・クジラ・シカの秘密. CSチャンネル. 2001/2/10.
- 田村 力. 2001. 報道特集 追跡! 捕鯨をめぐる対立のウラ. TBSテレビ. 2001/7/29.
- 田村 力. 2001. 鯨の食性と魚介類の消費量. 二十一世紀の水産を考える会4月フォーラム・日本近海からどれだけ魚介類は供給できるか. 三崎魚市場大会議室. 2001/4/14.
- 田中昌一. 2001. 21世紀の水産資源管理. 平成12年度遠洋漁業関係試験研究推進会議まぐろ資源部会. もくせい会館. 2001/2/14.
- 山村和夫. 2001. 鯨資源と世界の動向. 静岡県高等学校水産教育研究会. 焼津水産高校. 2001/1/24.
- 山村和夫. 2001. 鯨のホントのはなし. WFFのクジラ料理を食べる会. 柴田書店講堂. 2001/2/16.
- 山村和夫. 2001. 鯨の生態と調査捕鯨の意義. 下関体験型観光・クジラを学ぶコース・下関観光コンベンション協会. 2001/4/23~25.
- 山村和夫. 2001. 食生活ジャーナリストの会懇談会. 虎ノ門パストラル. 2001/5/30.
- 山村和夫. 2001. クジラの特徴と日本鯨類研究所の活動. 食生活ジャーナリストの会. 2001/5/31.
- 山村和夫. 2001. 第53回IWC事前説明会. 捕鯨を守る会東北支部. 仙台市中央卸売市場管理棟会議室. 2001/6/14.
- 山村和夫. 2001. 第53回IWC事前説明会. 牡鹿町役場. 牡鹿町公民館. 2001/6/15.
- 山村和夫. 2001. 第53回IWC報告会. 捕鯨を守る会北海道支部. 札幌中央水産(株)会議室. 2001/8/21.
- 山村和夫. 2001. 第53回IWC報告会. 網走市役所. 網走市漁業協同組合会議室. 2001/8/22.
- 山村和夫. 2001. 第53回IWC報告会. 捕鯨を守る会関西支部. 大阪市中央卸売市場業務管理棟大ホール. 2001/8/24.

- 山村和夫. 2001. クジラと捕鯨. 鯨食文化体験学習セミナー「くじらを食べて考えよう in 園田学園女子大学2001」. 園田学園女子大学開学30周年記念館3階大会議室. 2001/12/9.
- Yoshida, H. 2001. Results of Japanese sighting surveys conducted in 1999 and 2000 under Japan-Korea joint research program, with special reference to distribution and seasonal movements of minke whales in the Sea of Japan. Korea-Japan Symposium on Cetacean Research. 国立水産振興院. 2001/2/14.
- 吉田英可. 2001. 日本のスナメリの系群について. 関門スナメリの会主催 スナメリフォーラム. 北九州博覧祭2001会場. 2001/8/4.
- 銭谷亮子. 2001. クジラについて. 下関体験型観光・クジラを学ぶコース・下関観光コンベンション協会. 2001/4/27.

2002年

- 坂東武治. 2002. (インタビュー) 鯨の年齢を調べる方法. TYSタヤけニュース21 調査捕鯨船入港. TYSテレビ山口. 2002/4/4.
- 藤瀬良弘. 2002. (インタビュー) 調査捕鯨とは. TYSタヤけニュース21 調査捕鯨船入港. TYSテレビ山口. 2002/4/4.
- 藤瀬良弘. 2002. 商業捕鯨再開への取組 第54回国際捕鯨委員会 (IWC) 年次会合 政策対談明日への架け橋. 朝日ニュースター. 2002/4/6.
- 藤瀬良弘. 2002. ニッポンみたまま あなたは鯨のことをどれだけ知っていますか?. CATV番組. 2002/5.
- 藤瀬良弘. 2002. 鯨と環境問題. BS23 ワールドニュース ニュースのつぼ. 2002/5/21.
- 藤瀬良弘. 2002. 生圏システム学総論 (鯨類資源と生態系の保全). 東京大学. 2002/6/14.
- 猪瀬侃紀. 2002. 第54回事前説明会. 札幌市曲メ高橋水産(株)会議室. 2002/3/5.
- 猪瀬侃紀. 2002. 第54回事前説明会. 網走市漁業協同組合会議室. 2002/3/6.
- 猪瀬侃紀. 2002. 第54回事前説明会. 名古屋市大東魚類(株)会議室. 2002/3/11.
- 石川 創. 2002. イルカ・鯨のストラレンジングとその対応. 江ノ島水族館わくわく動物セミナー生き物ふしぎ発見講座. 江ノ島水族館. 2002/6/22.
- 石川 創. 2002. いま鯨の世界で起きていること. 海・船セミナー2002企画展 鯨の世界をのぞく. 船の科学館. 2002/11/17.
- 上田真久. 2002. 特集 必見! ニッポン鯨事情. きょうの出来事. 日本テレビ. 2002/5/16.
- 松岡耕二. 2002. JARPA (南極海鯨類捕獲調査)における海洋観測. 東北大学大学院理学研究科海洋物理学グループ特別セミナー. 2001/12/12.
- 松岡耕二. 2002. スーパーニュース クジラ漂着. フジテレビ. 2002/1/22.
- 森本 稔. 2002. 商業捕鯨再開への取組 第54回国際捕鯨委員会 (IWC) 年次会合 政策対談明日への架け橋. 朝日ニュースター. 2002/4/6.
- 森本 稔. 2002. 第54回IWC報告会. 捕鯨を守る会関東甲信越支部. 築地場内厚生会館会議室. 2002/7/11.
- 村上光由. 2002. 第54回事前説明会. 牡鹿町公民館. 2002/3/6.
- 村上光由. 2002. 第54回事前説明会. 仙台市中央卸売市場管理棟会議室. 2002/3/7.
- 村上光由. 2002. 第54回事前説明会. 下関市商工業振興センター大ホール. 2002/3/11.
- 村上光由. 2002. 第54回事前説明会. 長崎市漁協会館大会議室. 2002/3/12.
- 村上光由. 2002. 第54回事前説明会. 太地町公民館. 2002/3/15.
- 村上光由. 2002. 第54回IWC報告会. 和田町役場. 和田町コミュニティーセンター. 2002/7/12.
- 西脇茂利. 2002. とくダネ! (インタビュー) 巨大マッコウクジラ14頭 救出絶望的…謎の漂着. フジテレビ. 2002/1/23.
- 西脇茂利. 2002.ズームインSUPER (インタビュー) クジラ85頭が漂着その原因は?. 日本テレビ. 2002/2/26.
- 西脇茂利. 2002. スーパーモーニング (インタビュー) なぜ増える迷いクジラ またクジラ85頭漂着暖流に乗り日本近

資料

- 海へ。テレビ朝日。2002/2/26.
- 西脇茂利。2002。ニュースの森（インタビュー）クジラを海へ返せ 救出ドキュメント。TBS。2002/2/26.
- 西脇茂利。2002。ニュースプラス1。（インタビュー）クジラが再び岸に…ナゾの生態に迫る 助けたクジラまた浅瀬。日本テレビ。2002/7/31.
- 西脇茂利。2002。ツチクジラと和田町。和田町コミュニティセンター。2002/8/1.
- 西脇茂利。2002。鯨の話 あれこれ 牡鹿・女川・雄勝三地区校長会第2回研修会。女川町生涯教育センター。2002/9/27.
- 西脇茂利。2002。鯨のことをもっと知ってみませんか 海・船セミナー2002～鯨の世界をのぞく～第1回。船の科学館三階マリタイムサルーン。2002/9/29.
- 大曲佳世。2002。世界での鯨類資源の利用状況。平成14年度第1回日本水産学会水産利用懇談会講演会。日本大学湘南校舎。2002/11/8.
- 大隅清治。2002。地球と触れよう。日本科学未来館。2002/2/2.
- 大隅清治。2002。捕鯨問題。朝日新聞西部本社会議室。2002/2/28.
- 大隅清治。2002。第54回事前説明会。東京都東卸会館会議室。2002/3/4.
- 大隅清治。2002。第54回事前説明会。和田町コミュニティセンター。2002/3/12.
- 大隅清治。2002。海の幸・鯨。ふくしま海洋科学館。2002/3/23.
- 大隅清治。2002。鯨類飼育構想。平戸市役所大会議室。2002/3/28.
- 大隅清治。2002。INFORME SEMANAL News clips。スペイン国営tveテレビ。2002/4・5.
- 大隅清治。2002。La2 Noticias 日の昇る国の春 News clips。スペイン国営tveテレビ。2002/4・5.
- 大隅清治。2002。（インタビュー）特集「下関鯨物語」。ニュースステーション。テレビ朝日。2002/5/8.
- 大隅清治。2002。（インタビュー）増えているミンククジラ 捕鯨は是か非か。ニュースステーション。テレビ朝日。2002/5/20.
- 大隅清治。2002。中村鋭一のおさいちラジオ。毎日放送ラジオ局。2002/5/25.
- 大隅清治。2002。どうなる？日本と世界の捕鯨。ジャーナルA特集 日本の鯨の行方。朝日ニュースター。2002/6/4.
- 大隅清治。2002。大調査！！なるほど日本人（インタビュー）クジラ博士に開こう！クジラのことを知っていますか？。テレビ東京。2002/6/22.
- 大隅清治。2002。第54回IWC報告会。捕鯨を守る会関東甲信越支部。築地場内厚生会館会議室。2002/7/11.
- 大隅清治。2002。IWCと捕鯨はこれからどうなるか？。下関市立大学。2002/7/15.
- 大隅清治。2002。第54回IWC報告会。捕鯨を守る会関西支部。大阪市中央卸売市場業務管理棟大ホール。2002/7/17.
- 大隅清治。2002。第54回IWC報告会。高知県庁高知市役所共催。高知市文化プラザカルポート大講義室。2002/7/18.
- 大隅清治。2002。第54回IWC報告会。長門市役所長門商工会議所。2002/7/22.
- 大隅清治。2002。第54回IWC報告会。下関市役所下関市勤労福祉会館大ホール。2002/7/23.
- 大隅清治。2002。Japanese whale population research, with special reference to scientific whaling。IOMACコロンボ。2002/7/28.
- 大隅清治。2002。IWCと捕鯨の将来を予測する。21世紀の水産を考える会主宰「クジラ問題」—日本人の合意点はあるのか—。南青山会館。2002/9/14.
- 大隅清治。2002。定期総会挨拶。因島市日立労働会館 鯨友会。2002/10/20.
- 大隅清治。2002。（インタビュー）きょうは何の日「鯨博士・奈須敬二が亡くなった日」。おもいきりテレビ。日本テレビ。2002/10/29.
- 大隅清治。2002。これからの捕鯨。春光会。春光会館。2002/12/7.
- Pastene, L. A. 2002。INFORME SEMANAL News clips。スペイン国営tveテレビ。2002/4・5.
- Pastene, L. A. 2002。La 2 Noticias 日の昇る国の春 News clips。スペイン国営tveテレビ。2002/4・5.
- 田村 力。2002。クジラを捕らないと30年後サバが消える？。アクセスNOW第54回国際捕鯨委員会年次会合報告。TVK系列。2002/6/8.

- 田中昌一. 2002. 水産資源の管理と研究. 田中昌一氏叙勲記念講演会. 虎ノ門パストラル. 2002/6/26.
- 田中昌一. 2002. イワシ・銀ムツの警告—大衆魚が「高級魚」海に何が… . サンデーモーニング. TBS. 2002/11/24.
- 山村和夫. 2002. 鯨と捕鯨問題. 北九州海友会. 門司. 2002/2/19.
- 山村和夫. 2002. 第54回事前説明会. 大阪市中央卸売市場業務管理棟16F大ホール. 2002/3/5.
- 山村和夫. 2002. 第54回事前説明会. 福岡市中央卸売市場会館会議室. 2002/3/6.
- 山村和夫. 2002. 第54回IWC報告会. 捕鯨を守る会北海道支部. 曲メ高橋水産(株)会議室. 2002/7/15.
- 山村和夫. 2002. 第54回IWC報告会. 網走市役所網走市漁業協同組合会議室. 2002/7/16.
- 山村和夫. 2002. 第54回IWC報告会. 太地町役場太地町公民館. 2002/7/22.
- 山村和夫. 2002. 第54回IWC報告会. 捕鯨を守る会東海・北陸支部. 大東魚類(株)会議室. 2002/7/23.
- 山村和夫. 2002. 鯨のからだ. 山田町立鯨と海の科学館「鯨と海の絵画コンテスト」表彰式・講演会. 2002/11/10.

2003年

- 後藤睦夫. 2003. クジラ肉に不正表示急増. ニュース10. NHK. 2003/8/14.
- 石川 創. 2003. ザ・ワイド(電話インタビュー)13メートル30トン 茨城に巨大クジラ漂着. 日本テレビ. 2003/4/2.
- 石川 創. 2003. クジラ博士の出張授業. 町田市立南第一小学校. 2003/5/30.
- 石川 創. 2003. クジラ博士の出張授業. 千葉市立稲浜小学校. 2003/6/2.
- 石川 創. 2003. クジラ博士の出張授業. 葛飾区立柴又小学校. 2003/7/8.
- 石川 創. 2003. 日本沿岸の鯨類のストランディングレコード. 第292回日本獣医畜産大学総合文化講座「ヒトと動物との新しい関係」シリーズ 日本獣医畜産大学. 2003/10/10.
- 茂越敏弘. 2003. なぜ東京湾へ 集団性強いハズが… . ニュースプラス1. 日本テレビ. 2003/6/5.
- 茂越敏弘. 2003. ひん死のクジラ 東京湾で大追跡. スーパーニュース. フジテレビ. 2003/6/5.
- 茂越敏弘. 2003. 死亡を確認 迷子のクジラ黒潮に乗って.ズームイン!! SUPER. 日本テレビ. 2003/6/6.
- 森本 稔. 2003. 捕鯨の再開に向けて. ご存じですか生活ミニ情報. 日本テレビ. 2003/5/30.
- 森本 稔. 2003. 第55回国際捕鯨委員会. 政策対談明日への架け橋. 朝日ニュースター. 2003/6/7.
- 森本 稔. 2003. (インタビュー)IWC総会 捕鯨VS反捕鯨 対立深まるIWC. ニュース. NHK. 2003/6/16.
- 森本 稔. 2003. IWC 鯨の保存強化を可決. おはよう日本. NHK. 2003/6/17.
- 森本 稔. 2003. (インタビュー)鯨の保存強化決議案を可決. WORLD ニュースアワー BSニュース50. NHKBS-7. 2003/6/17.
- 森本 稔. 2003. IWC総会 鯨保護の強化打ち出す. おはよう日本. NHK. 2003/6/20.
- 森本 稔. 2003. 第55回IWC報告会. 牡鹿町公民館. 2003/7/16.
- 森本 稔. 2003. 第55回IWC報告会. 仙台市中央卸売市場管理棟会議室. 2003/7/22.
- 村上光由. 2003. 第55回IWC事前説明会. 下関市役所 下関市勤労福祉会館大ホール. 2003/4/3.
- 村上光由. 2003. 第55回IWC事前説明会. 長門市役所 長門市商工会議所会議室. 2003/4/4.
- 村上光由. 2003. 第55回IWC事前説明会. 捕鯨を守る会北海道支部 高橋水産(株)会議室. 2003/4/14.
- 村上光由. 2003. 第55回IWC事前説明会. 釧路市役所 くしろ水産センター会議室. 2003/4/15.
- 村上光由. 2003. 商業捕鯨再開の道厳しく. ニュースプラス1. 日本テレビ. 2003/6/18.
- 村上光由. 2003. (電話インタビュー)第55回国際捕鯨委員会年次会合. ニュースパレード 文化放送. 2003/6/19.
- 村上光由. 2003. (インタビュー)捕るな・食べるな!国際捕鯨委員会で日本完敗. とくダネ!フジテレビ. 2003/6/20.
- 村上光由. 2003. 第55回IWC報告会. 牡鹿町公民館. 2003/7/16.
- 村上光由. 2003. 第55回IWC報告会. 仙台市中央卸売市場管理棟会議室. 2003/7/22.
- 西脇茂利. 2003. ツチクジラと和田町. ときどき「田舎暮らし」…ネイチャースクールわくわくWADA. 花の宿安田大広間. 2003/8/3.
- 西脇茂利. 2003. クジラ博士の出張授業. 那覇市立石嶺小学校. 2003/10/22.

資料

- 大曲佳世. 2003. 第55回国際捕鯨委員会. 政策対談明日への架け橋. 朝日ニュースター. 2003/6/7.
- 大隅清治. 2003. IWCの今後とこれからの捕鯨. 東京神田ロータリークラブグランドパレスホテル. 2003/2/6.
- 大隅清治. 2003. 第55回IWC事前説明会. 捕鯨を守る会関東甲信越支部. 中央魚類(株)第一会議室. 2003/4/8.
- 大隅清治. 2003. 第55回IWC事前説明会. 牡鹿町役場. 牡鹿町公民館. 2003/4/10.
- 大隅清治. 2003. 総合学習 クジラについて学ぼう—クジラ博士の出張授業—. 船橋市立若松小学校. 2003/3/12.
- 大隅清治. 2003. 入社を祝う. 共同船舶株式会社. 2003/4/1.
- 大隅清治. 2003. NHKジュニアスペシャル 海 知られざる世界 第1集 クジラだけが知っている. NHK教育テレビ. 2003/4/12.
- 大隅清治. 2003. 第55回IWC事前説明会. 和田町役場. 和田町コミュニティーセンター. 2003/4/14.
- 大隅清治. 2003. 第55回IWC事前説明会. 高知市役所. 城西館太陽コンベンションホール. 2003/4/18.
- 大隅清治. 2003. これからの捕鯨. 長門大津くじら郷土料理コンクール・講演会. 大正館. 2003/4/21.
- 大隅清治. 2003. 総合学習 クジラについて学ぼう—クジラ博士の出張授業—. 青山学院初等部. 2003/7/4.
- 大隅清治. 2003. 黒船来航当時の日本近海捕鯨の日米比較. 横浜開港150周年プレ・イベント 何が日本を開国させたか. パシフィコ横浜アネックスホール. 2003/7/13.
- 大隅清治. 2003. 第55回IWC報告会. 中央魚類(株)第一会議室. 2003/7/14.
- 大隅清治. 2003. 捕鯨の伝統とクジラの食文化を守ろう. 第5回ジャパンインターナショナル・シーフードショー第3回 Save the Sea シンポジウム. 東京ビックサイト内セミナールーム. 2003/7/18.
- 大隅清治. 2003. 鯨類資源の合理的利用と管理のための調査研究. インドネシア海事漁業局 ジャカルタ. 2003/10/6.
- 大隅清治. 2003. 東南アジアにおける鯨類. インドネシア海事漁業局. ジャカルタ. 2003/10/6.
- 大隅清治. 2003. 日本における鯨類資源調査研究. インドネシア漁業研究センター. ジャカルタ. 2003/10/7.
- 大隅清治. 2003. 日本はなぜ捕鯨にこだわるのか. 青森魚食文化協会. 青森ホテル. 2003/10/28.
- 大隅清治. 2003. 東南アジアの鯨類について. 海洋大学海鷹祭. 東京海洋大学品川キャンパス. 2003/11/2.
- 大隅清治. 2003. 「鯨楽句談」—能登の海物語—パネリスト参加 (能都町のクジラを活かした活動への提言). くじらフォーラム. 能登北辰高等学校. 2003/11/8.
- Pastene, L. A. 2003. Manejo y conservacion de las grandes ballenas en el contexto de la Comision Ballenera Internacional (CBI)— incluyendo la posicion de Japon en la CBI—. チリの外務省 (鯨と捕鯨問題検討グループ). Santiago, Chile. 2003/10/28.
- Pastene, L. A. 2003. Manejo y conservacion de las grandes ballenas en el contexto de la Comision Ballenera Internacional (CBI)— incluyendo la posicion de Japon en la CBI—. チリの水産庁. Valparaiso, Chile. 2003/10/30.
- 山村和夫. 2003. 第55回IWC事前説明会. 九州・山口鯨協議会. 福岡市中央卸売市場会館会議室. 2003/4/2.
- 山村和夫. 2003. 第55回IWC事前説明会. 牡鹿町役場. 牡鹿町公民館. 2003/4/10.
- 山村和夫. 2003. 第55回IWC事前説明会. 太地町役場. 太地町公民館. 2003/4/15.
- 山村和夫. 2003. 第55回IWC事前説明会. 捕鯨を守る会東海・北陸支部. 名古屋市中央卸売市場大東魚類(株)会議室. 2003/4/16.
- 山村和夫. 2003. 第55回IWC事前説明会. 捕鯨を守る会関西支部. 大阪市中央卸売市場業務管理棟16F大ホール. 2003/4/17.
- 山村和夫. 2003. クジラと共に生きるには?. 海洋科学技術センター横浜研究所地球情報館公開セミナー. 海洋科学技術センター横浜研究所地球情報館. 2003/5/17.
- 山村和夫. 2003. 第55回IWC報告会. 太地町公民館. 2003/7/14.
- 山村和夫. 2003. 第55回IWC報告会. 名古屋市中央卸売市場内大東魚類(株)会議室. 2003/7/15.
- 山村和夫. 2003. 第55回IWC報告会. 曲メ高橋水産(株)会議室. 2003/7/22.
- 山村和夫. 2003. 第55回IWC報告会. くしろ水産センター会議室. 2003/7/23.
- 山村和夫. 2003. 第55回IWC報告会. 函館水産物地方卸売市場. 2003/7/23.
- 銭谷亮子. 2003. クジラ博士の出張授業. 名古屋市立常磐小学校. 2003/6/11.

銭谷亮子. 2003. クジラ博士の出張授業. 大阪市立南港光小学校. 2003/6/12.

銭谷亮子. 2003. クジラ博士の出張授業. 宿毛市立山奈小学校. 2003/10/10.

2004年

後藤睦夫. 2004. クジラ博士の出張授業. 横浜市立荏田西小学校. 2004/1/22.

後藤睦夫. 2004. クジラ博士の出張授業. 唐桑町立唐桑小学校. 2004/6/15.

後藤睦夫. 2004. クジラ博士の出張授業. 佐世保市立木風小学校. 2004/9/10.

畑中 寛. 2004. NHK ディベートアワー「海の恵みをどう守るか」. NHK. 2004/4/25.

石川 創. 2004. クジラ博士の出張授業. 生駒市立鹿の台小学校. 2004/6/24.

石川 創. 2004. クジラ博士の出張授業. 横浜市立駒林小学校. 2004/7/8.

石川 創. 2004. 親子で行くクジラ博士のサマースクール. 和田町. 2004/8/6~7.

石川 創. 2004. クジラ博士の出張授業. 成城学園初等小学校. 2004/9/14.

石川 創. 2004. ストランディングレコードの現状と将来. シンポジウム「海産哺乳類ストランディングネットワーク構築に向けて」. 国立科学博物館. 2004/8/30~31.

石川 創. 2004. クジラ博士の出張授業. 逗子市立久木中学校. 2004/10/7.

石川 創. 2004. クジラ博士の出張授業. 東京学芸大学附属世田谷小学校. 2004/10/29.

石川 創. 2004. クジラ博士の出張授業. 杉並区立南伊豆健康学園. 2004/11/27.

村瀬弘人. 2004. 空間的な視点から水産資源変動を考えると…—鯨類研究における空間解析フロントライン. 北海道大学水産学部大学院海洋環境情報計測学特論特別講演. 北海道大学. 2004/10/26.

西脇茂利. 2004. クジラ博士の出張授業. 市川市立若宮小学校. 2004/1/16.

西脇茂利. 2004. クジラ博士の出張授業. 仙台市立将監小学校. 2004/2/26.

西脇茂利. 2004. クジラ博士の出張授業. 上野原町立甲東小学校. 2004/3/9.

西脇茂利. 2004. クジラ博士の出張授業. 世田谷区富士中学校. 2004/6/3.

西脇茂利. 2004. クジラ博士の出張授業. 藤井寺西小学校. 2004/6/9.

西脇茂利. 2004. ウェークアップ 捕鯨は日本文化. 日本テレビ. 2004/7/24.

西脇茂利. 2004. クジラ博士の出張授業. 静岡市立長田西小学校. 2004/7/24.

西脇茂利. 2004. クジラ博士の出張授業. 東久留米市立第一小学校. 2004/9/3.

西脇茂利. 2004. クジラ博士の出張授業. 泉佐野市立長南小学校. 2004/10/5.

西脇茂利. 2004. クジラ博士の出張授業. 大浦町立大浦小学校. 2004/10/12.

大隅清治. 2004. NHK ディベートアワー「海の恵みをどう守るか」. NHK. 2004/4/25.

大隅清治. 2004. クジラ博士の出張授業. 私立横浜創英中学高等学校. 2004/5/15.

大隅清治. 2004. クジラ博士と研究発表. 月島第二小学校. 2004/10/21.

大隅清治. 2004. 日本捕鯨の南氷洋での展開. 虎ノ門パストラル. 2004/12/2.

大隅清治. 2004. クジラとヒトとの関係. 国立科学博物館. 2004/12/26.

大谷誠司. 2004. クジラ博士の出張授業. 江戸川区立清新第一小学校. 2004/7/1.

大谷誠司. 2004. クジラ博士の出張授業. 杉並区立荻窪小学校. 2004/9/24.

大谷誠司. 2004. クジラ博士の出張授業. 桑名市立藤ヶ丘小学校. 2004/9/30.

パステネ, L. A. 2004. 大型鯨類の管理のためのDNA解析の利用日本鯨類研究所における具体例. マゼラン大学. 2004/3/17.

パステネ, L. A. 2004. IWCによる大型鯨類の管理と捕鯨に関する日本の立場. マゼラン大学. 2004/3/18.

田村 力. 2004. クジラ博士の出張授業. 京都府平盛小学校. 2004/2/24.

田村 力. 2004. クジラ博士の出張授業. 中野区立西中野小学校. 2004/5/28.

田村 力. 2004. クジラ博士の出張授業. 高知大学教育学部附属小学校. 2004/11/5.

資料

銭谷亮子. 2004. クジラ博士の出張授業. 室蘭市立水元小学校. 2004/7/13.

2005年

藤瀬良弘. 2005. クジラ博士の出張授業. 静岡市立末広中学校. 2005/3/10.

後藤睦夫. 2005. クジラ博士の出張授業. 名取市立高館小学校. 2005/6/16.

後藤睦夫. 2005. クジラ博士の出張授業. 仙台市立寺岡小学校. 2005/6/17.

後藤睦夫. 2005. クジラ博士の出張授業. 豊田市立広川台小学校. 2005/12/13.

畑中 寛. 2005. 最近の捕鯨をめぐる動き. 第2期南極海鯨類捕獲調査船団出港式記念講演会. シーモールパレス. 2005/11/7.

石川 創. 2005. アツアツ なるほどんぶり. 週刊こどもニュース. NHK総合. 2005/1/29.

石川 創. 2005. クジラ博士の出張授業. 豊島区立目白小学校. 2005/2/3.

石川 創. 2005. (インタビュー) 伊豆大島 体長10メートルのクジラ. ニュースプラス1. 日本テレビ. 2005/2/21.

石川 創. 2005. クジラ博士の出張授業. 所沢市立北野小学校. 2005/2/26.

石川 創. 2005. クジラ博士の出張授業. 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校. 2005/7/5.

石川 創. 2005. 親子で行くクジラ博士のサマースクール. 千葉県和田町. 2005/8/6~7.

石川 創. 2005. クジラ博士の出張授業. 北九州市立藤木小学校. 2005/9/29.

石川 創. 2005. クジラ博士の出張授業. 下関市立吉田小学校. 2005/9/30.

上田真久. 2005. クジラ博士の出張授業. 瀬戸内市立国府小学校. 2005/2/22.

小西健志. 2005. クジラ博士の出張授業. 横浜市立野庭中学校. 2005/2/8.

松岡耕二. 2005. クジラ博士の出張授業. 市川市立宮久保小学校. 2005/7/14.

村瀬弘人. 2005. クジラ博士の出張授業. 練馬区立上石神井小学校. 2005/9/7.

西脇茂利. 2005. クジラ博士の出張授業. 釧路市立芦野小学校. 2005/6/28.

西脇茂利. 2005. クジラ博士の出張授業. 釧路市立桜ヶ丘小学校. 2005/6/28.

西脇茂利. 2005. クジラについて. FM横浜. 2005/7/25.

西脇茂利. 2005. クジラ博士の出張授業. 佐世保市立中里小学校. 2005/8/18.

大隅清治. 2005. 何故日本は南氷洋捕鯨に生き残れたか?. 第4回日本伝統鯨地域サミット. 下関海峡メッセ. 2005/5/15.

大隅清治. 2005. (インタビュー) 極寒の海で流氷に閉ざされたシャチ. ニュースプラス1. 日本テレビ. 2005/2/8.

大隅清治. 2005. (インタビュー) 北海道知床 哀れシャチたちは… . ニュースプラス1. 日本テレビ. 2005/2/9.

大隅清治. 2005. クジラと人間社会. 名古屋港ポートビル. 2005/2/12.

大隅清治. 2005. クジラ博士の出張授業. 目黒区立第8中学校. 2005/2/15.

大隅清治. 2005. クジラ博士の出張授業. 大阪府立聾学校. 2005/2/16.

大隅清治. 2005. シャチ公開1周年記念講演 クジラと人間社会. 名古屋港水族館. 2005/2/12.

大隅清治. 2005. クジラ博士の出張授業. 琉球大学附属小学校. 2005/7/23.

大隅清治. 2005. 鯨類の飼育と調査研究の歴史. 沼津市立図書館. 2005/11/12.

大谷誠司. 2005. クジラ博士の出張授業. 千葉市立幕張東小学校. 2005/1/12.

大谷誠司. 2005. アツアツ なるほどんぶり. 週刊こどもニュース. NHK総合. 2005/1/29.

Pastene L. A. 2005. Management and conservation of large whales in the context of the International Whaling Commission (IWC). Discussion on whale and whaling. Chile Embassy. Tokyo. 2005/6/17.

田村 力. 2005. クジラ博士の出張授業. 千葉県君津清和中学校. 2005/3/15.

田村 力. 2005. クジラ博士の出張授業. 三重大学教育学部附属小学校. 2005/12/1.

田村 力. 2005. クジラ博士の出張授業. 津市立白塚小学校. 2005/12/2.

2006年

- 藤瀬良弘. 2006. 第58回IWC年次会合報告会. 「東北」捕鯨を守る会. 仙台市卸町会館第一会議室2階. 2006/7/7.
- 藤瀬良弘. 2006. 第58回IWC年次会合報告会. 石巻市役所. 石巻市牡鹿ホエールランド広場. 2006/7/9.
- 藤瀬良弘. 2006. クジラ博士の出張授業. 札幌市立もみじ台南小学校. 2006/9/1.
- 藤瀬良弘. 2006. クジラ博士の出張授業. 石狩市立緑苑台小学校. 2006/9/2.
- 藤瀬良弘. 2006. クジラ博士の出張授業. 唐津市立長松小学校. 2006/10/10.
- 藤瀬良弘. 2006. クジラ博士の出張授業. 大田区立おなづか小学校. 2006/10/16.
- 後藤睦夫. 2006. クジラ博士の出張授業. 太地町立太地中学校. 2006/1/13.
- 後藤睦夫. 2006. クジラ博士の出張授業. 川崎市立下沼部小学校. 2006/1/31.
- 後藤睦夫. 2006. クジラ博士の出張授業. 盛岡市立太田東小学校. 2006/8/12.
- 畑中 寛. 2006. (パネラー) 捕獲調査について. 第5回日本伝統捕鯨地域サミット (太地). 旧グリーンピア南紀「多目的ホール」. 2006/4/23.
- 畑中 寛. 2006. 第58回IWC年次会合報告会. 「関東・甲信越」捕鯨を守る会. 東京都中央魚類(株)会議室2階. 2006/7/4.
- 畑中 寛. 2006. 第58回IWC年次会合報告会. 南房総市役所. 南房総市和田公民館1F体育館. 2006/7/5.
- 服部則宜. 2006. 第58回IWC年次会合報告会. 太地町役場. 太地町公民館. 2006/7/6.
- 服部則宜. 2006. 第58回IWC年次会合報告会. 「東海・北陸」捕鯨を守る会. 名古屋市中部水産(株)会議室3階. 2006/7/7.
- 服部則宜. 2006. 第58回IWC年次会合報告会. 網走市役所. 網走市漁業協同組合会議室. 2006/7/10.
- 服部則宜. 2006. 第58回IWC年次会合報告会. 「北海道」捕鯨を守る会. 丸水札幌中央水産(株)会議室3階. 2006/7/11.
- 石川 創. 2006. 鯨は増えている?. 土曜NEWSファイル. テレビ西日本. 2006/6/17.
- 石川 創. 2006. クジラ博士の出張授業. 四万十市立中村小学校. 2006/6/30.
- 石川 創. 2006. クジラ博士の出張授業. 高知市立横浜新町小学校. 2006/7/1.
- 石川 創. 2006. クジラ博士の出張授業. 目黒区緑が丘小学校. 2006/9/30.
- 石川 創. 2006. 親子で行くクジラ博士のサマースクール. 千葉県和田町. 2006/8/6~7.
- 石川 創. 2006. 捕鯨反対派に言いたいことは?. たかじんのそこまで言って委員会. 読売テレビ. 2006/8/13.
- 石川 創. 2006. クジラ博士の出張授業. 品川区立御殿山小学校. 2006/10/20.
- 石川 創. 2006. ほのぼのワイド中村こずえの smile for you. SBS ラジオ. 2006/12/13.
- 上田真久. 2006. クジラ博士の出張授業. 横浜市立平沼小学校. 2006/7/10.
- 木和田広司. 2006. クジラ博士の出張授業. 目黒星美学園中学校. 2006/2/14.
- 松岡耕二. 2006. (電話インタビュー) 鹿児島・高速船が鯨に衝突か. スーパーモーニング. テレビ朝日. 2006/4/11.
- 松岡耕二. 2006. 洋上における鯨種判定. 東京海洋大学海鷹丸専門講習. 海鷹丸 (東京・豊海). 2006/11/24.
- 茂越敏弘. 2006. クジラ博士の出張授業. 東京学芸大学附属竹早小学校. 2006/1/19.
- 茂越敏弘. 2006. クジラ博士の出張授業. 江戸川区立第五葛西小学校. 2006/9/9.
- 森 光代. 2006. 南極海のオキアミとその主要捕食者に関する初歩的な複数種モデル. 数理 (生態) モデル勉強会. 池袋サンシャイン54階会議室. 2006/8/5.
- 村上光由. 2006. クジラの肉はなぜ余る?. ムーブ!. 朝日放送. 2006/3/15.
- 村瀬弘人. 2006. クジラ博士の出張授業. 真狩村立真狩中学校. 2006/9/19.
- 村瀬弘人. 2006. クジラ博士の出張授業. 倶知安町立西小学校樺山分校. 2006/9/20.
- 西脇茂利. 2006. クジラ博士の出張授業. 宇治市立笠取第二小学校. 2006/6/22.
- 西脇茂利. 2006. クジラ博士の出張授業. 京都朝鮮第二初級学校. 2006/6/23.
- 西脇茂利. 2006. クジラ博士の出張授業. 福島県立盲学校. 2006/7/14.
- 西脇茂利. 2006. クジラ博士の出張授業. 成蹊小学校. 2006/7/19.

資料

- 大隅清治. 2006. 恵比寿としてのクジラ. サークス'85第101回例会. 樽一(新宿). 2006/1/21.
- 大隅清治. 2006. 人のクジラとの付き合い方. 国際シンポジウム「鯨学と海牛学, 進歩の現況」. 沖縄・万国津梁館. 2006/2/12.
- 大隅清治. 2006. どうなる日本の鯨文化. 読売ニュースナビ. 読売新聞CS放送. 2006/7/4.
- 大隅清治. 2006. 日本における鯨学の系譜. 日本セトロジー研究会. 国立科学博物館分館. 2006/7/8.
- 大隅清治. 2006. 第58回IWC年次会合報告会. 「関西」捕鯨を守る会. 大阪中央卸売市場管理棟会議室13階. 2006/7/10.
- 大隅清治. 2006. 第58回IWC年次会合報告会. 九州・山口鯨協議会. 福岡市中央卸売市場鮮魚会館会議室2階. 2006/7/11.
- 大隅清治. 2006. クジラ博士の出張授業. 神奈川県立中原養護学校. 2006/8/24.
- 大隅清治. 2006. 「くじらの博物館」と私. 古式捕鯨発祥400周年記念「太地浦くじら祭」記念講演会. 太地町公民館. 2006/11/3.
- 大谷誠司. 2006. クジラ博士の出張授業. 市川市立富美浜小学校. 2006/6/7.
- 大谷誠司. 2006. クジラ博士の出張授業. 新潟市立柏崎翔洋中等教育学校. 2006/7/7.
- 大谷誠司. 2006. クジラ博士の出張授業. 大阪市立南小学校. 2006/12/1.
- 田村 力. 2006. クジラ博士の出張授業. 小諸市立野岸小学校. 2006/1/24.
- 田村 力. 2006. クジラ博士の出張授業. 和歌山市立小倉小学校. 2006/2/3.
- 田村 力. 2006. クジラ博士の出張授業. 大阪市立生魂小学校. 2006/10/27.
- 田村 力. 2006. ハイビジョン特集「菅原文太が行く 人と鯨のたどった道」. NHKBS-Hi. 2006/10/31.
- 田村 力. 2006. クジラ博士の出張授業. 鹿児島市立大瀧小学校. 2006/11/22.
- 田村 力. 2006. ETV特集「菅原文太 長ぐつの旅 人と鯨のたどった道」. NHK教育. 2006/12/16.
- 安永玄太. 2006. クジラ博士の出張授業. つくば市立栄小学校. 2006/11/15.
- 2007年
- 藤瀬良弘. 2007. ウェークアップ! ぷらす. 日本テレビ(読売テレビ制作). 2007/6/23.
- 藤瀬良弘. 2007. 第59回IWC年次会合報告会. 南房総市役所. 和田コミュニティーセンター. 2007/6/27.
- 藤瀬良弘. 2007. クジラ博士の出張授業. 札幌市立東橋小学校. 2007/9/18.
- 藤瀬良弘. 2007. クジラ博士の出張授業. 室蘭市立常磐小学校. 2007/9/19.
- 藤瀬良弘. 2007. クジラ博士の出張授業. 和泊町立大城小学校. 2007/12/19.
- 後藤睦夫. 2007. クジラ博士の出張授業. 横浜市立山下小学校. 2007/1/22.
- 後藤睦夫. 2007. クジラ博士の出張授業. 三島市立佐野小学校. 2007/2/1.
- 後藤睦夫. 2007. クジラ博士の出張授業. 石巻市立蛇田小学校. 2007/6/20.
- 後藤睦夫. 2007. クジラ博士の出張授業. 石巻市立雄勝小学校. 2007/6/20.
- 後藤睦夫. 2007. クジラ博士の出張授業. 石巻市立向陽小学校. 2007/6/21.
- 後藤睦夫. 2007. クジラ博士の出張授業. 石巻市立鮎川小学校. 2007/6/21.
- 畑中 寛. 2007. 第59回IWC年次会合報告会. 「関東・甲信越」捕鯨を守る会. 中央魚類(株)会議室2階(築地). 2007/6/21.
- 畑中 寛. 2007. 鯨類の資源状況と国際政治. 9日会. 日本プレスセンタービル. 2007/7/25.
- 石川 創. 2007. スーパーJチャンネル. テレビ朝日. 2007/2/20.
- 石川 創. 2007. ムーブ. 朝日放送. 2007/2/21.
- 石川 創. 2007. ストランディング〜クジラの座礁に向き合う人々〜. ガリレオチャンネル. 東京MXテレビ. 2007/5/13・20.
- 石川 創. 2007. クジラ食べても…反捕鯨派微妙に異なる立場. 筑紫哲也NEWS23. TBS. 2007/5/29.
- 石川 創. 2007. 鯨類の座礁・漂着とその取り扱い〜その鯨, 助けるべきか否か〜. 函館くじら普及協議会連続講座《鯨を学ぶ》. 函館魚市場大会議室. 2007/5/31.

- 石川 創. 2007. クジラ博士の出張授業. 環境学習研究会. 大田区立九原小学校. 2007/7/12.
- 石川 創. 2007. クジラ博士の出張授業. 香川県歴史博物館. 2007/7/29.
- 石川 創. 2007. 鯨類学. 日本野生動物医学会サマーショートコース. 日本獣医生命科学大学牧心セミナーハウス. 2007/8/21.
- 石川 創. 2007. CUBE スペシャル鯨を食べていたことを知っていますか～捕鯨ウォーズ～. テレビ西日本. 2007/8/25.
- 石川 創. 2007. 鯨類のストランディングとその取り扱い. 特別展「鯨」連携シンポジウムストランディングが海と鯨と人をつなぐ. 北海道開拓記念館. 2007/9/1.
- 石川 創. 2007. クジラ博士の出張授業. 鎌倉市立御成小学校. 2007/10/26.
- 上田真久. 2007. CUBE スペシャル鯨を食べていたことを知っていますか～捕鯨ウォーズ～. テレビ西日本. 2007/8/25.
- 森本 稔. 2007. ウェークアップ! ぷらす. 日本テレビ (読売テレビ制作). 2007/6/23.
- 村瀬弘人. 2007. クジラ博士の出張授業. 香芝市立香芝北中学校. 2007/12/15.
- 中山博文. 2007. 第59回IWC年次会合報告会. 東海・北陸捕鯨を守る会. 中部水産(株)会議室3階 (名古屋). 2007/6/22.
- 中山博文. 2007. 第59回IWC年次会合報告会. 太地町役場. 太地町公民館. 2007/6/22.
- 西脇茂利. 2007. JARPAII 第2年次調査を終えて. 水産ジャーナリストの会研究会. 大日本水産会会議室. 2007/4/23.
- 西脇茂利. 2007. ネイチャースクールわくわくWADA“くじら学”. 千葉県南房総市. 2007/7/15～17.
- 西脇茂利. 2007. 鯨山に登り, 人山を眺める. ウーマンズフォーラム魚“海と魚と食文化講座”小泉塾～クジラから世界が見える～. 全日本海員組合大会議室. 2007/8/4.
- 西脇茂利. 2007. クジラ博士の出張授業. 高岡市立南条小学校. 2007/12/1.
- 大曲佳世. 2007. 世界のクジラ利用. 第3回東京海洋大学海洋文化フォーラム. 東京海洋大学品川キャンパス楽水会館 1F 鈴木善幸ホール. 2007/6/13.
- 大隅清治. 2007. クジラ博士の出張授業. 金沢市立浅野川小学校. 2007/2/9.
- 大隅清治. 2007. 報道ステーション. テレビ朝日. 2007/3/13.
- 大隅清治. 2007. スーパーモーニング. テレビ朝日. 2007/3/14.
- 大隅清治. 2007. “大暴れ”クジラ迷走20 km北の湾へ. スーパーJチャンネル. テレビ朝日. 2007/3/14.
- 大隅清治. 2007. めざましテレビ. フジテレビ. 2007/6/4.
- 大隅清治. 2007. 横浜市長・中田宏のDREAM RUNNER. ニッポン放送. 2007/6/25.
- 大隅清治. 2007. 第59回IWC年次会合報告会. 北海道捕鯨を守る会. 曲メ高橋水産(株)会議室4階 (札幌). 2007/6/28.
- 大隅清治. 2007. 第59回IWC年次会合報告会. 釧路市役所. くしろ水産センター3階会議室. 2007/6/29.
- 大隅清治. 2007. なんで鯨の肉が売っているの. トコトンハテナ. テレビ東京. 2007/7/1.
- 大隅清治. 2007. 横浜市長・中田宏のDREAM RUNNER. ニッポン放送. 2007/7/2.
- 大隅清治. 2007. クジラ博士の出張授業. 全国鯨フォーラム2007いしのまき. 石巻市河北総合センタービックバン. 2007/7/7.
- 大隅清治. 2007. 恵比寿としてのクジラ—鯨類利用の過去, 現在そして将来. かわさき市民アカデミー自然科学コース. 川崎市生涯学習センター. 2007/7/18.
- 大隅清治. 2007. 「天才画家の肖像—江戸っ子浮世絵師参上・歌川国芳」. NHK BSハイビジョン. 2007/11/7.
- 大隅清治. 2007. クジラ博士の出張授業. 平内町立西平内中学校. 2007/12/5.
- 大隅清治. 2007. 宮城・名取市 砂浜に巨大クジラ. リアルタイム. 日本テレビ. 2007/12/10.
- 大隅清治. 2007. (電話インタビュー) 浅瀬で衰弱し… 巨大クジラ漂流4時間半. スーパーJチャンネル. テレビ朝日. 2007/12/10.
- 大谷博美. 2007. 第59回IWC年次会合報告会. 東北捕鯨を守る会. 卸町会館3階第一会議室 (仙台). 2007/6/22.
- 大谷博美. 2007. 第59回IWC年次会合報告会. 石巻市役所. 牡鹿公民館 (石巻). 2007/6/23.
- 大谷誠司. 2007. クジラ博士の出張授業. 世田谷区立二子玉川小学校. 2007/2/16.

資料

- Pastene, L. A. 2007. クジラ博士の出張授業. コレージオ・ブラジル・ジャパン (名古屋). 2007/10/19.
- 勢登啓三. 2007. 第59回IWC年次会合報告会. 関西捕鯨を守る会. 中央卸売市場管理棟会議室13階 (大阪). 2007/6/25.
- 勢登啓三. 2007. 第59回IWC年次会合報告会. 九州・山口鯨協議会. 中央卸売市場鮮魚会館会議室2階 (福岡). 2007/6/26.
- 田村 力. 2007. イルカで漁業被害?. 今日感テレビ. RKB毎日放送. 2007/3/14.
- 田村 力. 2007. クジラ博士の出張授業. 宮崎大学教育文化学部附属小学校. 2007/6/10.
- 田村 力. 2007. ハイビジョン特集「菅原文太が行く 人とクジラのたどった道」(再放送). NHK BS-Hi. 2007/6/19.
- 田村 力. 2007. ムーブ2007「海が変だ～九州近海が亜熱帯化の兆し～」. RKB毎日. 2007/6/24.
- 田村 力. 2007. CUBEスペシャル 鯨を食べていたことを知っていますか～捕鯨ウォーズ～. テレビ西日本. 2007/8/25.
- 安永玄太. 2007. クジラ博士の出張授業. たつの市立新宮中学校. 2007/1/25.
- 安永玄太. 2007. クジラ博士の出張授業. 大阪市立晴明丘小学校. 2007/11/9.
- 2008年
- 藤瀬良弘. 2008. クジラ博士の出張授業. 高槻市立日吉台小学校. 2008/2/5.
- 藤瀬良弘. 2008. 鯨類捕獲調査が目指すもの. 東京海洋大大学院講義. 東京海洋大学品川キャンパス. 2008/1/26.
- 藤瀬良弘. 2008. 第60回IWC年次会合報告会. 石巻市役所. 石巻市牡鹿公民館. 2008/7/17.
- 藤瀬良弘. 2008. 第60回IWC年次会合報告会. 網走市役所. 網走市漁業協同組合会議室. 2008/7/23.
- 藤瀬良弘. 2008. クジラ博士の出張授業. 札幌市立三角小学校. 2008/12/3.
- 藤瀬良弘. 2008. クジラ博士の出張授業. 札幌市立南月寒小学校. 2008/12/4.
- 藤瀬良弘. 2008. クジラ博士の出張授業. 札幌市立定山溪小学校. 2008/12/5.
- 後藤睦夫. 2008. クジラ博士の出張授業. 下関市立向山小学校. 2008/10/1.
- 飯野靖夫. 2008. 反捕鯨団体が告発 クジラの肉自宅へ配達. スーパーJチャンネル. テレビ朝日. 2008/5/15.
- 石川 創. 2008. グリーンピースが告発 調査捕鯨“横流し”疑惑. 告発団体に“窃盗疑惑”も. スーパーモーニング. テレビ朝日. 2008/5/16.
- 石川 創. 2008. 「調査捕鯨・鯨肉持ち出し問題」を検証する. CS放送日本文化チャンネル桜. 2008/5/19.
- 石川 創. 2008. 日本の鯨類捕獲調査への妨害活動. 比較法文化学会特別会合「クジラ資源利用の将来と食料問題」. 大日本水産会会議室. 2008/5/29.
- 石川 創. 2008. クジラ博士の出張授業. 私立湘南学園小学校. 神奈川. 2008/7/3.
- 石川 創. 2008. クジラ博士の出張授業. 福島市立立子山中学校. 2008/7/4.
- 石川 創. 2008. クジラ博士の出張授業. 大田区立久が原小学校. 2008/11/27.
- 石川 創. 2008. 捕鯨と動物福祉—鯨類捕獲調査の倫理的側面. 第6回サテライトシンポジウム「鯨類研究の frontline から」. 東海大学代々木校舎. 2008/11/30.
- 石川 創. 2008. 我が国調査捕鯨に対する妨害の現状. 国際シンポジウム「海上の安全保障と漁業」. 三田共用会議所. 2008/12/1.
- 石川 創. 2008. “殺し屋”女優が過激抗議船に 調査捕鯨側は猛反発. イブニング5. TBS. 2008/12/3.
- 小西健志. 2008. クジラ博士の出張授業. 越谷市立千間台小学校. 2008/2/8.
- 小西健志. 2008. クジラ博士の出張授業. 私立明治学園小学校. 福岡. 2008/6/30.
- 小西健志. 2008. クジラ博士の出張授業. 私立百合学院小学校. 兵庫. 2008/11/12.
- 茂越敏弘. 2008. クジラ博士の出張授業. 横浜市立もえぎ野小学校. 2008/1/29.
- 茂越敏弘. 2008. クジラ博士の出張授業. 世田谷区立等々力小学校. 2008/10/7.
- 茂越敏弘. 2008. クジラ博士の出張授業. 愛知教育大学附属名古屋小学校. 2008/10/30.
- 森本 稔. 2008. 反捕鯨国の唱える論理以上にクジラを大切にしてきた日本の捕鯨文化と調査捕鯨の意義. CS放送日

本文化チャンネル桜. 2008/4/9.

- 森本 稔. 2008. 第60回IWC年次会合報告会. 「関東・甲信越」捕鯨を守る会. 中央魚類(株)会議室 (東京). 2008/7/10.
- 森本 稔. 2008. 第60回IWC年次会合報告会. 下関市役所. 下関市勤労福祉会館4F. 2008/7/16.
- 森本 稔. 2008. 第60回IWC年次会合報告会. 南房総市役所. 南房総市和田コミュニティセンター. 2008/7/23.
- 本村秀昭. 2008. クジラ・鯨・くじら. 明治大学大学院政治経済学研究科特別講義. 明治大学大学院. 2008/12/15.
- 中山博文. 2008. 第60回IWC年次会合報告会. 太地町役場. 太地町公民館. 2008/7/14.
- 西脇茂利. 2008. クジラ博士の出張授業. 薩摩川内市立育英小学校. 2008/2/15.
- 西脇茂利. 2008. クジラ博士の出張授業. 有川町立北魚目小学校. 2008/4/30.
- 西脇茂利. 2008. クジラ博士の出張授業. 有川町立上郷小学校. 2008/4/30.
- 西脇茂利. 2008. クジラ博士の出張授業. 有川町立有川小学校. 2008/5/1.
- 西脇茂利. 2008. クジラ博士の出張授業. 有川町立有川中学校. 2008/5/1.
- 西脇茂利. 2008. クジラ博士の出張授業. 松山市立正岡小学校. 2008/6/17.
- 西脇茂利. 2008. クジラ博士の出張授業. 糸魚川市立能生小学校. 2008/7/11.
- 西脇茂利. 2008. 海に戻った哺乳類. 北九州クジラ食文化を守る会. ウェルとばた. 2008/7/20.
- 西脇茂利. 2008. 調査捕鯨妨害 シー・シェパードの3人に逮捕状. ニュース7.NHK総合. 2008/8/18.
- 大隅清治. 2008. ハイビジョン特集「天才画家の肖像～江戸っ子浮世絵師参上, 歌川国芳～」. NHK BSハイビジョン. 2008/5/17.
- 大隅清治. 2008. 恵比寿としての鯨. 前中・前高京浜同窓会. 椿山荘. 東京. 2008/6/6.
- 大隅清治. 2008. 恵比寿としての鯨. 長門大津クジラ食文化を継承する会. くじら資料館 (長門). 2008/6/7.
- 大隅清治. 2008. 先祖返りをしたイルカ. 地球クラブ. 藤沢市市民会館. 2008/7/26.
- 大隅清治. 2008. クジラ博士の出張授業. 呉市立早瀬小学校. 2008/8/3.
- 大隅清治. 2008. IWCからの決別と新捕鯨構想. 「いかに」例会. 東京都中央卸売市場築地市場. 2008/9/12.
- 大隅清治. 2008. 迫りくる食糧危機と捕鯨問題. 長月会総会. 日本女子大学. 2008/9/27.
- 大隅清治. 2008. 恵比寿としての鯨. 中央水産研究所OB会. 独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所. 2008/10/4.
- 大隅清治. 2008. 先祖返りしたイルカ「はるか」. 太地浦くじら祭り. 太地町立くじらの博物館. 2008/11/1.
- 大隅清治. 2008. 捕鯨問題の現状と下関市立大学鯨資料室に期待すること. 鯨資料室開設1周年記念シンポジウム「資料収集のあり方と大学の役割・可能性を探る」. 下関市立大学. 2008/11/8.
- 大隅清治. 2008. 「はるか」—先祖返りしたバンドウイルカ. 第6回サテライトシンポジウム「鯨類研究の前線から」. 東海大学代々木校舎. 2008/11/30.
- 大谷誠司. 2008. クジラ博士の出張授業. 水戸市立千波小学校. 2008/10/24.
- 田村 力. 2008. クジラ博士の出張授業. 座間味市立慶留間幼小中学校. 2008/11/5.
- 安永玄太. 2008. クジラ博士の出張授業. 世田谷区立代田小学校. 2008/1/18.

2009年

- 藤瀬良弘. 2009. 第61回IWC年次会合報告会. 南房総市役所. 南房総市和田コミュニティセンター. 2009/7/14.
- 藤瀬良弘. 2009. 第61回IWC年次会合報告会. 太地町役場. 太地町公民館. 2009/7/16.
- 藤瀬良弘. 2009. 第61回IWC年次会合報告会. 釧路市役所. 釧路水産センター3階会議室. 2009/7/22.
- 藤瀬良弘. 2009. クジラ博士の出張授業. 米子市立成実小学校. 鳥取. 2009/10/4.
- 藤瀬良弘. 2009. クジラ博士の出張授業. 大田市立五十猛小学校. 島根. 2009/10/5.
- 後藤睦夫. 2009. 第61回IWC年次会合報告会. 下関市役所. 下関商工会館3階大ホール. 2009/7/15.
- 後藤睦夫. 2009. クジラ博士の課外授業. 横浜開港150周年記念イベントヒルサイドエリアY150 つながりの森. よこはま動物園ズーラシア特設ステージ. 2009/8/28.

資料

- 石川 創. 2009. シー・シェパード事件に隠されたグリーンピースとマスコミの横暴. 週刊たかじんのそこまでやって委員会 web版. 2009/2/22.
- 石川 創. 2009. 発見から18日… 迷いクジラ動き出す!“脱出”は?. 情報ライブミヤネ屋. 日本テレビ (読売テレビ Z). 2009/6/1.
- 石川 創. 2009. “大型捕鯨”再開への思いクジラの町 和歌山・太地町. スーパーニュースアンカー. 関西テレビ. 2009/6/16.
- 石川 創. 2009. マッコウクジラ海岸に乗り上げる. 首都圏ネットワークニュース. NHK総合. 2009/7/1.
- 石川 創. 2009. (大竹真のNEWS ッス) 今度は千葉・九十九里浜 迷いクジラ浅瀬で動けず. スッキリ!! . 日本テレビ. 2009/7/2.
- 石川 創. 2009. クジラ博士の出張授業. 横須賀市立馬堀小学校. 2009/7/24.
- 石川 創. 2009. クジラ博士の課外授業. 横浜開港150周年記念イベントヒルサイドエリアY150 つながりの森. よこはま動物園ズーラシア特設ステージ. 2009/8/30.
- 石川 創. 2009. 調査研究における野生動物の利用. 2009. 米国哺乳類学会ガイドラインの読解. 第15回日本野生動物医学会大会自由集会. 富山大学. 2009/9/5.
- 石川 創. 2009. クジラ博士の出張授業. 高松市立鬼無小学校. 2009/9/10.
- 石川 創. 2009. 鯨の保護は地球環境を救うか?. 東京お茶の水ロータリークラブ例会. ホテルグランドパレス. 東京. 2009/11/11.
- 石川 創. 2009. クジラ博士の出張授業. 豊洲がすてなーに. 東京. 2009/11/22.
- 小西健志. 2009. クジラ博士の出張授業. 三原市立田野浦小学校. 2009/6/18.
- 小西健志. 2009. クジラ博士の出張授業. 尾道市立吉和小学校. 2009/6/19.
- 小西健志. 2009. クジラ博士の出張授業. 札幌市立二十四軒小学校. 2009/8/31.
- 小西健志. 2009. クジラ博士の出張授業. 舞鶴市立岡田下小学校. 京都. 2009/11/19.
- 森本 稔. 2009. 第61回IWC年次会合報告会. 「関東・甲信越」捕鯨を守る会. 中央魚類(株)2階会議室 (築地). 2009/7/13.
- 森本 稔. 2009. 来賓挨拶. 全国鯨フォーラム2009釧路歓迎前夜祭. 北海道. 2009/10/9.
- 村瀬弘人. 2009. クジラ博士の出張授業. 大田区立館山さざなみ小学校. 2009/1/21.
- 西脇茂利. 2009. 和歌山の港に迷いクジラ体長20メートル救出作戦. スッキリ!! . 日本テレビ. 2009/5/15.
- 西脇茂利. 2009. 湾内に迷い込み2日目…マッコウクジラ救出難航. 情報ライブ ミヤネ屋. 日本テレビ (読売テレビ). 2009/5/15.
- 西脇茂利. 2009. クジラ博士の出張授業. 鯖江市立豊小学校. 2009/6/30.
- 西脇茂利. 2009. クジラ博士の課外授業. 横浜開港150周年記念イベントヒルサイドエリアY150 つながりの森. よこはま動物園ズーラシア特設ステージ. 2009/8/29.
- 西脇茂利. 2009. クジラ博士の課外授業. 横浜開港150周年記念イベントヒルサイドエリアY150 つながりの森. よこはま動物園ズーラシア特設ステージ. 2009/9/19.
- 西脇茂利. 2009. クジラ博士の課外授業. 横浜開港150周年記念イベントヒルサイドエリアY150 つながりの森. よこはま動物園ズーラシア特設ステージ. 2009/9/20.
- 西脇茂利. 2009. クジラ博士の出張授業. 千葉市立寒川小学校. 千葉. 2009/10/21.
- 大隅清治. 2009. クジラの食文化. 日本家政学会食文化研究部会例会. 謙堂文庫. 東京・豊島区. 2009/4/18.
- 大隅清治. 2009. (パネルディスカッション) カンボジアのイルカ保護活動の現状と特集. 今後の環境教育とグローバル教育. HAB21研究会. 横浜開港150周年記念テーマイベント開国・開港Y150ベイサイド市民協催. 赤レンガ会場1号館3階ホール. 2009/5/1.
- 大隅清治. 2009. クジラが横浜を開港させた. 横浜開港事件簿一開国と鯨と横浜人(夜の部)市民講演会「鯨がペリーを連れて来た」って本当?. 横浜赤レンガ倉庫1号館3階ホール. 2009/6/1.

- 大隅清治. 2009. 第61回IWC年次会合報告会. 石巻市役所. 石巻市牡鹿公民館. 2009/7/17.
- 大隅清治. 2009. わが国における鯨類資源調査研究の系譜. 東京大学大学院海産哺乳動物学講義. 東京大学海洋研究所. 東京. 2009/11/5.
- Ohsumi, S. 2009. Present condition and future lookout of the cetology in Japan. 鯨類博物館附属水族館開館記念講演会. 韓国海獣類研究所. 韓国・蔚山. 2009/11/24.
- 大隅清治. 2009. クジラ博士の出張授業. 仙台市立八本松小学校. 宮城. 2009/12/17.
- 田村 力. 2009. クジラ博士の課外授業. 横浜開港150周年記念イベントヒルサイドエリアY150つながりの森. よこはま動物園ズーラシア特設ステージ. 2009/9/18.
- 田村 力. 2009. クジラ博士の出前授業. 全国鯨フォーラム2009釧路の関連事業. 釧路市立清明小学校. 2009/9/25.
- 田村 力. 2009. クジラ博士の出前授業. 全国鯨フォーラム2009釧路の関連事業. 釧路市立博物館. 2009/9/26.
- 田村 力. 2009. クジラ博士の出張授業. 文京区立駕籠町小学校. 東京. 2009/10/19.
- 安永玄太. 2009. クジラ博士の出張授業. 三島市立北小学校. 2009/2/5.
- 安永玄太. 2009. 2009年度三陸沖鯨類捕獲調査結果概要報告. 宮城県庁舎. 2009/6/17.
- 安永玄太. 2009. クジラ博士の出張授業. 豊洲がすてなーに. 東京. 2009/11/23.
- 安永玄太. 2009. クジラ博士の出張授業. 桐生市立梅田南小学校. 群馬. 2009/12/1.

2010年

- 後藤睦夫. 2010. 鯨の生態. 宮城県仙台第一高等学校. 宮城. 2010/7/12.
- 後藤睦夫. 2010. 鯨の生態. 宮城県仙台二華高等学校. 宮城. 2010/7/13.
- 畑中 寛. 2010. ミンククジラの資源状況と鯨肉の特性. 海洋水産システム協会第381回月例懇談会. 東京. 2010/10/15.
- 畑中 寛. 2010. 鯨肉の健康への機能性. 韓国鯨文化保存会. 韓国・蔚山. 2010/12/20.
- 飯野靖夫. 2010. クジラ博士の出張授業. 大津市立坂本小学校. 滋賀. 2010/12/3.
- 石川 創. 2010. 週間たかじんのそこまでやって委員会. TVTVTV. 2010/2/7.
- 石川 創. 2010. 桜プロジェクト. 日本文化チャンネル桜. 2010/2/24.
- 石川 創. 2010. 超人大陸. カルシヨック. 2010/4/19.
- 石川 創. 2010. くじらについて学ぼう！—クジラ博士の出張授業—. 朝小・リアルサイエンスサマースクールin学習院女子大学. 学習院女子大学. 東京. 2010/8/4.
- 石川 創. 2010. 反捕鯨団体による妨害行動. かわさき市民アカデミー現代事情コース講座16クジラ戦争・マグロ戦争 第3回. 川崎市生涯学習プラザ. 神奈川. 2010/10/21.
- 石川 創. 2010. クジラ博士の出張授業. 上越市立安塚小学校. 新潟. 2010/10/26.
- 小西健志. 2010. クジラ博士の出張授業. 川崎市立聾学校. 神奈川. 2010/1/26.
- 小西健志. 2010. クジラ博士の出張授業. 鈴鹿市立井田川小学校. 三重. 2010/2/16.
- 小西健志. 2010. クジラ博士の出張授業. 蒲郡市立蒲郡東部小学校. 愛知. 2010/2/17.
- 村瀬弘人. 2010. 鯨類の資源選択性. 東京大学大学院講義海産哺乳動物学. 東京大学大気海洋研究所. 東京. 2010/12/16.
- 西脇茂利. 2010. 鯨類の持続的利用について. かわさき市民アカデミー現代事情コース講座16クジラ戦争・マグロ戦争 第3回. 川崎市生涯学習プラザ. 神奈川. 2010/10/14.
- 西脇茂利. 2010. クジラ博士の出張授業. 名護市立東江小学校. 沖縄. 2010/10/28.
- 西脇茂利. 2010. クジラ博士の出張授業. 名護市立名護中学校. 沖縄. 2010/10/29.
- 西脇茂利. 2010. クジラ博士の出張授業. 名護市立大北小学校. 沖縄. 2010/10/29.
- 西脇茂利. 2010. クジラ博士の出張授業. 名護市子供会. 沖縄. 2010/10/30.
- 西脇茂利. 2010. クジラ博士の出張授業. 富士市立岩松北小学校. 静岡. 2010/11/12.

資料

- 大隅清治. 2010. クジラの性態学入門. 論説・解説委員を囲む会. Kurikuri. 2010/3/12.
- 大隅清治. 2010. カンボジアのカワゴンドウとその保護. HAB21 シンポジウム. 東京海洋大学. 2010/4/10.
- 大隅清治. 2010. 恵比寿としてのクジラ. 立教大学小林威雄ゼミOB会総会. 東京. 2010/7/3.
- 大隅清治, 三軒一高, 大久保彩子, 綿井健陽. 2010. 紀の国スペシャル「どうなる? 400年の捕鯨文化」(パネルディスカッション). NHK和歌山放送局. 和歌山. 2010/8/1.
- 大隅清治. 2010. クジラと共に半世紀. 交詢社常例午餐会. 交詢社. 東京. 2010/9/10.
- 大隅清治. 2010. 捕鯨と日本人. 海洋人の会. 全日本会員組合会議室. 東京. 2010/11/27.
- 安永玄太. 2010. クジラ博士の出張授業. 港区立港陽小学校. 東京. 2010/1/15.
- 安永玄太. 2010. クジラ博士の出張授業. 私立はつしば学園小学校. 大阪. 2010/1/20.
- 安永玄太. 2010. クジラ博士の出張授業. 私立国立音楽大学附属小学校. 東京. 2010/2/22.
- 安永玄太. 2010. クジラ博士の出張授業. 小平市立小平第六小学校. 東京. 2010/11/3.

2011年

- 藤瀬良弘. 2011. 鯨とヒト—鯨資源の管理を巡る最近の話題について—. 芦屋川カレッジ. 兵庫. 2011/10/19.
- 藤瀬良弘. 2011. クジラいま考えること—鯨資源の管理を巡って—. 福岡市博物館. 福岡. 2011/10/29.
- 飯野靖夫. 2011. 捕鯨と国際文化. 芦屋川カレッジ聴講生国際文化コース. 芦屋市民センター. 兵庫. 2011/2/16.
- 石川 創. 2011. 南極海鯨類捕獲調査の反捕鯨団体による妨害. かずさ政経研究会4月研修会. ロイヤルヒルズ如月ビューホテル. 千葉. 2011/4/11.
- 石川 創. 2011. 鯨類学. 野生動物入門セミナー. 八王子セミナーハウス. 東京. 2011/8/21~23.
- 石川 創. 2011. クジラは海の哺乳類. 第2回鯨セミナー. つのしま自然館. 山口. 2011/10/15.
- 茂越敏弘. 2011. クジラ博士の出張授業. 荒川区立第七峡田小学校. 東京. 2011/1/20.
- 西脇茂利. 2011. くじら博士セミナー. 長崎市立西浦上小学校. 長崎. 2011/1/27.
- 西脇茂利. 2011. くじら博士セミナー. 長崎市立伊良林小学校. 長崎. 2011/1/28.
- 西脇茂利. 2011. おやじと子どもの鯨学. 月島社会教育会館. 東京. 2011/2/20.
- 西脇茂利. 2011. 捕鯨問題とマスメディア (映画The coveを題材に). 和田浦くじらゼミ. 南房総市和田支所視聴覚室. 千葉. 2011/7/30.
- 大隅清治. 2011. クジラ博士の出張授業. 南知多町立師崎小学校. 愛知. 2011/2/1.
- 大隅清治. 2011. クジラ博士の出張授業. 鈴鹿市立長太小学校. 三重. 2011/2/2.
- 大隅清治. 2011. シンポジウム「日本とクジラ」. 下関市立大学. 山口. 2011/2/5.
- Ohsumi, S. and Kato, H. 2011. Footprint of Mr. R.C. Andrews in Japan in 1910 and current information on the gray whale in Japan. International Symposium on Gray Whales for the 100th Anniversary of Andrew's Visit to Ulsan. Cetacean Research Institute. Ulsan. 2011/5/26.
- 大隅清治. 2011. 森浦湾をクジラの海にしよう!. 太地町鯨のまちづくりくるま座シンポジウム. 和歌山. 2011/8/30.
- 大隅清治. 2011. 日本近海のクジラと調査捕鯨. 「日本とクジラ」展記念講演会. 福岡市博物館. 福岡. 2011/10/2.
- 安永玄太. 2011. クジラ博士の出張授業. 仙台市立東四郎丸小学校. 宮城. 2011/1/18.
- 安永玄太. 2011. クジラ博士の出張授業. 寝屋川市立石津小学校. 大阪. 2011/2/26.
- 安永玄太. 2011. クジラ博士の出張授業. 和泉市立青葉はつが野小学校. 大阪. 2011/2/26.

2012年

- 藤瀬良弘. 2012. クジラ博士の出張授業. コープさっぽろ北12条店. 北海道. 2012/3/4.
- 藤瀬良弘. 2012. クジラ博士の出張授業. みやぎ生協セラビ幸町店. 宮城. 2012/4/14.
- 藤瀬良弘. 2012. 鯨類捕獲調査の目指すもの—現状と成果—. 鯨フォーラム2012下関. 海峡メッセ. 山口. 2012/6/9.
- 石川 創. 2012. ZIP! アレナニ?. 日本テレビ. 2012/1/5.

- 石川 創, 西脇茂利. 2012. クジラ博士の出張授業. ボーイスカウトさいたま1団新年会. 埼玉. 2012/1/15.
- 石川 創. 2012. 情報プレゼンターとくダネ!. フジテレビ. 2012/2/7.
- 上田真久. 2012. クジラ博士の出張授業. ORGAN-DO. 東京. 2012/12/1.
- 小西健志. 2012. クジラ博士の出張授業. 豊海センタービル. 東京. 2012/8/30.
- 小西健志. 2012. クジラ博士の出張授業. ORGAN-DO. 東京. 2012/12/2.
- 松岡耕二. 2012. 南極海における鯨類の分布. 東京海洋大学海鷹丸専門講習. 豊海水産埠頭. 東京. 2012/10/29.
- 中井和佳. 2012. クジラ博士の出張授業. 高山広告編集所「間借り食堂」プロデュース木の屋石巻水産と築地カネ仲間ラボ企画「くじらのじかん」. 芝浦キャピタルマークタワー. 東京. 2012/6/23.
- 中井和佳. 2012. クジラ博士の出張授業. 高山広告編集所「間借り食堂」プロデュース木の屋石巻水産コラボ企画「第2回くじらのじかん」. CLASKA. 東京. 2012/10/5.
- 西脇茂利. 2012. クジラ博士の出張授業. みやぎ生協セラビ幸町店. 宮城. 2012/4/5.
- 西脇茂利. 2012. クジラ博士の出張授業. 伊都安蔵里. 福岡. 2012/6/30.
- 西脇茂利. 2012. クジラ博士の出張授業. 宮城生協. 宮城. 2012/7/11.
- 西脇茂利. 2012. 方祝を鑑賞し考える. 第4回和田浦くじらゼミ. 館山市立博物館分館. 千葉. 2012/7/28.
- パステネL. A. 2012. 日本の捕鯨の現状について. 第92回ハーバークラブ定期講演会. 横浜情報文化センター. 神奈川. 2012/4/9.

2013年

- 藤瀬良弘, 田村 力. 2013. 鯨類捕獲調査が目指すもの—その実態と課題—. 東京海洋大学公開講座. 東京. 2013/11/16.
- 後藤睦夫. 2013. くじら博士の出張セミナー. 長崎市立桜ヶ丘小学校. 長崎. 2013/10/11.
- 後藤睦夫. 2013. くじら博士トーク&くじら試食会. 長崎浜屋. 長崎. 2013/10/12.
- 松岡耕二. 2013. 鯨類調査の目的と勇新丸の役割. 本村小学校児童サンセイドック勇新丸見学会. 下関市. 2013/5/15.
- 松岡耕二. 2013. クジラは増えているか?—近年の調査結果から—. 第6回鯨資料室シンポジウム. 下関市立大学. 山口. 2013/10/19.
- 松岡耕二. 2013. 南極海の鯨類. 東京海洋大学海鷹丸専門講習. 海鷹丸講義室. 東京. 2013/10/22.
- 中井和佳. 2013. クジラ博士の出張授業. 打瀬公民館. 千葉. 2013/8/23.
- 西脇茂利. 2013. クジラ博士の出張授業. 信愛報恩会. 東京. 2013/8/5.
- 西脇茂利. 2013. 海のスペシャリストの話をお聞き. 深海探検海底二万里の世界マルシェイベント. 新潟県立自然科学館. 新潟. 2013/8/17.
- 西脇茂利. 2013. 水産振興における水族館の役割. 平成25年度連続講座「水族館の知られざる役割と活動」. 大妻女子大学. 東京. 2013/8/31.
- 西脇茂利. 2013. 保鯨. 第67回TREEセミナー. 東邦大学. 千葉. 2013/9/19.
- 及川宏之. 2013. クジラ博士の出張授業. 豊海センタービル. 東京. 2013/3/28.
- 大隅清治. 2013. クジラを追って半世紀. 長門大津鯨食文化を継承する会. 山口. 2013/5/18.
- 大隅清治. 2013. 捕鯨の世界史の中での日本の特質. 東京海洋大学公開講座. 東京. 2013/11/10.
- 田村 力. 2013. 調査から知るヒゲクジラ類の摂餌生態. 第6回鯨資料室シンポジウム. 下関市立大学. 山口. 2013/10/19.
- 田村 力. 2013. 捕獲調査から知るヒゲクジラ類の摂餌生態. 海産哺乳動物学. 東京大学大気海洋研究所. 千葉. 2013/12/4.
- 和田 淳. 2013. クジラ博士の出張授業. 豊海センタービル. 東京. 2013/3/27.

資料

2014年

- 藤瀬良弘. 2014. 我が国の調査捕鯨について—ICJ（国際司法裁判所）裁判を受けて. コープビル. 東京. 2014/7/7.
- 畑中 寛. 2014. 「南極海における捕鯨」ICJ判決についての疑問—調査計画立案に関わった1科学者の視点から. 水産ジャーナリストの会. 東京. 2014/5/22.
- 小西健志. 2014. 出張講義. 東京農工大学農学部キャンパス. 東京. 2014/12/8.
- Matsuoka, K. 2014. Summary of the 2010–2014 IWC-POWER cruises. 合同セミナー. 東京海洋大学品川キャンパス図書館学びの広場. 東京. 2014/10/8.
- 松岡耕二. 2014. 北太平洋における国際鯨類目視調査（IWC-POWER）の現状. 勇魚会シンポジウム. 京都大学理学研究科セミナーハウス. 京都. 2014/11/29.
- 西脇茂利. 2014. クジラ博士の出張授業. 渋谷区文化総合センター大和田. 東京. 2014/1/18.
- 西脇茂利. 2014. 2014年度近畿地区論題研究会での出張授業. 京都教育大学. 京都. 2014/4/27.
- 西脇茂利. 2014. クジラ博士の出張授業. 公文国際学園中等部. 神奈川. 2014/6/13.
- 西脇茂利. 2014. エコジュニアクラブ「クジラから見える環境」. 蕨市北町公民館. 埼玉. 2014/6/14.
- 西脇茂利. 2014. 第6回和田浦くじらゼミ. 南房総市和田地域センター. 千葉. 2014/7/5～6.
- 西脇茂利. 2014. 探求講演会. 川西緑台高校. 兵庫. 2014/7/9.
- 西脇茂利. 2014. クジラ博士の出張授業. 学び舎プラウトアップ. 東京. 2014/8/2–3.
- 西脇茂利. 2014. クジラ博士の出張授業. 打瀬公民館. 千葉. 2014/8/10.
- 西脇茂利. 2014. クジラ博士の出張授業. フーダーズスタジオ勝ちどき. 東京. 2014/8/28.
- 西脇茂利. 2014. 鯨の講義. 鶴洋高校. 長崎. 2014/10/7.
- 西脇茂利. 2014. 捕鯨から保鯨へ—資源開発から資源管理へ—. 集中講義「海産哺乳動物学」. 東京大学大学院. 東京. 2014/12/3～12/5.
- 大隅清治. 2014. 明日へのことば「海の幸・クジラと歩んだ60年」～クジラ牧場にかける夢. NHKラジオ. 東京. 2014/7/17～18.
- パステネ, L. A. 2014. クジラの出張授業. 渋谷教育学園幕張中学校. 千葉. 2014/2/5.
- パステネ, L. A. 2014. 新南極海鯨類科学調査（NEWREP-A）の概要について. 新南極海鯨類科学調査（NEWREP-A）の調査目的のために収集する標本とデータ類について. 下関セミナー. サンセイ(株)下関工場. 山口. 2014/12/15.
- 安永玄太. 2014. クジラ博士の出張授業. 清瀬市コミュニティプラザひまわり. 東京. 2014/4/27.

2015年

- 藤瀬良弘. 2015. 捕鯨を取り巻く現況について. 下関グランドホテル. 山口. 2015/10/16.
- 小西健志. 2015. 東京大学大学院海産哺乳動物学講義. 東京大学大学院. 東京. 2015/12/2.
- 松岡耕二. 2015. ライントランセクト法による鯨類の目視調査. 東京海洋大学北門研究室セミナー. 東京海洋大学品川キャンパス. 東京. 2015/6/17.
- 西脇茂利. 2015. クジラ博士の出張授業. 野田市立尾崎小学校. 千葉. 2015/1/26.
- 西脇茂利. 2015. 鯨の話. 鯨山人山コーナー. 中央エフエム京橋漁業協同組合ラヂオ. 2015/3/13・20.
- 西脇茂利. 2015. クジラ博士の出張授業クジラの学校. 豊海おさかなミュージアム. 東京. 2015/4/18.
- 西脇茂利. 2015. 鯨の話. 鯨山人山コーナー. 中央エフエム京橋漁業協同組合ラヂオ. 2015/6/13.
- 西脇茂利. 2015. 第7回和田浦くじらゼミ. 南房総市和田地域センター. 千葉. 2015/7/4～7/5.
- 西脇茂利. 2015. クジラ博士の出張授業. 学び舎プラウトアップ. 東京. 2015/7/25.
- 西脇茂利. 2015. クジラ博士の出張授業. しんあい清戸の里. 東京. 2015/8/10.
- 西脇茂利. 2015. クジラ博士の出張授業. グループホーム上埴生の郷. 千葉. 2015/11/2.
- 大隅清治. 2015. とくダネ!. フジテレビ. 2015/5/21.
- パステネ, L. A. 2015. 新南極海鯨類科学調査（NEWREP-A）の概要について. 新南極海鯨類科学調査（NEWREP-A）の

- 調査目的のために収集する標本とデータ類について. 塩釜セミナー. 東北ドック鉄工(株). 宮城. 2015/1/19.
- パステネ, L. A. 2015. NEWREP-A についての学生討論会. 渋谷教育学園幕張中学校. 千葉. 2015/2/20.
- パステネ, L. A. 2015. 共同船舶職員に対する JARPAII の成果と新南極海鯨類科学調査 (NEWREP-A) の概要について. 共同船舶(株)会議室. 東京. 2015/2/17.
- パステネ, L. A. 2015. 日本鯨類研究所所員に対する JARPAII の成果と新南極海鯨類科学調査 (NEWREP-A) の概要について. 日本鯨類研究所会議室. 東京. 2015/4/14.
- パステネ, L. A. 2015. La Utilidad de las Técnicas Genéticas para la conservación y Manejo de las Ballenas de Barba. La dirección general de Investigaciones de recursos pelágicos. Perú. 2015/12/18.
- パステネ, L. A. 2015. Estado Actual de la Caza de Ballenas en el Mundo en el Contexto de la Comisión Ballenera Internacional (CBI). La dirección general de Investigaciones de recursos pelágicos. Perú. 2015/12/22.

2016年

- 後藤睦夫. 2016. クジラ博士の出張授業. キッズ・プラザ緑野. 東京. 2016/3/29.
- 後藤睦夫. 2016. クジラ博士の出張授業. 長崎市立西山台小学校. 長崎. 2016/11/24.
- 後藤睦夫. 2016. クジラ博士の出張授業. 長崎市立福田小学校. 長崎. 2016/11/25.
- 袴田高志. 2016. クジラ博士の出張授業. 北原児童館. 東京. 2016/3/9.
- 小西健志. 2016. クジラ博士の出張授業. ままごとや. 東京. 2016/3/25.
- 松岡耕二. 2016. クジラ博士の出張授業. 太地町立太地小学校. 和歌山. 2016/11/28.
- 西脇茂利. 2016. クジラ博士の出張授業. 野田市立尾崎小学校. 千葉. 2016/1/26.
- 西脇茂利. 2016. 鯨の話. 鯨山人山コーナー. 中央エフエム京橋漁業協同組合ラヂオ. 2016/4/23.
- 西脇茂利. 2016. クジラ博士の出張授業. 南房総市和田小学校. 千葉. 2016/6/13.
- 西脇茂利. 2016. 第8回和田浦くじらゼミ. 南房総市和田地域センター. 千葉. 2016/7/23~24.
- 西脇茂利. 2016. 低カロリーだけじゃない! クジラの栄養価とは. スポーツ食育サマースクール2016. 神奈川. 2016/8/6.
- パステネ, L. A. 2016. NEWREP-A ディベートセミナー. 渋谷幕張中学校. 千葉. 2016/2/3.
- 田村 力. 2016. クジラ博士の出張授業. 糸満青少年の家 (光洋小学校). 沖縄. 2016/7/4.
- 田村 力. 2016. クジラ博士の出張授業. 西原町立西原南小学校. 沖縄. 2016/7/5.

2017年

- 藤瀬良弘. 2017. クジラ博士の出張授業. 中央区立豊海小学校. 東京. 2017/9/14.
- 後藤睦夫. 2017. クジラ博士の出張授業. 新上五島町立有川小学校. 長崎. 2017/2/10.
- 後藤睦夫. 2017. クジラ博士の出張授業. 新上五島町立上郷小学校. 長崎. 2017/6/1.
- 後藤睦夫. 2017. クジラ博士の出張授業. わくわくセカンドスクール光洋小学校. 糸満青少年の家. 沖縄. 2017/7/6.
- 西脇茂利. 2017. クジラ博士の出張授業. 野田市立尾崎小学校. 千葉. 2017/1/25.
- 西脇茂利. 2017. クジラ博士の出張授業. 南房総市立和田小学校. 千葉. 2017/5/24.
- 西脇茂利. 2017. クジラ博士の出張授業. 親子で学ぶ! くじら食文化教室. 川島学園. 長崎. 2017/8/6.
- 西脇茂利. 2017. クジラ博士の出張授業. 野田市立尾崎小学校. 千葉. 2017/9/13.
- 大隅清治. 2017. 鯨類生態学入門. 野学校. 東京. 2017/1/21.
- パステネ, L. A. 2017. NEWREP-A ディベートセミナー. 渋谷教育学園幕張中学校. 東京. 2017/2/7.
- 田村 力. 2017. クジラ博士の出張授業. 夏休みキッズわくわく体験教室. 清水地域交流センター. 静岡. 2017/8/2.
- 田村 力. 2017. クジラ博士の出張授業. 新上五島町立東浦小学校. 長崎. 2017/9/12.
- 田村 力. 2017. クジラ博士の出張授業. わくわくセカンドスクール光洋小学校. 糸満青少年の家. 沖縄. 2017/10/11.
- 田村 力. 2017. クジラ博士の出張授業. 網走市立白鳥台小学校. 北海道. 2017/10/23.

5-5-4. 各種検討会

検討会が開催された年：○

	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017		
鯨類資源月例研究会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
鯨類資源研究会																																	
クジラの捕殺方法検討会																																	
クロミンククジラ資源量分科会																																	
クロミンク個体数推定の高度化検討分科会 (g(0)検討会)																																	
JARPNIIレビュー分科会																																	
鯨の捕殺方法検討会																																	
資源管理談話会				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鯨研談話会				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
所内研究会				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人と鯨研究会												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南水洋捕鯨の歴史と将来を考える会																																	○

5-5-5. 当研究所の役職員が参加した主たる会議・会合

海外

名前	西暦	期間	開催地	開催国	研究所出席者
海産哺乳動物の管理および合理的利用に関する国際会議	1988	1/21 ~ 1/22	レイキャビック	アイスランド	長崎、山村
海産哺乳類の管理および合理的利用に関する国際会議	1989	4/18 ~ 4/19	トレファン	フェロー諸島	山村
1989年北アメリカアルゴス使用者会議と展示	1989	5/15 ~ 5/17	サンディエゴ	米国	笠松
第4回海産哺乳動物の管理と合理的利用に関する国際会議	1991	4/16 ~ 4/17	レイキャビック	アイスランド	長崎
国際水産団体 (ICFA) 連合会年次会議	1991	9/17 ~ 9/19	ハワイ	米国	長崎
第4回国連環境開発会議 (UNCED) 準備会合	1992	3/2 ~ 4/3	ニューヨーク	米国	山村
第5回海産哺乳動物の管理と合理的利用に関する国際会議	1992	4/7 ~ 4/8	ヌーク	グリーンランド	大隅
北大西洋海産哺乳動物委員会 (NAMMCO) 発足会議	1992	9/10 ~ 9/11	トースハウン	フェロー諸島	大隅
第11回南極海洋生物資源保存委員会 (CCAMLR)	1993	10/26 ~ 11/6	ホバート	豪州	大隅
第3回北大西洋海産哺乳動物委員会 (NAMMCO)	1993	7/1 ~ 7/2	レイキャビック	アイスランド	三崎
海産哺乳類遺伝学シンポジウム及び管理ユニットを診断するための遺伝的データの使用に関するワークショップ	1994	9/23 ~ 9/28	ラ・ホヤ	米国	バステネ, L. A.
化学汚染と鯨類に関するワークショップ	1995	3/27 ~ 3/29	ベルゲン	ノルウェー	藤瀬
第3回世界地域社会捕鯨会議	1996	6/6 ~ 6/8	カリフォルニア	米国	三崎
第7回北大西洋海産哺乳動物委員会 (NAMMCO) 会議	1997	5/27 ~ 5/30	トルシャヴン	フェロー諸島	飯野
第10回ワシントン条約 (CITES) 締約国会議	1997	6/9 ~ 6/20	ハラレ	ジンバブウェ	大隅他
第1回世界捕鯨者会議	1998	3/2 ~ 3/6	ヴィクトリア	カナダ	グッドマン, D.
ノルウェーで捕獲されたミンククジラのDNA登録に関するワークショップ	1998	3/20	オスロ	ノルウェー	バステネ, L. A., 阿部
カリブ海鯨類調査ワークショップ	1998	7/7 ~ 7/10	カストリーズ	セントルシア	大隅、 ゴメス・ディアス, G.
ディスタンス・サンプリング調査の設計と解析ワークショップ	1998	8/4 ~ 8/7	セントアンドリュース大学	英国	松岡、袴田
第7回南極科学委員会 (SCAR) 国際生物シンポジウム	1998	8/31 ~ 9/4	クライストチャーチ	ニュージーランド	松岡
第8回北大西洋海産保留動物委員会 (NAMMCO) 年次会議	1998	9/1 ~ 9/4	オスロ	ノルウェー	ゴメス・ディアス, G.
シムラット計量科学魚探講習会	1998	9/7 ~ 9/18	ホーテン	ノルウェー	村瀬
北大西洋海産哺乳動物委員会 (NAMMCO) 海産哺乳類捕殺方法に関するワークショップ	1999	2/9 ~ 2/11	ヌーク	グリーンランド	石川
第23回国連食糧農業機関 (FAO) 水産委員会 (COFI)	1999	2/15 ~ 2/19	ローマ	イタリア	グッドマン, D., ゴメス・ディアス, G.
ミナミマグロ裁判 (豪州・NZ対日本) の口頭弁論	1999	8/18 ~ 8/20	ハンブルグ	ドイツ	飯野
第9回北大西洋海産哺乳動物委員会 (NAMMCO) 年次会議	1999	10/5 ~ 10/8	アクレイリ	アイスランド	飯野
FAO国際会議「(零細) 漁業の社会・文化的側面」	1999	11/2 ~ 11/4	コロラド	アメリカ	大曲
国際野生生物管理連盟 (IWMC) 第2回持続的利用シンポジウム	1999	11/22 ~ 11/26	成都、四川省	中国	グッドマン, D.
第11回ワシントン条約 (CITES) 締約国会議	2000	4/10 ~ 4/20	ナイロビ	ケニア	大隅他
ミナミマグロ調査漁獲に関する仲裁裁判：先決的抗弁に関する口頭弁論	2000	5/7 ~ 5/11	ワシントン	米国	飯野
アフリカ沿岸における小型鯨類の保存と管理に関するワークショップ	2000	5/8 ~ 5/12	コナクリ	ギニア	グッドマン, D.
国連食糧農業機関 (FAO) モデリングワークショップ	2000	7/17 ~ 7/20	バンクーバー	カナダ	袴田
第10回北大西洋海産哺乳動物委員会 (NAMMCO) 年次会議	2000	9/25 ~ 9/28	サンデフィヨルド	ノルウェー	グッドマン, D.
第3回世界漁業会議	2000	10/31 ~ 11/3	北京	中国	グッドマン, D.
第3回世界捕鯨者会議	2000	11/16 ~ 11/19	ネルソン	ニュージーランド	グッドマン, D.
持続的利用派世界議員連盟 (SUPU)	2000	11/16 ~ 11/19	ネルソン	ニュージーランド	グッドマン, D.
日韓学術交流鯨類シンポジウム及関連活動	2001	2/13 ~ 2/17	釜山、蔚山	韓国	大隅、後藤
第24回国連食糧農業機関 (FAO) 水産委員会	2001	2/26 ~ 3/2	ローマ	イタリア	グッドマン, D., ゴメス・ディアス, G.

資料

名前	西暦	期間	開催地	開催国	研究所出席者
第87回経済協力開発機構（OECD）水産委員会	2001	3/5～3/7	パリ	フランス	大曲
第8回南極研究科学委員会（SCAR）国際生物シンポジウム	2001	8/27～9/1	アムステルダム	オランダ	松岡
北大西洋海産哺乳動物委員会（NAMMCO）による海産哺乳類の食物消費量の推定方法に関するワークショップ	2001	9/26～9/28	トロムソ	ノルウェー	田村
海洋生態系における責任ある漁業に関する国連食糧農業機関（FAO）会合	2001	10/1～10/4	レイキャビック	アイスランド	田村
第88回経済協力開発機構（OECD）水産委員会	2001	10/15～10/17	パリ	フランス	大曲
第11回北大西洋海産哺乳動物委員会（NAMMCO）年次会議	2002	2/5～2/7	イルレサット	グリーンランド	グッドマン, D.
第6回国際海洋開発委員会（ICES）水産音響シンポジウム	2002	6/10～6/14	モンペリエ	フランス	村瀬
ワシントン条約（CITES）アジア地域会合	2002	8/14～8/16	ウランバートル	モンゴル	グッドマン, D、飯野
第4回世界捕鯨者会議総会	2002	9/26～9/29	トルシャウン	フェロー諸島	グッドマン, D.
第12回ワシントン条約（CITES）締約国会議	2002	11/3～11/15	サンティアゴ	チリ	村上他3名
TOSSM（Testing of Spatial Structure Model）作業部会	2003	1/21～1/24	サンディエゴ	米国	バステネ, L.A、上田
日韓鯨類シンポジウム	2003	2/5～2/6	釜山	韓国	藤瀬、後藤
第25回国連食糧農業機関（FAO）水産委員会（COFI）	2003	2/24～2/28	ローマ	イタリア	グッドマン, D、ゴメス・ディアス、G、飯野
第12回北大西洋海産哺乳動物委員会（NAMMCO）年次会議	2003	3/4～3/6	アスケル	ノルウェー	グッドマン, D.
第49回ワシントン条約（CITES）常設委員会	2003	4/22～4/25	ジュネーブ	スイス	グッドマン, D.
第19回ワシントン条約（CITES）動物委員会	2003	8/18～8/21	ジュネーブ	スイス	グッドマン, D.
第9回FAO水産物貿易小委員会	2004	2/10～2/14	ブレーメン	ドイツ	グッドマン, D.
第13回北大西洋海産哺乳動物委員会（NAMMCO）年次会議	2004	3/2～3/4	トルシャヴン	フェロー諸島	グッドマン, D.
第50回ワシントン条約（CITES）常設委員会	2004	3/15～3/19	ジュネーブ	スイス	グッドマン, D.
海洋水産資源の持続的利用に関する太平洋地域シンポジウム	2004	5/11～5/12	ナディ	フィジー	グッドマン, D.
海洋水産資源の持続的利用に関する西アフリカ地域シンポジウム	2004	5/17～5/18	コナクリ	ギニア	ゴメス・ディアス, G.
ワシントン条約（CITES）及び商業漁業種に関する法的問題の国連食糧農業機関（FAO）専門家会議	2004	6/22～6/25	ローマ	イタリア	飯野
海洋水産資源の持続的利用に関する中米シンポジウム	2004	9/24	グアテマラシティ	グアテマラ	グッドマン, D.
第13回北大西洋海産哺乳動物委員会（NAMMCO）年次会議	2005	3/1～3/3	トロムソ	ノルウェー	グッドマン, D.
第26回国連食糧農業機関（FAO）水産委員会	2005	3/7～3/11	ローマ	イタリア	グッドマン, D.
第15回北大西洋海産哺乳動物委員会（NAMMCO）年次会議	2006	3/14～3/16	セルフォス	アイスランド	グッドマン, D.
第82回国際海事機関（IMO）海上安全委員会	2006	11/29～12/8	イスタンブール	トルコ	飯野
第16回北大西洋海産哺乳動物委員会（NAMMCO）年次会議	2007	2/27～3/1	トロムソ	ノルウェー	グッドマン, D.
第14回ワシントン条約（CITES）締約国会議	2007	6/3～6/15	ハーグ	オランダ	飯野、グッドマン, D.
第53回国際海事機関（IMO）航行安全小委員会（NAV）	2007	7/23～7/27	ロンドン	イギリス	飯野
北太平洋海洋科学機構（PICES）年次会合	2007	10/26～11/5	ビクトリア	カナダ	小西
第54回国際海事機関（IMO）航行安全小委員会	2008	6/30～7/4	ロンドン	イギリス	飯野
第57回ワシントン条約（CITES）常設委員会	2008	7/14～7/18	ジュネーブ	スイス	グッドマン, D.
第17回北大西洋海産哺乳動物委員会（NAMMCO）年次会議	2008	9/2～9/4		グリーンランド	グッドマン, D.
第4回国際自然保護連合（IUCN）世界自然保護会議（WCC4）	2008	10/5～10/14	バルセロナ	スペイン	グッドマン, D.
第28回国連食糧農業機関（FAO）水産委員会（COFI）	2009	3/2～3/6	ローマ	イタリア	グッドマン, D.
第103回アメリカ国際法学会総会	2009	3/25～3/28	ワシントン	米国	グッドマン, D.
第16回北大西洋海産哺乳動物委員会（NAMMCO）科学委員会及び関連会合	2009	4/15～4/23	レイキャビック	アイスランド	村瀬
第58回ワシントン条約（CITES）常設委員会	2009	7/6～7/10	ジュネーブ	スイス	飯野
北大西洋海産哺乳動物委員会（NAMMCO）第18回年次会議	2009	9/8～9/10	トロムソ	ノルウェー	グッドマン, D.
南極の海洋生物資源の保存に関する委員会（CCAMLR）2014年度生態系モニタリング管理作業部会	2014	7/7～7/18	ブントアレナス	チリ	バステネ, L.A.

名前	西暦	期間	開催地	開催国	研究所出席者
南極の海洋生物資源の保存に関する委員会 (CCAMLR) の生態系モニタリング管理作業部会 (WG-EMM-15)	2015	7/6 ~ 7/17	ワルシャワ	ポーランド	バステネ, L. A.
北太平洋海洋科学機構 (PICES) 年次会合	2015	10/15 ~ 10/23	青島	中国	田村、小西
北大西洋海産哺乳動物委員会 (NAMMCO) 大型鯨類の捕殺方法に関する専門家委員会	2015	11/3 ~ 11/6	コペンハーゲン	デンマーク	茂越
第22回北大西洋海産哺乳動物委員会 (NAMMCO) 科学委員会	2015	11/9 ~ 11/13	トシュハウ	フェロー諸島	バステネ, L. A.
第21回国際海棲哺乳類学会	2015	12/13 ~ 12/18	サンフランシスコ	米国	小西
南極の海洋生物資源の保存に関する委員会 (CCAMLR) の生態系モニタリング管理作業部会 (WG-EMM-16)	2016	7/4 ~ 7/15	ボローニャ	イタリア	バステネ, L. A.
北太平洋海洋科学機構 (PICES) 年次会合	2016	11/2 ~ 11/13	サンディエゴ	米国	田村
第23回北大西洋海産哺乳動物委員会 (NAMMCO) 科学委員会	2016	11/4 ~ 11/4	ヌーク	グリーンランド	坂東
北太平洋ザトウクジラ資源評価ワークショップ	2017	4/19 ~ 4/21	シアトル	米国	松岡
南極の海洋生物資源の保存に関する委員会 (CCAMLR) の生態系モニタリング管理作業部会 (WG-EMM-17)	2017	7/10 ~ 7/14	ブエノスアイレス	アルゼンチン	田村
第12回南極研究科学委員会 (SCAR) 生物シンポジウム	2017	7/10 ~ 7/14	ルーヴェン	ベルギー	バステネ, L. A.
水棲生物資源の持続的利用会合 (カリブ地域会合)	2017	9/25		セントルシア	ゴメス・ディアス, G、大曲
北太平洋海洋科学機構 (PICES) 年次会合	2017	9/22 ~ 10/1	ウラジオストック	露西亜	田村
水棲生物資源の持続的利用会合 (アフリカ地域会合)	2017	10/2 ~ 10/3	ラバト	モロッコ	ゴメス・ディアス, G、大曲

国内

名前	西暦	期間	開催場所	開催地	研究所出席者
日本沿岸小型捕鯨に関する国際作業会議	1988	4/16 ~ 4/25			長崎
「ゼロ捕獲の社会経済的影響 (日本沿岸小型捕鯨を含む)」に関する調査研究計画 (リサーチプロジェクト) 会議	1989	9/11 ~ 9/13	東京水産会館ビル	東京	長崎、藍、三崎
第1回捕鯨問題国際検討会: IWC 活動についての法学的考察作業会議	1991	1/29 ~ 1/31		東京	長崎、三崎
第2回捕鯨問題国際検討会: 生存の為の海産生物の利用シンポジウム	1992	1/21 ~ 1/23	グリーンピア南紀	和歌山	長崎、三崎
第8回ワシントン条約 (CITES) 締約国会議	1992	3/2 ~ 3/13	国立京都国際会館	京都	山村
第3回捕鯨問題国際検討会: 捕鯨問題セミナー・シリーズ	1993	1/18 ~ 2/17	日本水産資源保護協会他	東京	長崎、三崎
第7回 GLOBE 世界総会 (東京会議)	1993	8/30 ~ 9/1	参議院分館	東京	山村
第4回捕鯨問題国際検討会: 公開シンポジウム「地域文化と野生動物」	1994	2/9 ~ 2/10	銀座ガスホール	東京	長崎、三崎
海外対策事業推進企画委員会	1995	11/22	日本鯨類研究所	東京	長崎、三崎
第5回捕鯨問題国際検討会: 太地ラウンドテーブル検討会「野生生物 (特に鯨理卵) の持続的利用と国際レジーム」	1995	2/24	太地町	和歌山	長崎、三崎
食糧安全保障のための漁業の持続的貢献に関する国際会議	1995	12/4 ~ 12/9		京都	大隅、山村
第6回捕鯨問題国際検討会: 国際法学者作業会議「IWC 活動の法学的考察: 南半球鯨類聖域関連事項の検討」	1996	1/7 ~ 1/9	日本鯨類研究所	東京	守矢他
比較法文化学会第1研究交流全国大会	1996	9/26 ~ 8/27	同志社大学	京都	守矢、田中、三崎、飯野
国際シンポジウム「海洋分割の時代の比較法文化的考察」	1997	3/6	外務省	東京	守矢、山村、飯野
第7回捕鯨問題国際検討会「地域捕鯨対策会議」	1997	8/22 ~ 8/24	日本鯨類研究所	東京	大隅他
統計数理研究所における公開講座	1997	10/20 ~ 10/24	統計数理研究所	東京	袴田
日中韓露 IWC コミッショナー非公式会合	1998	2/25 ~ 2/26	海外漁業協力財団	東京	グッドマン, D、飯野他
国際シンポジウム「海洋における持続的開発の秩序と原則」	1998	3/6	外務省	東京	守矢、飯野
第9回捕鯨問題国際検討会「広報活動専門家会議」	1998	3/9 ~ 3/10	日本鯨類研究所	東京	大隅他
第2回日中韓露 IWC コミッショナー非公式会合	1998	10/13 ~ 10/15	海外漁業協力財団	東京	グッドマン, D、飯野他

資料

名前	西暦	期間	開催地	開催国	研究所出席者
全国くじら伝統芸能祭	1998	11/15	両国国技館	東京	大隅他
北西太平洋調査検討会議	1998	11/16 ~ 11/18	日本鯨類研究所	東京	大隅他
大西洋ザトウクジラを例とした遺伝標識に関する講演会	1998	12/17	日本鯨類研究所	東京	大隅他
国際シンポジウム「野生生物資源の保全・利用の将来像」	1999	3/5	共用会議所	東京	大隅、グッドマン、D、飯野他
第10回捕鯨問題国際検討会「海洋生物資源管理と貿易等の問題に関する円卓会議」	1999	4/6 ~ 4/8	海外漁業協力財団	東京	大隅他
第3回北西太平洋沿岸国IWCコミッショナー非公式会合	1999	12/20 ~ 12/22	海外漁業協力財団	東京	大隅他
第11回捕鯨問題検討会「広報活動専門家会議」	2000	5/25 ~ 5/26	マリナーズコート東京	東京	大隅他
北太平洋の海洋科学に関する機関（PICES）の第9回年次会議	2000	10/20 ~ 10/28	函館みらい大学	北海道	田村
第4回北西太平洋沿岸国IWCコミッショナー非公式会合	2001	1/15 ~ 1/16	海外漁業協力財団	東京	大隅他
国際シンポジウム「国際漁業と国際漁業機関」	2001	3/9	ホテル・ニューオータニ	東京	大隅他
自然資源保全協会（GGT）主催の国際漁業シンポジウム	2001	3/26	焼津市消防政センター	静岡	田村
極北海棲獣の生態と泌乳・繁殖整理に関するワークショップ	2001	9/26 ~ 9/27	帯広畜産大学	北海道	石川、茂越
第1回我が国の文化及び伝統に果たす捕鯨の役割検討会	2001	11/13	日本鯨類研究所	東京	大隅、村上他
第2回我が国の文化及び伝統に果たす捕鯨の役割検討会	2001	12/18	日本鯨類研究所	東京	大隅、村上他
国際シンポジウム「捕鯨紛争と海洋管理」	2001	12/19	外務省	東京	大隅他
第3回我が国の文化及び伝統に果たす捕鯨の役割検討会	2002	1/24	日本鯨類研究所	東京	大隅、村上他
第12回捕鯨問題検討会「第54回IWC年次会合事前シンポジウム」	2002	3/18 ~ 3/19	全共連ビル	東京	大隅、村上他
第1回日本伝統捕鯨地域サミット	2002	3/21	ルネッサ長門	山口	大隅、村上他
鯨の捕殺方法検討会	2002	6/22	共同船舶（株）	東京	石川
第2回日本伝統捕鯨地域サミット検討会（1）	2002	10/31	日本鯨類研究所	東京	大隅、村上他
第2回日本伝統捕鯨地域サミット検討会（2）	2002	12/11	日本鯨類研究所	東京	大隅、村上他
海洋生物資源の持続的利用シンポジウム	2003	2/10 ~ 2/12	虎ノ門パストラル	東京	大隅他
第2回日本伝統捕鯨地域サミット検討会（3）	2003	2/17	日本鯨類研究所	東京	大隅、村上他
シンポジウム「持続的海洋開発の可能性：リオからの10年と新千年紀への展望」	2003	2/25	三田共用会議所	東京	大隅他
第2回日本伝統捕鯨地域サミット検討会（4）	2003	3/26	日本鯨類研究所	東京	大隅、村上他
第2回日本伝統捕鯨地域サミット	2003	5/11	生月町開発総合センター	長崎	大隅、村上他
第2回海洋生物資源の持続的利用に関するシンポジウム	2003	5/15 ~ 5/16	ホテル・ニューオータニ幕張	千葉	大隅他
第2回地域社会と鯨に関する全国自治体サミット	2003	5/26	江陽グランドホテル	宮城	飯野
シンポジウム「何が日本を開国させたか？」	2003	7/13	パシフィコ横浜アネックスホール	神奈川	大隅他
第3回日本伝統捕鯨地域サミット検討会（1）	2003	10/10	日本鯨類研究所	東京	大隅、村上他
第3回海洋生物資源の持続的利用シンポジウム	2003	10/30 ~ 11/1	品川プリンスホテル	東京	大隅他
第3回日本伝統捕鯨地域サミット検討会（2）	2003	11/14	日本鯨類研究所	東京	大隅、村上他
水産記者懇談会	2004	1/23	日本鯨類研究所	東京	大隅他
ワシントン条約附属書掲載基準の検討に関する専門家会議	2004	1/26 ~ 1/27	虎ノ門パストラル	東京	畑中、グッドマン、D、飯野
第3回日本伝統捕鯨地域サミット検討会（3）	2004	2/6	日本鯨類研究所	東京	畑中、村上他
鯨と食文化を語る市民の夕べ（1）	2004	2/17	草月ホール	東京	畑中他
国際シンポジウム「海洋生物資源の利用と保護の相互理解へ向けて」	2004	2/25	三田共用会議所	東京	畑中他
東欧4カ国NGO代表者との意見交換	2004	3/1	日本鯨類研究所	東京	村上、服部、大隅、藤瀬他
森本IWCコミッショナーを囲む会	2004	3/10	日本鯨類研究所	東京	畑中、村上、服部、大隅
第3回日本伝統捕鯨地域サミット検討会（4）	2004	4/27	日本鯨類研究所	東京	畑中、村上他
鯨と食文化を語る市民の夕べ（2）	2004	5/14	ヤクルトホール	東京	畑中他

名前	西暦	期間	開催地	開催国	研究所出席者
第3回日本伝統捕鯨地域サミット	2004	5/30	室戸市保健福祉センター 「やすらぎ」	高知	畑中他
第4回海洋生物資源の持続的利用シンポジウム	2004	6/3 ~ 6/5	品川プリンスホテル	東京	畑中他
鯨と食文化を語る市民の夕べ (3)	2004	7/3	昭和女子大学人見記念講堂	東京	村上他
第12回国際漁業経済学会	2004	7/26 ~ 7/30	東京海洋大学	東京	村上他
第5回海洋生物資源の持続的利用シンポジウム	2004	9/2 ~ 9/3	品川プリンスホテル	東京	畑中他
鯨と食文化を語る市民の夕べ (4)	2004	9/18	オーバルホール	大阪	村上他
第4回日本伝統捕鯨地域サミット検討会 (1)	2004	9/21	日本鯨類研究所	東京	畑中、村上、大隅他
国際シンポジウム「海洋生物資源の利用と保護の相互理解へ向けて」	2005	3/25	三田共用会議所	東京	畑中他
海洋生物資源の持続的利用に関するIWC事前シンポジウム	2005	4/27 ~ 4/28	品川プリンスホテル	東京	畑中他
第4回日本伝統捕鯨地域サミット	2005	5/15	下関市海峡メッセ	山口	畑中他
国際シンポジウム「海洋生物資源管理の最近の潮流～持続可能な利用と予防的アプローチの適用～」	2006	2/16	三田共用会議所	東京	畑中他
第5回日本伝統捕鯨地域サミット	2006	4/23	太地町	和歌山	畑中他
鯨類の持続的利用に関する代表者会合	2006	5/11 ~ 5/12	外務省	東京	畑中他
鯨類の持続的利用に関する代表者会合	2007	2/16 ~ 2/17	三田共用会議所	東京	畑中他
国際シンポジウム「海洋生物資源管理の最近の潮流～生態系アプローチの限界と可能性～」	2007	3/27	三田共用会議所	東京	畑中他
全国鯨フォーラム2007 食彩・感動いしのまき	2007	7/7 ~ 7/8	石巻市	宮城	森本、大隅、飯野
鯨類の持続的利用に関する代表者会合	2008	4/21 ~ 4/22	京王プラザホテル	東京	森本他
海洋生物資源 (鯨類を含む) の持続的利用シンポジウム	2009	4/22 ~ 4/23	三番町共用会議所	東京	森本他
全国鯨フォーラム2008 新上五島	2008	5/30 ~ 5/31	新上五島町	長崎	中山他
全国鯨フォーラム2009 釧路	2009	10/9 ~ 10/10	釧路市	北海道	森本
海洋生物資源 (鯨類を含む) の持続的利用シンポジウム	2010	2/25 ~ 2/26	三番町共用会議所	東京	森本他
全国鯨フォーラム2010 名護	2010	11/6 ~ 11/7	名護市	沖縄	森本
全国鯨フォーラム2011 唐津	2011	11/29	唐津市	佐賀	藤瀬
全国鯨フォーラム2012 下関	2012	6/9	下関市	山口	藤瀬
北太平洋海洋科学機構 (PICES) 年次会合	2012	10/12 ~ 10/21		広島	田村、小西
全国鯨フォーラム2013 網走	2013	11/16	道の駅和田浦 WA・O!	千葉	藤瀬
鯨類を含む海洋生物資源の持続的利用シンポジウム	2014	4/9 ~ 4/10	三番町共用会議所	東京	藤瀬他
全国鯨フォーラム2014 長崎	2014	11/21	セントヒル長崎	長崎	藤瀬
調査捕鯨と国際司法裁判所 (ICJ) 判決に関する水産学会ミニシンポジウム	2015	3/31	東京海洋大学白鷹館	東京	バステネ, L. A.
世界頭足類会議 (CIAC)	2015	11/6 ~ 11/14	函館	東京	磯田
全国鯨フォーラム2015 網走	2015	11/15	網走	北海道	藤瀬
鯨類を含む海洋生物資源の持続的利用シンポジウム	2015	12/9 ~ 12/10	三田共用会議所	東京	藤瀬他
南極海生態系に関するセミナー	2016	5/12	日本鯨類研究所	東京	バステネ, L. A.、田村
水棲生物資源の持続的利用会合	2016	5/17 ~ 5/18	三田共用会議所	東京	藤瀬他
全国鯨フォーラム2016 東京	2016	5/31	憲政記念館	東京	藤瀬他
日本哺乳類学会	2016	9/23	筑波大学	茨城	田村
第7回極域科学シンポジウム	2016	11/29 ~ 12/2	国立極地研究所	東京	田村
日本哺乳類学会	2017	9/8	富山大学	富山	袴田

資料

国際捕鯨委員会（IWC）科学委員会及び年次会合

西暦	科学委員会（IWC/SC）						回数	回数
	回数	期間	会場	開催地	開催国			
1987	第39回	6/1～6/13	モートハウス ホテル	ボーンマス	英国	第39回	6/22～6/26	
1988	第40回	5/6～5/19	カタマラン ホテル	サンディエゴ	米国	第40回	5/30～6/3	
1989	第41回	5/20～6/2	ハイヤット アイランディア ホテル	サンディエゴ	米国	第41回	6/12～6/16	
1990	第42回	6/10～6/23	レーヴェンホルスト コングレス センター	ノールトウェイク	オランダ	第42回	7/2～7/6	
1991	第43回	5/10～5/20	コンファレンスセンター	レイキャビック	アイスランド	第43回	5/27～5/31	
1992	第44回	6/9～6/22	セントラル ホテル	グラスゴー	英国	第44回	6/29～7/3	
1993	第45回	4/22～5/3	京都国際会議場	京都	日本	第45回	5/10～5/14	
1994	第46回	5/2～5/14	マリオット カーサマグナ ホテル	プエルトバジャルータ	メキシコ	第46回	5/23～5/27	
1995	第47回	5/8～5/20	ダブリン城	ダブリン	アイルランド	第47回	5/29～6/2	
1996	第48回	6/5～6/17	アバディーン エキジビション コンファレンスセンター	アバディーン	英国	第48回	6/24～6/28	
1997	第49回	9/29～10/11	モートハウス ホテル	ボーンマス	英国	第49回	10/20～10/24	
1998	第50回	4/27～5/9	アルプスタン パレス ホテル	マスカット	オマーン	第50回	5/16～5/20	
1999	第51回	5/3～5/15	グランドビーチリゾート&コンファレンスセンター	セントジョージ	グレナダ	第51回	5/24～5/28	
2000	第52回	6/14～6/26	アデレード コンベンション センター	アデレード	豪州	第52回	7/3～7/6	
2001	第53回	7/3～7/16	ノボテル ロンドン ウェスト	ロンドン	英国	第53回	7/23～7/27	
2002	第54回	4/27～5/9	海響メッセ国際会議場	下関	日本	第54回	5/20～5/25	
2003	第55回	5/26～6/6	エストレル ホテル&コンベンションセンター	ベルリン	ドイツ	第55回	6/16～6/19	
2004	第56回	6/29～7/10	ヒルトン ソレントパレス ホテル	ソレント	イタリア	第56回	7/19～7/22	
2005	第57回	5/30～6/10	ロッテ ホテル	ウルサン	韓国	第57回	6/20～6/24	
2006	第58回	5/26～6/6	マリオット リゾート&ロイヤルビーチ カジノ		セントキッズ&ネービス	第58回	6/16～6/20	
2007	第59回	5/7～5/18	キャプテンクック ホテル	アンカレッジ	米国	第59回	5/28～5/31	
2008	第60回	6/1～6/13	シェラトン サンチャゴ ホテル&コンベンションセンター	サンチャゴ	チリ	第60回	6/23～6/27	
2009	第61回	5/31～6/12	カジノ パーク ホテル	マデイラ	ポルトガル	第61回	6/22～6/25	
2010	第62回	5/30～6/11	Centre de Congrès Les Dunes d'Or	アガディール	モロッコ	第62回	6/21～6/25	
2011	第63回	5/30～6/11	Radisson Blu Hotel	トロムソ	ノルウェー	第63回	7/11～7/14	
2012	第64回	6/11～6/23	El Panama Hotel and Conference Centre	パナマシティ	パナマ	第64回	7/2～7/6	
2013	第65回a	6/3～6/15	Shilla Jeju Hotel		韓国			
2014	第65回b	5/12～5/24	Golf Hotel	ブレッド	スロベニア	第65回	9/15～9/18	
2015	第66回a	5/19～6/3	Marriott Marquis Marina Hotel	サンディエゴ	米国			
2016	第66回b	6/7～6/19	Golf Hotel	ブレッド	スロベニア	第66回	10/24～10/28	
2017	第67回a	5/9～5/21	Golf Hotel	ブレッド	スロベニア			

年次会合 (IWC Annual Meeting)			特記事項
会場	開催地	開催国	
モートハウス ホテル	ボーンマス	英国	JARPA 計画 (SC/39/O4) を提出、JARPA 開始
シェラトン ホテル	オークランド	ニュージーランド	JARPA 計画の検討
ハイヤット アイランディア ホテル	サンディエゴ	米国	JARPA 本格調査 (1989/90) 計画の提出
ホテル オランジュ	ノールトウェイク	オランダ	SH-Minke の CA (Annex E, 113-131)
サガ ホテル	レイキャビック	アイスランド	NP-Minke の CA (Annex F, 156-177) RMP として C 方式を提案することに合意する
セントラル ホテル	グラスゴー	英国	SH-Mi などの Implementation Trials (Annex I, 153-196) アイスランドが IWC を脱退
京都国際会議場	京都	日本	NP-Mi の Management Trial (Annex G, 120-144)
マリオット カーサマガナ ホテル	プエルトバジャルータ	メキシコ	JARPN 調査計画 (SC/46/NP1) を提出、JARPN 開始 南大洋鯨サンクチュアリー採択
ダブリン城	ダブリン	アイルランド	JARPA レビュー会合の draft (Annex Q, 224)
アバディーン エキジビジョン コンファレンスセンター	アバディーン	英国	NP-Mi の Trial (Annex J, 203-226)
Sporting d'Hiver	モンテカルロ	モナコ	
アルプスタン パレス ホテル	マスカット	オマーン	
グランドビーチリゾート&コンファレンスセンター	セントジョージ	グレナダ	
アデレード コンベンション センター	アデレード	豪州	JARPNII 開始
ノボテル ロンドン ウェスト	ロンドン	英国	
海響メッセ国際会議場	下関	日本	アイスランドの再加盟が留保付きで認められる
エストレル ホテル&コンベンションセンター	ベルリン	ドイツ	反捕鯨国提案の「保存委員会」設立決議
ヒルトン ソレントパレス ホテル	ソレント	イタリア	
ロッテ ホテル	ウルサン	韓国	JARPAII 調査計画 (SC/57/O1) を提出、JARPAII 開始
マリオット リゾート&ロイヤルビーチ カジノ		セントキッツ&ネービス	モラトリアム不要の見解と共に IWC の正常化を求める「セント・キッツ宣言」が採択
キャプテンクック ホテル	アンカレッジ	米国	日本政府は IWC 脱退の可能性を総会場で表明 東京で IWC 正常化会合を開催
シェラトン サンチャゴ ホテル&コンベンションセンター	サンチャゴ	チリ	IWC の機能不全を打開するため、「IWC の将来」プロセスが開始
カジノ パーク ホテル	マデイラ	ポルトガル	
Centre de Congrès Les Dunes d'Or	アガディール	モロッコ	「IWC の将来」プロセスに関し議長・副議長から包括的合意案が提示。反捕鯨国側がこの案をベースに議論することを拒否し、本プロセスは事実上破綻
Hotel de France, St Helier	ジャージー島	英領チャネル諸島	
El Panama Conference Centre	パナマシティ	パナマ	本会議の隔年開催が決定 IWCSC は南極海クロミンクジラの資源量推定値 (515,000 頭) を合意
Grand Hotel Bernardin	ポルトロージュ	スロベニア	11 月、新南極海鯨類科学調査計画案を IWCSC へ提出 NEWREP-A 開始
Grand Hotel Bernardin	ポルトロージュ	スロベニア	NEWREP-NP 開始